

# 令和5年度 事業報告書



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

<b>I 総括</b> .....	<b>4</b>
<b>II 重点事業</b> .....	<b>5</b>
<b>III 事業実施項目</b> .....	<b>7</b>
<b>1. 地域福祉事業拠点区分</b> .....	<b>7</b>
<b>(1) 法人運営事業</b> .....	<b>7</b>
①理事会の開催.....	7
②評議員会の開催.....	8
③評議員選任・解任委員会の開催.....	9
④監事監査の実施.....	9
⑤正副会長・監事会議の開催.....	9
⑥役職員研修会.....	9
⑦支部長会議の開催.....	10
⑧賛助・特別会員の加入促進.....	10
⑨地域福祉を推進するための中核的拠点整備（事務所移転）.....	10
⑩組織マネジメントの強化.....	11
⑪地域共生社会の実現に向けた職員の共通理解の促進.....	11
⑫地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施.....	11
⑬ポストコロナ時代に対応した新型コロナウイルス感染対策の推進.....	12
⑭行政との「パートナーシップ」の醸成.....	12
⑮その他.....	12
<b>(2) 地域福祉推進事業</b> .....	<b>16</b>
①東松島市地域福祉推進計画の推進.....	16
②地域支え合い活動基盤整備事業.....	16
③地域見守り事業の推進（住民支え合いマップ・シルバーメイト事業）.....	17
④災害時に助け合う地域づくり.....	17
⑤地域の相談拠点づくり事業（ゆったりサロン）.....	17
⑥ふれあいサロン活動推進事業.....	17
⑦福祉のまちづくり支援事業の実施.....	20
⑧自治協議会（福祉部会）や市民センターとの連携の推進.....	21
⑨ノーマライゼーション普及事業の実施.....	21
⑩特別支援学級への学用品等支給事業.....	22
⑪子ども・若者の居場所づくり支援事業.....	22
⑫心のケア促進事業.....	22
⑬民生委員・児童委員の活動環境の整備と担い手の育成の支援.....	24
⑭福祉関係団体の連携・協働の推進.....	24
⑮社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進.....	25
⑯情報発信力の強化.....	25
⑰災害時福祉支援体制の整備.....	26
⑱地域福祉推進大会の開催.....	27

⑲防災・地域交流推進のためのテント配分事業	28
⑳東日本大震災復興支援活動の経験の伝承	28
㉑ヤングケアラーの支援	28
㉒レクリエーション活動普及促進事業	28
㉓福祉教育の推進	28
㉔総合的学習支援事業	29
㉕火災見舞金支給事業の実施	29
㉖閉じこもりがちな高齢者との交流	30
<b>(3) 生活支援体制整備事業（東松島市からの受託）</b>	<b>30</b>
①生活支援体制整備事業	30
<b>(4) 地域介護予防事業（東松島市からの受託）</b>	<b>34</b>
①介護予防把握事業	34
②介護予防普及啓発事業	36
③地域介護予防活動支援事業	36
<b>(5) 共同募金事業（共同募金配分金による事業）</b>	<b>37</b>
①東松島市共同募金委員会の運営	37
②共同募金一般配分事業の実施	37
③災害義援金の募金活動	38
④歳末たすけあい配分事業の実施	38
<b>(6) ボランティアセンター事業</b>	<b>39</b>
①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり	39
②ボランティア登録団体助成事業	39
③ボランティア・市民活動センター機能の充実	39
④生活支援ボランティア活動の事業推進（ひがまつあんしんサポート事業）	43
⑤高校生ボランティア創出事業	44
⑥災害ボランティア登録制の実施	44
<b>(7) 老人福祉センター運営事業</b>	<b>44</b>
①東松島市老人福祉センターの指定管理	44
②老人福祉センター交流事業（ゆらり）	46
③老人福祉センター教室の開催（各種交流事業）	46
④囲碁将棋・麻雀のつどい	46
<b>2. 総合相談事業拠点区分</b>	<b>47</b>
<b>(1) 生活困窮者自立促進支援事業（東松島市からの受託）</b>	<b>47</b>
①自立相談支援事業	47
②家計改善支援事業	55
③就労準備支援事業	55
④生活困窮者支援等のための地域づくり事業	58
⑤自転車シェア支援の実施	65
⑥生活困窮者に対する食糧支援の実施	65
⑦「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備事業	65
⑧金銭教育プログラムの実施	66
⑨生活用品等支援事業（緊急を要する援護者への物品給付）の実施	66
⑩その他	66
<b>(2) 多機関協働事業（東松島市からの受託）</b>	<b>67</b>

①多機関協働事業.....	67
②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備.....	77
③福祉なんでも相談窓口事業.....	79
④部門間横断の相談支援体制づくり.....	82
⑤行政との「パートナーシップ」の醸成.....	87
<b>(3) 生活福祉資金貸付事業（宮城県社会福祉協議会からの受託）.....</b>	<b>89</b>
①生活福祉資金貸付事業の実施.....	89
②生活復興支援資金貸付事業の実施.....	89
③コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ支援.....	89
<b>(4) 生活安定資金貸付事業.....</b>	<b>90</b>
①生活安定資金貸付事業の実施.....	90
②一時援護資金貸付事業の実施.....	90
<b>(5) 日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）（宮城県社会福祉協議会からの受託）.....</b>	<b>90</b>
①日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）の実施.....	90
<b>3. 在宅介護事業拠点区分.....</b>	<b>91</b>
<b>(1) 訪問介護事業.....</b>	<b>91</b>
①訪問介護事業（介護保険サービス）の実施.....	91
②訪問介護事業（障害福祉サービス）の実施.....	91
③訪問介護事業（産前産後ヘルパー事業）の実施.....	91
<b>(2) 居宅介護支援事業.....</b>	<b>92</b>
①居宅介護支援事業の実施.....	92
<b>(3) ポストコロナ時代に対応した新型コロナウイルス感染対策の推進（在宅介護事業共通）.....</b>	<b>92</b>
①ポストコロナ時代に対応した新型コロナウイルス感染対策の推進.....	92
<b>4. 被災者支援事業拠点区分.....</b>	<b>93</b>
<b>(1) 被災者サポートセンター運営事業（東松島市からの受託）.....</b>	<b>93</b>
①寄り添い型被災者生活支援の実施.....	93
②復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣（再掲）.....	95
<b>5. 地域包括支援センター事業拠点区分.....</b>	<b>96</b>
<b>(1) 地域包括支援センター事業（東松島市からの受託）.....</b>	<b>96</b>
①包括的支援事業.....	96
<b>(2) 介護予防支援事業.....</b>	<b>100</b>
①介護予防ケアマネジメント.....	100
②指定介護予防支援.....	100
<b>(3) 在宅医療・介護連携推進事業（東松島市からの受託）.....</b>	<b>100</b>
①在宅医療・介護連携推進事業.....	100
<b>(4) その他.....</b>	<b>108</b>
①中部・西部地域包括支援センターとの連携.....	108
②その他.....	109

## I 総括

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類感染症に移行し、様々な制限が解除される中、コロナ禍以降、感染の不安の中で活動の仕方を模索していた地域住民による支え合い活動も徐々にコロナ禍前の活発さを取り戻してきました。その一方で、コロナ禍で活動を休止せざるを得ない状況に陥ったサロン団体や老人クラブ等では、参加者の減少や慢性的な担い手不足により団体としての活動継続が困難になる事例も見られました。また、コロナ禍で困窮した家計に世界的な物価高騰が追い打ちをかけ、生活困窮者の就労や家計の状況が厳しさを増し、深刻化している状況が見られ、生活困窮者自立支援事業の相談者数も前年度に引き続き高止まりしています。相談者の中には複雑化・複合化した生活課題を抱える人も多く、家族関係の課題も含め、孤独・孤立の状況に置かれている人も見られました。

これらの地域生活課題は「第3期東松島市地域福祉推進計画」の策定過程においても取り組むべき重要な課題と位置付けられており、計画の初年度に当たる令和5年度は「包括的な支援体制づくり」に向けた重要な一歩として、東松島市とともに重層的支援体制整備事業の移行準備事業に取り組み、多機関協働事業において複雑化・複合化した事例に関する支援の蓄積を進め、移行準備から本格実施に向けての課題把握に努めました。

「地域づくり」においては、自治会エリアにおいて地域住民等が地域課題について話し合う「地域支え合い会議」の拡充に努めるとともに、地域に根差した住民主体の見守り活動の普及を狙いとして、新たに「地域支え合い活動モデル事業」を創出し、地域住民との話し合いを重ねながら地域における見守り活動の立ち上げ支援に着手しました。

また、東松島市における地域共生社会の実現に向けた取組を推進するための地域福祉の新たな拠点「東松島市地域福祉交流プラザ」の開設に向けた改修工事を東松島市と分担して行うとともに、同施設において展開する事業について、設置者である東松島市と運営主体である本会との連携・協働のあり方を定めた「地域福祉活動の振興に向けた東松島市地域福祉交流プラザにおける事業連携協定」を締結しました。

令和5年度も全国各地で自然災害が多発し、他県において甚大な被害が発生しました。これらの地域への災害支援として、災害ボランティアセンターへのブロック派遣（秋田市）、災害ボランティアの募集とボランティアバスの運行（いわき市）、義援金のための街頭募金の実施（能登半島地震）など、被災地に寄り添った支援に取り組みました。

令和5年度は、これらの取組をはじめとして、事業計画に掲げた重点事業5項目を中心に、以下の通り事業活動を展開しました。

## Ⅱ 重点事業

### 1 「第3期東松島市地域福祉推進計画」の周知と普及啓発の推進

計画の冊子版（500部）及び概要版（1,200部）を制作し、評議員・理事・監事（6月の会議で説明）、社協支部長（7月4日の支部長会議で説明）、民生委員児童委員（8月9日の定例会議で説明）、市議会議員（6月中旬に配布）に対し、計画内容の理解促進に努めたほか、第2層協議体での説明や社協だより「ふれあいネット」への特集記事の掲載等を通じて住民への普及啓発を図りました。

一方、計画の進行管理や評価手法については十分に検討が進まず、今後課題を残しました。

### 2 地域共生社会の実現に向けた地域福祉推進基盤の強化

東松島市における「包括的な支援体制づくり」に向けた重要な一歩として、東松島市とともに重層的支援体制整備事業の移行準備事業に取り組み、多機関協働事業において複雑化・複合化した事例に対する支援の蓄積を進めました。重層的支援会議の開催等を通じてこの事業に対する関係機関の理解が一定程度進んだ一方で、一部の困難事例においては関係機関との情報共有や役割の相互理解が十分に行われなかったりするなど、他の機関との連携の難しさや専門機関中心のケース支援から地域づくりの視点を盛り込んだ支援への転換の難しさなどが課題として見えてきました。

また、重層的支援体制事業の本格実施を見据え、市福祉課職員との合同先進地視察（南三陸町、山形市、栃木県野木町、埼玉県鳩山町）を行い、同事業に対する共通認識の醸成に努めました。

### 3 ポストコロナ時代における地域福祉活動、生活困窮者支援の推進

地域づくりの取組として、自治会エリアにおいて地域住民等が地域課題について話し合う「地域支え合い会議」の取組を進め、新たに12か所を立ち上げました。この結果、「地域支え合い会議」の取組は49か所まで拡充しています。また、「地域支え合い会議」を中核とした、地域に根差した住民主体の見守り活動の普及を狙いとして、新たに「地域支え合い活動モデル事業」を創出し、5つの自治会に働きかけを行い、地域住民との話し合いを重ねながら、地域における見守り活動の立ち上げ支援を行いました。

地域活動の担い手づくりの取組としては、宮城県共同募金会の助成を受けて「つながりワーカー養成研修」を行い、孤立する人を生まない地域づくりの担い手育成に取り組みました。

福祉関係団体への支援については、本会初の試みとして「社協・福祉関係団体長懇談会」を開催し、コロナ禍の課題をはじめ、各団体の活動状況や課題等の把握に努めました。

相談支援分野においては、コロナ禍に追い打ちをかけた物価高騰の影響もあり、生活困窮者の相談件数が高止まりする状況が見られました。ハローワーク巡回相談の活用やハローワーク石巻の協力を得て職場見学や職場体験の場の開拓を図り、就労支援の充実に努めました。コロナ特例貸付借受人への対応としては、猶予申請のための意見調査書の

作成や家計改善支援、その他生活支援等のフォローアップ支援に取り組みました。

#### 4 災害時福祉支援活動の基盤強化と震災被災者の「心のケア」「風化防止」

避難行動要支援者への対応については、地域支え合い会議の場などを通じて、地域の実情把握に努めました。しかし、個別避難計画の策定については、具体的な取組には至りませんでした。

多発する自然災害への対応としては、秋田市災害ボランティアセンターへのブロック派遣と暖房器具の寄贈、いわき市災害ボランティアセンターへのボランティアバスの運行、能登半島地震の義援金のための街頭募金を行いました。

震災被災者の「心のケア」については、災害公営住宅の戸別訪問を通じて、個々の住民が抱える生活課題の把握と相談機関へのつなぎに取り組みました。また、住民同士のつながりや生きがいを目的とした「いきいき百歳体操」「ふれあいサロン」の支援、「フラワーアレンジメント教室」や「音無美紀子の歌声喫茶」、安田智彦グループ「ハッピージャズコンサート」を開催し、心の復興の推進に努めました。

「風化防止」については、十分な作業時間の確保ができず、記録紙等の具体的な制作作業には至りませんでした。

#### 5 ガバナンス（組織統治）の強化と地域福祉活動拠点の整備

令和6年6月の「東松島市地域福祉交流プラザ」開設や「社協・福祉関係団体長懇談会」で把握した各団体の課題等も踏まえ、令和6年4月からの組織再編の方向性を検討し、事務局組織規程等の改正を行いました。この改正により地域づくり部門と相談支援部門を地域福祉課に統合し、部門間連携の円滑化、さらには強化を推進するための組織体制を構築しました。

東松島市における地域共生社会の実現に向けた取組を推進するための地域福祉の新たな拠点「東松島市地域福祉交流プラザ」の開設に向け、東松島市との協議を重ね、令和5年6月から令和6年3月にかけて東松島市により「令和5年度 旧矢本中央幼稚園改修工事」（内部及び外構）が行われたのと並行して、令和5年12月から本会による内部改修工事に着手しました。（令和6年4月工事完了、6月1日開所予定）

また、本会の工事開始に先立ち、令和5年12月20日に東松島市と「地域福祉活動の振興に向けた東松島市地域福祉交流プラザにおける事業連携協定」を締結し、東松島市が設置し、本会が運営を担う予定の同施設において展開する事業について、相互に役割を分担して連携・協働していくことを取り決めました。

### Ⅲ 事業実施項目

#### 1. 地域福祉事業拠点区分

##### (1) 法人運営事業

##### ① 理事会の開催

名称	時期	議題	出席者
第1回 通常	6月2日	議案第1号 令和4年度事業報告及び計算書類等の承認について (監査報告) 議案第2号 理事・監事選任候補者の推薦について 議案第3号 評議員選任・解任委員会の招集及び評議員選任候補者の推薦について 議案第4号 令和5年度定時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項 ・会長の職務執行状況報告 ・監事の監査結果の報告	理事 11人 監事 3人
第1回 臨時	6月23日	議案第5号 会長の選任について 議案第6号 副会長の選任について 議案第7号 顧問の選任について 議案第8号 苦情解決第三者委員の承認について 【全議案原案可決】	理事 12人 監事 3人
第2回 通常	11月24日	議案第9号 (仮称)東松島市地域支え合いセンター(旧矢本中央幼稚園)改修事業の実施について 議案第10号 地域福祉振興基金の取り崩しについて 議案第11号 (債)令和4年度東松島市在宅医療・介護連携推進事業業務委託契約に係る変更契約の締結について 議案第12号 令和5年度資金収支第1次補正予算について 議案第13号 令和5年度第1回臨時評議員会の招集について 【全議案原案可決】 報告事項 ・監事の監査結果の報告	理事 13人 監事 3人
第2回 臨時	12月20日	議案第14号 (仮称)東松島市地域支え合いセンター(旧矢本中央幼稚園)改修工事請負契約の締結について 【原案可決】	理事 13人 監事 3人
第3回 通常	令和6年 3月15日	議案第15号 令和5年度資金収支第2次補正予算について 議案第16号 令和6年度事業計画及び資金収支予算について 議案第17号 基金の取り崩しについて 議案第18号 (債)令和5年度東松島市生活支援体制整備事業業務委託契約の締結について 議案第19号 (債)令和5年度東松島市地域介護予防事業運	理事 14人 監事 3人

	<p>営業委託契約の締結について</p> <p>議案第 20 号 (債) 令和 5 年度東松島市生活困窮者自立促進支援事業等委託業務契約の締結について</p> <p>議案第 21 号 (債) 令和 5 年度東松島市多機関協働事業業務委託契約の締結について</p> <p>議案第 22 号 (債) 令和 5 年度被災者サポートセンター運営業務委託契約の締結について</p> <p>議案第 23 号 (債) 令和 5 年度東松島市東部地域包括支援センター運営業務契約の締結について</p> <p>議案第 24 号 使用貸借契約の締結について</p> <p>議案第 25 号 東松島市老人福祉センターの管理に関する協定の締結について</p> <p>議案第 26 号 役員等賠償責任保険契約の締結について</p> <p>議案第 27 号 事務局組織規程等の一部を改正する規程について</p> <p>議案第 28 号 令和 5 年度第 2 回臨時評議員会の招集について</p> <p><b>【全議案原案可決】</b></p> <p>報告事項 ・会長の職務執行状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事の監査結果の報告</li> <li>・令和 5 年度財政援助団体等監査について</li> </ul>	
--	---	--

## ②評議員会の開催

名称	時期	議題	出席者
定時	6 月 23 日	<p>議案第 1 号 令和 4 年度事業報告及び計算書類等の承認について</p> <p>(監査報告)</p> <p>議案第 2 号 理事・監事の選任について</p> <p><b>【全議案原案可決】</b></p>	<p>評議員 15 人</p> <p>監事 3 人</p>
第 1 回 臨時	12 月 4 日	<p>議案第 3 号 (仮称) 東松島市地域支え合いセンター (旧 矢本中央幼稚園) 改修事業の実施について</p> <p>議案第 4 号 令和 5 年度資金収支第 1 次補正予算について</p> <p><b>【全議案原案可決】</b></p>	<p>評議員 12 人</p> <p>監事 2 人</p>
第 2 回 臨時	令和 6 年 3 月 25 日	<p>議案第 5 号 令和 5 年度資金収支第 2 次補正予算について</p> <p>議案第 6 号 令和 6 年度事業計画及び資金収支予算について</p> <p><b>【全議案原案可決】</b></p>	<p>評議員 13 人</p> <p>監事 3 人</p>

### ③評議員選任・解任委員会の開催

・評議員の欠員により、中立的立場である外部委員の参加により評議員の選任を行う

	時期	内 容	出席者
第1回	6月6日	議案第1号 評議員の選任について 【原案可決】	委員5人、 事務局3人

### ④監事監査の実施

・令和4年度決算並びに令和4年度における理事の業務執行状況及び財産状況等の監査を実施した。

監査の種類	時期	内 容	出席者
定期監査 決算監査	5月22日	・第4・四半期監査(1月1日～3月31日) ・令和4年度決算	会長、監事3人、 事務局4人
定期監査	7月26日	・第1・四半期監査(4月1日～6月30日)	会長、監事3人、 事務局4人
定期監査	10月26日	・第2・四半期監査(7月1日～9月30日)	会長、監事3人、 事務局4人
定期監査	令和6年 1月25日	・第3・四半期監査(10月1日～12月31日)	会長、監事3人、 事務局4人

### ⑤正副会長・監事会議の開催

・本会の重要事項として、理事会決議事項について協議した。

名称	実施時期	内 容	出席者
第1回正副 会長・監事 会議	10月26日	・(仮称)東松島市地域支え合いセンタ ー(旧矢本中央幼稚園)改修事業の実施 について ・職員の業務災害の経過について	会長、副会長 監事 事務局4人

### ⑥役職員研修会

実施時期	場所	内 容	参加者
2月1日 ～2月2日	松島町 「花こころ の湯 新富 亭」	(テーマ) 地域における孤独・孤立、困窮等への対 応と人と人との「つながり」を通じた支 え合いの地域づくり ①基調説明 「第3期東松島市地域福祉推進計画」の 概要について ②東松島市社会福祉協議会の取組事例 ・地域活動を支える人づくり ・支え合いの輪が広がる地域づくり ・誰もが必要な支援につながり、自分ら	評議員 理事 監事 職員 計32人

		しく暮らせる仕組みづくり ・災害時支援の取組	
--	--	---------------------------	--

### ⑦支部長会議の開催

日時：7月4日 10時～

場所：東松島市コミュニティセンター

内容：

- (1) 令和5年度社会福祉協議会事業計画及び収支予算について
- (2) 福祉のまちづくり支援事業について
- (3) 自治会テント募集について
- (4) 令和5年度 東松島市地域福祉推進大会における被表彰者の推薦について
- (5) 赤い羽根共同募金について
- (6) 地域支え合い活動について
  - ・第3期東松島市地域福祉推進計画
  - ・地域支え合い会議
  - ・百歳体操・ふれあいサロンの活動
  - ・有償助け合いサービス（ひがまつ・安心サポート事業）
  - ・フードドライブ・フードパントリー
- (7) 社協の相談窓口の紹介
  - ・多機関協働事業（福祉まるごと相談窓口）
  - ・くらし安心サポートセンター
  - ・東部包括支援センター

### ⑧賛助・特別会員の加入促進

- ・4月の自治会長会議に出席し、一般会費の納入について依頼した。また特別会員については、7月にダイレクトメール等により企業・団体に加入促進を図った。

会費の収納状況の推移

(円)

種類	会費	令和5年度		令和4年度		増減	
		加入数	収納額	加入数	収納額	加入数	収納額
一般会員	1,200	11,218	13,461,200	11,254	13,504,000	△36	△42,800
賛助会員	3,000	38	113,000	36	106,000	2	7,000
特別会員	3,000	251	751,000	207	620,000	44	131,000

### ⑨地域福祉を推進するための中核的拠点整備（事務所移転）

- ・前年度に本会から東松島市に提出した「矢本中央幼稚園跡地(建物・土地)貸与に関する要望書」以後の協議を踏まえ、東松島市により「令和5年度 旧矢本中央幼稚園改修工事」（内部及び外構）が令和5年6月から令和6年3月にかけて行われた。
- ・この工事と並行して、本会による内部改修工事を令和5年12月に着手した。  
（令和6年4月工事完了、6月1日開所予定）
- ・また、本会の工事開始に先立ち、令和5年12月20日に東松島市と「地域福祉活動の振興に向けた東松島市地域福祉交流プラザにおける事業連携協定」を締結し、地域共生社

会の実現に向けて、東松島市が設置し、本会が運営を担う予定の同施設において展開する事業について、相互に役割を分担して連携・協働していくことを取り決めた。

## ⑩組織マネジメントの強化

### ■諸規程の制定・改廃

番号	規程名	施行日
令和5年 規程第1号	職員給与規程等を一部改正する規程	4月1日
令和5年 規程第2号	災害派遣手当の支給に関する規程	8月1日

### ■不正着服事件にかかる弁済金(長期貸付金)の償還状況

- ・債権回収業務を弁護士に委託し、公正証書で定めた返済計画どおりの返済が行われた。

令和5年4月から令和6年3月まで(①+②)・・・2,000,000円

(内訳)

150,000円×12月 = 1,800,000円・・・・・・・・①

100,000円×2回(4月、11月) = 200,000円・・・・②

(返済状況)

令和6年3月末現在

項目	金額
長期貸付金の貸付総額	23,085,570円
前年度末の返済残額	5,830,570円
年度中の返済額	2,000,000円
年度末の返済残額	3,830,570円

### ■経営会議の開催

- ・経営会議の開催に代えて、日常的な情報共有のために毎週開催している事務事業推進会議の場を活用し、随時、重要施策等の協議や方針の決定を行った。

## ⑪地域共生社会の実現に向けた職員の共通理解の促進

- ・市町村社協法制化40周年企画として、地域共生社会の実現に向けた社協の役割を再認識するため、全職員を対象とした職員研修会を実施した。

(実施日) 令和5年7月28日

(研修内容) 講演「地域共生社会の実現に向けた琴平町社会福祉協議会の取組について」

講師：越智和子氏

〔 全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会会長  
琴平町社会福祉協議会会長 〕

## ⑫地域福祉推進のための人材基盤強化策の実施

職員等資格取得経費助成制度の利用希望者なし

### ⑬ポストコロナ時代に対応した新型コロナウイルス感染対策の推進

- ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後のガイドラインとして「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の感染防止対策について」を定め、引き続きマスク着用や手指消毒等の対策を職員に徹底した。

### ⑭行政との「パートナーシップ」の醸成

- ・社協経営への参画の状況
  - 理事1名（東松島市総務部長）
  - 評議員1名（東松島市保健福祉部長）
- ・重層的支援体制事業の本格実施を見据え、市福祉課職員との合同先進地視察を行い、同事業に対する共通認識の醸成に努めた。
  - 4月21日 南三陸町社会福祉協議会
  - 6月22日 山形市社会福祉協議会
  - 8月22日 野木町総合福祉センターひまわり館
  - 8月23日 鳩山町総合福祉センター
- ・令和5年12月20日に東松島市と「地域福祉活動の振興に向けた東松島市地域福祉交流プラザにおける事業連携協定」を締結し、地域共生社会の実現に向けて、東松島市が設置し、本会が運営を担う予定の同施設において展開する事業について、相互に役割を分担して連携・協働していくことを取り決めた。

### ⑮その他

#### ■顕彰関係（敬称略）

○令和5年度宮城県社会福祉大会(11月9日開催)においての受賞者

ア 宮城県知事表彰

- ・社会福祉事業篤志奉仕者（民生委員児童委員） 佐藤 功、黒須みよ子、吉木妙子

イ 宮城県社会福祉協議会会長表彰

- ・民生委員児童委員功労者 狩野三男、飯坂純子、米澤順子、山口廣子、大友栄子
- ・社会福祉協議会役職員功労者 片岡健治、齊藤洋子、木村佳美、高田欽弥、菊地京子、尾形とし子

ウ 宮城県老人クラブ連合会会長表彰

- ・老人福祉事業功労者 星名健
- ・優良老人クラブ お達者クラブ

エ 宮城県障がい者福祉協会会長表彰

- ・更生援護功労者 櫻井哲夫

#### ■寄附金品等の受納状況

- ・一般寄附金 14件 745,135円
- ・震災対応寄附金 1件 50,000円
- ・特定寄附金(子供支援・子ども食堂支援) 4件 100,000円
- ・寄附物品 16件

内容：①普通自動車（トヨタ シエンタ）1台（宮城県共同募金会より）

②レクリエーション用具③紙おむつ④ウェットティッシュ⑤ドライヤー

- ⑥マスク⑦囲碁盤⑧車椅子⑨新品布巾⑩新品衣類⑪CD ラジカセ⑫文具  
⑬衛生用品⑭官製ハガキ⑮商品券⑯クオカード など

#### ■情報通信環境の整備

- ・職員間のつながりを活性化する職場内SNSとしても活用できる情報共有ツール「k i n t o n e (キントーン)」を継続利用し、組織を横断した情報の共有に努めた。
- ・k i n t o n e (キントーン) の機能を活用して業務用アプリを作成し、業務効率の向上と業務の見える化を図った。  
運用中のアプリ数 21 個 (うち令和5年度作成分 2 個)

#### ■福祉機器貸与事業

- ・居宅において生活している障がい者又は高齢者等の日常生活を支援するため、福祉機器の貸与を行った。  
貸与実績…車いす 21 人  
※その他、小学校での福祉教育(キャップハンディ体験教室)での車いすの使用や利用者の一時的な外出の際の車いす貸出

#### ■主な社会福祉等関連組織への参画(会長)

##### 1 東松島市関係

- (1)東松島市民生委員推薦会/委員(任期:令和3年7月1日～令和7年1月11日)  
第1回推薦会 7月25日 午後1時30分～市役所南庁舎会議室3  
・民生委員・児童委員候補者2人(あおい一丁目、同二丁目)の選任を行った。
- (2)東松島市障害者総合支援協議会/会長(任期:令和3年4月1日～令和6年3月31日)  
令和5年度第1回全体会 令和5年5月25日(木)午後1時30分～市役所301会議室  
・令和4年度事業実績報告に基づき報告を受けた。  
・令和5年度地域課題の設定について計画案を審議し、原案どおり承認された。
- (3)令和4年度「心の復興」事業補助金選定委員会/委員  
(任期:令和5年5月10日～令和6年3月31日)  
選定委員会 令和5年5月10日(水) 市役所202会議室  
・応募団体(8団体)によるプレゼンテーションを実施し、全団体が採択基準点数70点を超えたので、すべての団体を採択した。
- (4)東松島市地域公共交通活性化協議会/委員(任期:令和5年7月26日～令和7年3月31日)  
令和5年度第1回会議 令和5年7月26日(水) 午後2時～市役所202会議室3  
○報告事項  
・らくらく号の運行状況及び免許返納者割引制度の利用状況について  
○協議事項  
・令和4年度東松島市地域公共交通活性化協議会事業報告について  
・令和4年度東松島市地域公共交通活性化協議会決算及び会計監査報告について
- (5)一般社団法人 東松島みらいとし機構  
令和5年度定時社員総会 令和5年6月28日(水)午前11時～HOPE事務所

令和5年度第1回臨時社員総会	令和5年8月9日(水)午後4時～HOPE事務所
令和5年度第2回臨時社員総会	令和5年10月5日(木)午後5時15分～HOPE事務所
令和5年度第3回臨時社員総会	令和5年11月17日(金)午前7時45分～HOPE事務所
令和5年度第4回臨時社員総会	令和6年3月10日(日)午前10時～HOPE事務所

## 2 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会関係

### (1) 評議員選任・解任委員会/委員

(令和3年6月28日～令和5年度に関する定時評議員会終結の時)

第11回委員会 令和5年7月20日(木)午後1時30分～自治会館第204会議室

- ・柴田十一夫(多賀城市社協会長)及び相原幹司(宮城県保健福祉部社会福祉課長)の2人を選任した。

第12回委員会 令和6年1月18日(木)午後1時30分～自治会館第204会議室

- ・小林寛(株式会社七十七銀行常務取締役)を選任した。

## 3 社会福祉法人 全国社会福祉協議会関係

### (1) 地域福祉推進委員会/副委員長(任期:令和5年4月1日～令和7年3月31日)

#### ① 総会

- ・令和5年度 第1回総会 令和5年5月18日(木)午後1時30分～全社協会議室

#### ○ 議案審議

- (1) 令和4年度地域福祉推進委員会事業報告(案)について
- (2) 令和4年度地域福祉推進委員会決算について
- (3) 役員改選について

#### ○ 報告事項

- (1) 令和5年度地域福祉推進委員会事業計画について
- (2) 令和5年度地域福祉推進委員会予算について
- (3) 「市区町村社協中期経営計画策定の手引き」、「市区町村社協経営指針に基づくチェックリスト」について
- (4) 「コロナ特例貸付を通じた支援社会福祉協議会の実践事例集」について
- (5) 「成年後見制度利用促進における社協の取り組みと地域における権利擁護支援体制の構築に向けた基本的な方策(第2次)」について
- (6) 「日常生活支援事業におけるキャッシュレス決済の利用について～意思決定支援に基づく利用者の支援のために」について

- ・令和5年度第2回総会 令和6年3月6日(水)午後1時30分～オンライン会議

#### ○ 議案審議

- (1) 令和6年度地域福祉推進委員会事業計画(案)について
- (2) 令和6年度地域福祉推進委員会予算(案)について
- (3) 社会福祉協議会基本要項2025(仮称)第1次案について
- (4) 福祉救援活動資金援助制度に係る拠金について
- (5) 孤独孤立対策強化月間全国キャンペーンについて

#### ○ 報告事項

- (1) 令和6年能登半島地震について
- (2) 令和5年度事業の進捗状況・決算見込みについて

## ②正副委員長会議

第1回正副委員長会議 令和5年6月12日(月) 午後2時30分～全社協会議室

第2回正副委員長会議 令和6年1月10日(火) 午後2時30分～全社協会議室

## ③常任委員会

第3回常任委員会 令和5年10月12日(木) 午後2時30分～ オンライン会議

第4回常任委員会 令和5年12月18日(月) 午前10時～ 全社協会議室+WEB

第5回常任委員会 令和6年2月15日(木) 午後1時30分～

全社協3階同時通訳室+WEB

## (2)政策委員会/幹事(任期:令和5年6月5日～令和7年4月30日)

### ①政策委員会

令和5年度 政策委員会総会 令和5年6月20日(火) 午後1時～全社協会議室

・全社協会長に清家篤氏の後任として、6月20日付けで村木厚子氏(元厚労省事務次官、津田塾大客員教授)が就任。清家篤氏は顧問に。

・政策委員会委員の任期満了に伴い次期役員を選任(令和5年6月5日～令和7年4月30日)

・正副委員長は会長指名➡委員長 平田直之氏(再任/全国社会福祉法人経営者協議会副会長)副委員長 田中進氏(大阪府社協常務理事)

・政策委員会幹事会には、全社協規定に基づき、地域福祉推進委員会からの参画として、東松島市社協会長の阿部英一が選任(再任)された。(令和5年6月5日～令和7年4月30日)。

### ②幹事会

第2回幹事会 令和5年6月20日(火) 午後2時45分～全社協会議室

第3回幹事会 令和5年8月31日(木) 午後1時30分～全社協会議室

第4回幹事会 令和5年10月12日(木) 午後1時30分～全社協会議室

第5回幹事会 令和5年12月21日(木) 午後1時30分～全社協会議室

第6回幹事会 令和6年2月29日(木) 午後3時30分～全社協会議室

## 4 「全社協・福祉ビジョン2020」の検証準備委員会

(任期:令和5年8月4日～令和6年3月31日)

第1回会議 令和5年8月31日(木) 午後3時30分～全社協会議室

第2回会議 令和5年11月17日(金) 午後1時30分～全社協会議室

第3回会議 令和5年12月21日(木) 午後3時40分～全社協会議室

第4回会議 令和6年3月1日(金) 午前10時～全社協会議室

## 5 社会福祉法人 宮城県共同募金会関係

### (1)宮城県共同募金会評議員

(任期:令和3年10月22日～令和6年度に関する定時評議員会終結の時)

第233回評議員会 令和5年6月30日(金) 午前10時～仙台市宮城野区

第234回評議員会 令和5年12月22日(金) 【決議の省略による決議のあった日】

## 6 その他

### (1)石巻定住自立圏共生ビジョン懇談会/副座長(任期:令和4年7月12日～令和6年7月11日)

①令和5年度第1回懇談会 6月29日 午後6時30分～ 石巻市401会議室

- ・懇談会は、石巻圏域定自立圏共生ビジョンの策定にあたり、民間企業やNPO法人等をはじめた関係者の方々から様々な意見を幅広く聴取するため各分会会に分かれて意見交換を行った。

(2) 地域福祉推進事業

①東松島市地域福祉推進計画の推進

- ・令和5年3月に策定した第3期地域福祉推進計画の冊子版(500部)及び概要版(1,200部)が完成し、評議員・理事・監事(6月の会議で説明)、社協支部長(7月4日の支部長会議で説明)、民生委員児童委員(8月9日の定例会議で説明)、市議会議員(6月中旬に配布)に対し、計画内容の理解促進に努めた。
- ・3月14日に開催する予定であった地域福祉推進委員会は、諸事情により委員の過半数の出席が見込めない状況となり、今年度の委員会の開催は見送り、送付した資料を通しての情報共有までとした。

②地域支え合い活動基盤整備事業

■地域支え合い活動モデル事業

令和3年度から令和4年度にわたり検討してきた「地域支え合い活動」に関する実施要領及び助成金交付要綱を制定し、令和5年度はモデル事業に位置づけ、社協支部長を中心に地域住民の協力を得て行う見守り活動を支援した。

- ・モデル事業実施支部( )内の数値は協力員数)

赤井駅前自治会(7)、下小松地区自治会(14)、川下地区自治会(9)、五味倉地区自治会(5)、平岡自治会(21)

- ・地域支え合い活動モデル地区情報交換会

開催日	内容等	参加者
令和6年3月18日	1 地域支え合い活動報告 2 意見交換 3 事業実績報告の提出について 会場：老人福祉センター	川下地区(自治会長・保健推進員・民生委員)、赤井駅前地区(自治会長)、五味倉地区(自治会長)、平岡地区(自治会長)、下小松地区(自治会長)、社協事務局次長、社協SC兼CSW、社協包括化推進員

■地域支え合い会議の開催及び参加

身近な圏域での地域福祉活動を推進するため、自治会や行政区圏域の地縁組織を単位とした話し合いの場づくりと住民主体の福祉活動の推進に取り組んだ。また、自治会等での地域生活課題を共有する会議に参加した。自治会長、民生委員、社協CSW、相談支援包括化推進員、各地区の地域包括支援センター職員などが参加した。

- ・地域支え合い会議開設数(49カ所(うち令和5年度12カ所新設))

- (1)赤井地域 7地区(上区、中区、下区、南西(よりそいの会)、赤井駅前、南新町、柳区)
- (2)大曲地域 8地区(大曲、五味倉、横沼、上納、筒場、貝殻塚一、貝殻塚二、貝田)
- (3)矢本東地域 9地区(関の内西、関の内三、作田浦(楽楽会)、谷地、下小松、

あおい地区(見守り部会)、下町四、下浦、下町二区・五区)

(4)矢本西地域 2地区(河戸、二反走)

(5)大塩地域 4地区(塩入支え合い会議、塩入シニアの会、小分木・大島、小松台)

(6)小野地域 8地区(小野上、新道町内会、川下、往還、平岡、根古、上下堤、高松)

(7)野蒜地域 8地区(亀岡、東名、野蒜ケ丘一丁目、野蒜ケ丘二丁目、大塚、中下、野蒜ケ丘三、浅井)

(8)宮戸地域 3地区(里浜、月浜・大浜、室浜)

#### ■つながりワーカー養成研修

生活課題を抱えた人に気づき、つながり、見守る人たちの存在が必要とされている。本研修は、その役割を担う「つながりワーカー」を養成し孤立する人を生まない地域づくりを進めることを目的に実施した。

[研修対象者：自治会長、保健推進員、民生委員・児童委員、協議体構成員等]

開催日	開催場所	参加者数
1月23日	小野市民センター	34人
2月6日	赤井市民センター	42人
2月14日	東松島市コミュニティセンター	42人

### ③地域見守り事業の推進(住民支え合いマップ・シルバーメイト事業)

・地域住民主体の日常的な見守りを推進するため、「シルバーメイト地域見守り支援事業」の助成金交付を通じ、地域支え合い活動の促進を図った。

助成先	助成金	交付決定日	シルバー数	メイト数
根古自治会	70,000円	5月10日	12人	4人
あおい地区会	110,000円	10月2日	206人	10人
合計	180,000円		218人	14人

※「シルバー」：見守り対象高齢者 「メイト」：地域住民による見守りボランティア

### ④災害時に助け合う地域づくり

・地域支え合い会議を通じ、災害時に支援が必要な方の把握に努めた。

### ⑤地域の相談拠点づくり事業(ゆったりサロン)

・本事業を地域支え合い活動基盤整備事業のつながりワーカー養成研修に変更し、孤立する人を生まない地域づくりを進めるための研修会を行った(再掲)。

### ⑥ふれあいサロン活動推進事業

・地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の活性化を図った。

・登録団体：111団体

・東松島市財源分「通いの場事業費」助成金の交付：56団体 4,502,000円

・社協財源分「小地域福祉活動事業費」助成金の交付：12団体 239,500円

■ふれあいサロン登録団体及び「ふれあいサロン活動助成金」交付先

番号	地区	団体名	助成金(円)	
			市	社協
1	野蒜	かたくり会	48,000	-
2	矢本西	三角公園自治会いきいき三燦会	96,000	-
3	小野	川下ふれあいサロン	-	-
4	大塩	裏沢いきいきほっとサロン	72,000	-
5	矢本西	爺・婆まけん隊	72,000	-
6	大曲	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	96,000	-
7	宮戸	ほっこり常楽会	-	-
8	赤井	105ピンピン体操の会	67,500	-
9	赤井	南三区なごみ会	94,000	-
10	矢本東	はばたけ百歳体操	67,500	-
11	矢本東	あおい元気サークル	120,000	-
12	矢本東	なごみ百歳体操	120,000	-
13	矢本西	笑母倶楽部	-	-
14	矢本東	下小松地区自治会	40,000	-
15	矢本東	下町べっぴん百歳体操	96,000	-
16	赤井	柳西区はまなす会	-	-
17	小野	ひまわりの会	-	-
18	野蒜	スマイル元気会	96,000	-
19	赤井	にこにこサロン	-	-
20	矢本東	やよい会	-	-
21	矢本西	にっこり百歳体操サークル	120,000	-
22	大塩	中自治会お茶っこ飲みの会	-	-
23	大曲	百歳体操よつばの会	87,500	-
24	小野	笑顔の会	-	-
25	矢本東	あいサロン	67,500	-
26	野蒜	チーム楽楽楽	72,000	-
27	大塩	なんだ坂こんな坂サークル	110,000	-
28	野蒜	いきいき会	96,000	-
29	矢本東	カトレア会	48,000	-
30	赤井	和幸会百歳体操の会	96,000	-
31	野蒜	東名地区あざみの会	72,000	-
32	小野	遊楽楽会	70,500	-
33	小野	しゃんしゃんとクラブ	-	-
34	小野	はつらつシニア百歳体操	96,000	-
35	矢本西	前里自治会	-	-
36	矢本東	作田浦自治会	80,000	-
37	野蒜	のびる多面的機能自治会 (中下いきいきちよっくら会)	45,000	-
38	小野	川下百歳体操	48,000	-
39	矢本東	いきいき桜の会	-	-

40	矢本東	上若百の会	96,000	-
41	赤井	川前サルビア会	-	-
42	赤井	さくらんぼ会	72,000	-
43	小野	肘曲にこにこサロン	-	11,000
44	矢本西	悠悠クラブ	48,000	-
45	小野	西福田地区こまち	96,000	-
46	小野	下福田おそうじ隊	-	-
47	大塩	塩入いきいきホットサロン	-	-
48	赤井	1.5会	-	24,000
49	小野	新道町内会自治会	88,000	-
50	野蒜	浅井百歳体操会	47,000	-
51	大塩	あったかサロン・シオイリ	120,000	-
52	矢本東	下町一ふわふわ会	48,000	-
53	矢本東	下町四地区自治会お茶っこ飲み会	-	12,000
54	矢本西	ホットサロンたんぽぽの会	-	9,000
55	矢本東	大溜ひばり会	-	-
56	野蒜	シャンシャン会	-	-
57	野蒜	男クラブ	-	-
58	大塩	大塩スマイル	63,000	-
59	宮戸	里浜げんきクラブ	72,000	-
60	矢本東	大溜なのはなクラブ	96,000	-
61	大曲	大曲地区ピンポンクラブ	-	41,000
62	大塩	大島地区健康体操	48,000	-
63	矢本東	谷地区自治会(お茶サロン谷地)	94,000	-
64	赤井	なないろの会	-	-
65	大曲	五味倉地区自治会	-	-
66	矢本西	ひよこクラブ	164,000	-
67	小野	川下グランドゴルフ愛好会	-	-
68	宮戸	ピンコロ体操	48,000	-
69	赤井	「いきいきクラブ」	120,000	-
70	赤井	下区ボランティアコスモス会	-	-
71	矢本東	あじさい会ふれあいサロン	-	-
72	大曲	横沼櫻木の会	107,500	-
73	赤井	南新町月曜サロン	-	12,500
74	小野	健康マーじゃん愛好会	-	-
75	赤井	下区福寿会	-	-
76	矢本東	下町一自治会お茶っこ会	-	-
77	野蒜	NPO法人のんびーりすみちゃんの家	-	-
78	大曲	さくらホットサロン	-	23,000
79	赤井	川前集会所運営協議会	-	-
80	大塩	もみじ会	-	-
81	宮戸	お茶のみ友の会	-	-
82	赤井	柳北自治会生き生きライフクラブ	-	-

83	大塩	表百歳体操	72,000	-
84	赤井	お達者クラブ	-	-
85	矢本東	ひまわり会	72,000	-
86	大曲	レクダンス「ケ・セラ・セラ」	-	-
87	大曲	横沼ピンポン愛好会	-	-
88	矢本西	沢田いきいき 101 歳	96,000	-
89	矢本西	上小松いきいき会	96,000	-
90	赤井	すみれ会	72,000	-
91	小野	上下堤みんなでいきいき楽しむ会	96,000	-
92	矢本西	立華会	47,000	-
93	小野	根古ふれあいサロン	21,000	-
94	矢本東	楽楽会	-	6,750
95	野蒜	野蒜グランドゴルフ愛好会	-	48,000
96	野蒜	チーム室浜	-	-
97	矢本西	鹿妻若葉の会	96,000	-
98	矢本西	河戸自治会さわやかサロン	-	-
99	矢本東	四葉会	-	11,000
100	小野	往還上ゆったりクラブ	72,000	-
101	赤井	お茶っこ飲み会	-	-
102	小野	上寿会	96,000	-
103	矢本西	ほっとサークル	-	-
104	小野	高松いきいき体操	45,000	-
105	矢本東	下町二区五区自治会お茶っこ会	-	-
106	赤井	赤井楽園PG愛好会	-	29,250
107	矢本西	元気会	-	-
108	矢本西	フレッシュ百歳体操	-	-
109	野蒜	のびるカラオケ愛好会	-	12,000
110	小野	J Aいしのまき小野支部	-	-
111	大曲	五味倉楽笑会	-	-
			56 団体 4,502,000	12 団体 239,500

### ⑦福祉のまちづくり支援事業の実施

- ・令和5年度福祉のまちづくり支援事業実施要綱により、社協・支部が実施する地域福祉の向上を目的にした事業・活動に対する助成を実施し、「福祉のまちづくり」の推進を図った(助成金の上限:会費納入の20%)。

(助成事業実績)

事業区分	件数	主な事業	主な内容
高齢者福祉事業	45 件	敬老会、記念品配布、老人クラブ助成	前年度に引き続き、感染防止の為、敬老会開催を中止とした地域が多かったが。開催した地域は15件。

地域交流事業	12件	公園の光のページェント、クリスマス会、ラジオ体操開催	新年会開催、地域でのラジオ体操、親睦の視察研修、サロンの開催（見守りを兼ねる）
児童福祉事業	2件	子供会育成支援、子供会への助成、サマーレクリエーション 子供みこし	サマーレクリエーションの開催、子供会育成支援
環境保全事業	1件	地区内清掃美化活動、植栽活動	植栽作業を住民共同で実施
次年度へ繰越	1件	事業が開催できなかったため、令和6年度へ繰越	その他、残額を次年度繰越とする地域あり
合計	61件	助成金額合計 2,232,200 円(会費納入総額の20.0%)	

※申請自治会数…61件

### ⑧自治協議会(福祉部会)や市民センターとの連携の推進

- ・地域自治組織等が、地域福祉事業を円滑に進められるよう助成を行い、地域福祉事業の推進にあたった。

助成先	実施事業	助成額	交付決定日
矢本東 まちづくり協議会	・お茶のみ交流 ・ウォーキングで地域を探検 ・健康体操	70,000円	7月21日
矢本西 コミュニティ協議会	・健康体操・健康推進講座 ・子育てふれあいサロン ・ささえあい研修	70,000円	
赤井地区自治協議会	・地域見守り講演会 ・夏休みこども楽集塾 ・子ども漬物TRY塾 ・ココロのバリアフリーCooking	70,000円	
大塩自治協議会	・健康まつり	30,000円	
野蒜 まちづくり協議会	・伝統芸能継承事業 ・心の復興ゴスペルコンサート ・寺子屋サロン ・高齢者の椅子(仮称)	70,000円	
合計		310,000円	

### ⑨ノーマライゼーション普及事業の実施

- ・市内の特別支援学級に在籍している児童・生徒とその家族・担当教諭等が、施設見学や体験学習を通じ、学校枠を超えた交流と人との関わり合いや絆を深められるような事業として実施した。

(1)事業名 「夏休みのつどい」

(2)実施日 8月4日

(3)場所 気仙沼・大島

(4)参加人数 2家族(6人)

#### ⑩特別支援学級への学用品等支給事業

- ・児童生徒の学習支援の一環として、市内特別支援学級設置校と支援団体(あかしや会・しいのみ会・いちょうの会)が主催する行事に協賛し、学用品等の贈呈を行った。  
(今年度もコロナ感染予防の観点から学校ごとの開催となった)

事業名	時期	支給内容
あかしや会・しいの実会・いちょうの会主催 「合同クリスマス学習会(中学校区ごと)」	12月1日～ 12月22日	図書カード (85人)
あかしや会・しいの実会・いちょうの会主催 「卒業・進級を祝う会」	令和6年 2月14日～ 2月29日	文具セット (進級68人) (卒業17人)

#### ⑪子ども・若者の居場所づくり支援事業

##### ■ひがまつおやこの居場所事業について

- ・子育てサークルこっこクラブと協働で6月24日(土)に老人福祉センターを会場に親子を対象とした事業を開催した。協力者含め参加者70名。

##### ■ぼかぼかふえの開催について

- ・子育てサークルこっこクラブ、ミッフィークラブとの協働で12月15日(金)矢本西コミュニティセンターを会場に親子を対象とした事業を開催した。  
参加者協力者含め15名。

#### ⑫心のケア促進事業

- ・被災者の孤立感の解消や地域内でのつながりづくり、生きがいをづくりを目的に実施した。

##### ■音無美紀子の歌声喫茶

- ・10月11日に開催した本会主催の地域福祉推進大会第2部で「音無美紀子の歌声喫茶」を開催した。音無美紀子さんほか芸能関係者12人が参加した。
- ・10月12日に矢本西市民センターを会場に歌声喫茶を開催した(コロナ禍の影響により4年ぶりの開催)。音無美紀子さんほか芸能関係者10人、市民160人が参加した。



■金子美枝のフラワーアレンジメント教室

講師：フラワー装飾技能士1級 華創師 金子 美枝 氏(横浜市在住)

時期		開催場所	参加者数
7月	8日	赤井市民センター 多目的ホール	16
	8日	東松島市民センター多目的ホール	12
	9日	野蒜市民センター 会議室2・3	20
11月	18日	大塩市民センター 多目的ホール	13
	18日	老人福祉センター 集会室	14
	19日	小野市民センター 講堂	15
令和6年2月	17日	大曲市民センター 多目的ホール	17
	17日	老人福祉センター 集会室	19
	18日	野蒜市民センター 講堂	20
合計			146



■安田智彦グループ「ハッピージャズコンサート」

・2月23日に小野市民センターを会場にジャズコンサートを開催し、市民133人が参加した。



### ⑬民生委員・児童委員の活動環境の整備と担い手の育成の支援

・民生委員児童委員協議会の事務支援を通じ、市や社協事業と連携した地域共生社会の実現に向けての取り組みを行った。

#### ■東松島市民生委員児童委員協議会事務事業の支援

構 成	定数 84 人 / 現員数 民生委員 76 人、主任児童委員 3 人
会議の状況	定期総会：4 月 12 日 定例会毎月開催(毎月 10 日前後) 正副会長会議 (1 回) 役員会 (16 回)、児童専門部会 (4 回)、監査会 (1 回)
支援内容	会議資料作成 ②報告文書等の作成と発送 ③会議運営支援 ④会計事務支援

### ⑭福祉関係団体の連携・協働の推進

・それぞれの福祉団体が目的達成に向けて、自立した活動ができるよう事務支援を行った。

#### ■東松島市老人クラブ連合会

構 成	25 単位クラブ、会員数 729 人
会議の状況	総会：年 1 回、理事会：年 3 回、正副会長会議：年 2 回、 監査会：年 1 回
支援内容	補助金の申請手続き(申請～実績報告)②会計処理③会議等の運営 ④広報誌の発行 ⑤単位クラブ活動の紹介 ※パークゴルフ・交流会の開催 ※研修会開催 ※スポーツ大会 (県大会は参加、市大会は暑さの為中止)

#### ■東松島市遺族会

構 成	会員数 210 人
会議の状況	代議員会(総会)：年 2 回 (6 月に書面、10 月に代議員会開催) 正・副会長会議：年 2 回、理事会：年 1 回、監査会：年 1 回
支援内容	①会費の一時預かり ②会議等の運営③護国神社参拝準備補助 ※令和 5 年度代議員総会 書面決議 ※令和 5 年度戦没者追悼式 新型コロナウイルス感染防止のため中止

#### ■東松島市身体障害者福祉協会

構 成	会員数 44 人
会議の状況	総会：年 1 回、役員会：年 4 回、三役会議：年 1 回
支援内容	補助金の申請手続き(申請～実績報告)②会計補助③会議等の運営 ④各種行事の運営⑤会員研修事業の運営

#### ■東松島市共同募金委員会

構成	委員数 9 人
会議の状況	運営委員会：年 1 回、配分委員会：年 1 回
支援内容	事業運営全般 ②会計処理 ③募金活動(赤い羽根、歳末たすけあい、災害義援金)④助成金の申請・配分

■社協・福祉関係団体長懇談会の開催

- ・地域で活動する福祉団体との懇談会を開催し、コロナ禍の課題をはじめ、各団体の活動状況や課題等の把握を行った。

日時 令和6年3月27日(火) 午後1時30分

参加団体 東松島市民生委員児童委員協議会・東松島市老人クラブ連合会  
東松島市身体障害者福祉協会・東松島市遺族会

⑮社福法人・社協連携による「地域における公益的な取組」の推進

■「東松島市社会福祉法人連絡会」との共同による公益的な取組事業

時期	内容
通年	福祉なんでも相談窓口の設置
6月9日	第1回福祉なんでも相談ネットワーク会議 ①令和4年度福祉なんでも相談窓口状況について ②東松島市社会福祉法人連絡会による地域における公益的な取組みに向けた、移動支援ニーズ調査アンケート結果について ③意見交換
7月20日	第1回福祉なんでも相談のための研修会 「重層的支援体制整備事業を通じた山形市社会福祉協議会の取組みについて」
9月22日	第2回福祉なんでも相談のための研修会 「ひきこもり支援について ～ひきこもりの理解と関わり方を学ぶ～」

※詳細は多機関協働事業に掲載

⑯情報発信力の強化

■広報誌「社協だより ふれあいねっと」の定期発行(全戸配布)

- ・地域福祉活動を啓発・促進させるため、12回(毎月)発行した。
- ・発行部数 15,600部/月

号数	発行日	号数	発行日
第112号	令和5年4月1日	第118号	10月1日
第113号	5月1日	第119号	11月1日
第114号	6月1日	第120号	12月1日
第115号	7月1日	第121号	令和6年1月1日
第116号	8月1日	第122号	2月1日
第117号	9月1日	第123号	3月1日

■東松島市社会福祉協議会ホームページ

- ・ホームページの充実を図り、地域福祉活動に関する最新情報の発信に努めた。
- ・前年度に引き続き、コロナ禍での事業の中止や再開のお知らせ、緊急特例貸付等の情報やフードパントリー、令和6年能登半島地震災害義援金等、即時性が求められる情報の発信を行った。

(<http://www.hmfukushi.jp/>)

## ⑰災害時福祉支援体制の整備

### ■東松島市総合防災訓練への参加（6月4日）

（訓練実施項目）

- ・市災害対策本部参加訓練、職員参集訓練、職員安否情報メール送信訓練、老人福祉センター来館者避難誘導訓練、福祉避難所設置訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練

### ■震災経験の風化防止

- ・総合防災訓練終了後、震災当初に取り組んだ活動について当時の担当者が説明し、職員間で意見交換した。

### ■秋田市への職員派遣

- ・令和5年7月に発生した豪雨水害により、災害ボランティアセンターを設置した秋田市に職員2名を派遣した。
  - ・派遣期間 8月15日～8月19日（5日間）
  - ・派遣先 秋田市災害ボランティアセンター（秋田市社協）
  - ・活動内容 市内のニーズ調査（被害状況の把握、困りごとの聞き取りなど）

### ■いわき市へのボランティアバス運行

- ・令和5年9月の台風13号による豪雨水害で災害ボランティアセンターを設置した福島県いわき市へボランティアバスを9月27日に運行した。市民8人と職員2人が参加し、被災家屋の床下の泥だし作業（2件）を行った。

### ■秋田市への暖房器具の寄贈

- ・寒冷期を迎え、暖房器具の買い替えなどができない生活困窮者等へ配布してもらうよう、11月2日、石油ストーブ16台を秋田市社協へ寄贈した。

### ■令和6年能登半島地震への支援

#### (1) 義援金募金活動（東松島市共同募金委員会）

- ・令和6年1月5日より義援金募金の受付を開始した。
- ・令和6年1月11日に東松島市共同募金委員会による街頭募金活動を行った。

活動場所：ヨークベニマル矢本店、フレスコキクチ矢本店

- ・令和6年3月31日現在の募金額 1,749,857円

#### (2) DWAT（災害派遣福祉チーム）の派遣

- ・令和6年能登半島地震災害の被災地支援として、被災地に職員（社会福祉士）を派遣した。
  - 派遣期間 令和6年2月18日～2月24日
  - 派遣先 石川県七尾市
  - 活動内容 避難所への訪問活動を行い、避難者の身体機能の状態把握や生活再建に向けた専門相談窓口の情報提供、医療機関や地域包括支援センター等へのつなぎを行った。

#### (3) 石川県議団被災地視察への対応

- ・東日本大震災の被災自治体による先行事例の調査のため、令和6年3月11日に東松島市を訪れた石川県議団6人に対して、東日本大震災の災害ボランティアセンターや被災者サポートセンターの取組について報告し、意見交換を行った。また、被災地からの声として「福祉の支援」に関し、「医療の支援」と同等の財政支援等を求める災害法制の制度改正に向け、国に働きかけるようお願いした。

#### (4) 能登町社協への支援

- ・発災直後から能登町等に炊き出し支援を行っているキボッチャを令和6年1月19日に訪問し、代表の三井社長から活動内容や市内ボランティアのニーズ等について情報収集を行った。
- ・令和6年2月7日に開催された東松島市による能登半島地震被災地報告会に参加し、現地の

被災状況に関する情報収集を行った。また、東松島市が能登町を対口支援先としていることを受け、今後、本会も能登町社協を重点的に支援することを決定した。

- ・能登町社協への支援として以下のことを実施した。(令和6年3月10日現在)
  - 東日本大震災の経験を伝えるため、被災者支援活動記録誌『伝承』を送った。
  - 支援者の支援として、職員からの拠金を活用して能登町社協職員に菓子等を送った。

## ⑱地域福祉推進大会の開催

- ・東松島市地域福祉推進大会と題して、表彰式と記念講演の2部構成で開催した。表彰式は多年にわたり社会福祉事業活動の発展に献身的な努力を続け、その功績顕著な者及び社会福祉活動に協力援助した団体及び個人へ表彰を行った。記念講演は、東日本大震災以後、東松島市内の市民センター等で心の復興支援として長年にわたり活動をしていた「音無美紀子の歌声喫茶」を開催した。

日時 10月11日 午後1時30分～

場所 東松島市コミュニティセンター

内容 第一部 東松島市社会福祉功労者表彰式「表彰状及び感謝状の贈呈」

第二部 記念講演「音無美紀子の歌声喫茶」

○令和5年度 東松島市地域福祉推進大会受賞者(敬称略)

(1) 民生委員児童委員及び社会福祉活動の奉仕者でその功績顕著な者

《東松島市社会福祉協議会支部推薦(23人)》

内海美奈子(上河戸若葉)、赤間偕子(上河戸若葉)、亀山ひろえ(関の内西)、吉木妙子(関の内三)、小野寺富久子(関の内三)、村上文治(あおい三丁目)、中町忠之(あおい三丁目)、尾形 勝(あおい三丁目)、神山善衛(河戸)、新田勝弥(河戸)、佐藤ひさ子(河戸)、板宮吉博(二反走)、近藤れい子(五味倉地区)、平 美和江(五味倉地区)、久須美茂男(横沼地区)、渡邊富雄(横沼地区)、鈴木とみ子(大曲地区)、奥津千賀子(大曲地区)、小野寺厚子(大曲地区)、邊見良子(小松台)、勝又幸子(小松台)、鈴木米子(小松台)、石井典男(大塚)

《ボランティア団体・百歳体操推薦(31人)》

外処はま子(さくらんぼ会)、桐山真寿子(日赤奉仕団東松島市さくら会)、幸田つた(東松島民話の会「おさるのかごや」)、松川広美(てあわせ表現・東松島)、飯坂純子(東松島市レクリエーション協会)、菅原憲子(東松島市点訳サークル)、石母田節子(宮城いきいきこでまり会)、松川孝子(民謡はまなす会)、高橋きさ子(矢本民謡桃香会)、田母神えみ子(下町べっぴん百歳体操)、阿部宣雄(あおい元気サークル)、遠藤ひな子(南三区なごみ会)、木村春子(小野上遊楽楽会)、遠藤次子(ヘルシーカフェあがらいん茶屋)、高橋絹子(なないろの会)、櫻井貴美子(はつらつシニア百歳体操)、橋浦 悟(チーム楽楽楽)、尾形幸子(爺・婆まけん隊)、佐藤滯子(百歳体操よつば会)、伊藤太郎(105ピンピン体操の会)、戸井恵美(中下いきいきちょっころ会)、鈴木節郎(はばたけ百歳体操)、今野みい子(にっこり百歳体操)、遠藤信男(南五和幸会百歳体操の会)、鈴木周蔵(東名地区あざみの会)、佐藤康男(ほっこり常楽会)、川村ゆう子(鹿妻若葉の会)、相澤勇一(なんだ坂こんな坂サークル)、黒川時夫(いきいき会)、本名宗三郎(百歳体操悠悠クラブ)、大江和子(カトレア会)

(2) 社会福祉施設、社会福祉団体等の役職員でその功績顕著な者

《社会福祉施設・事業所の役職員(10人)》

中山勝文、渋谷栄一、大崎隆良(社協支部長)、齊藤洋子(社協役員)、小野尚子、新田

あつ子、加藤栄子(社協)、大原信子、津志田しげ子、鈴木ヤス子(訪問介護事業つくし)

《福祉団体の役員(2人)》

内海國雄(東松島市老人クラブ連合会)、神山良一(東松島市身体障害者福祉協会)

(3) 社会福祉事業に対し、金品の寄贈または労力の奉仕者でその功績顕著な者

《寄附金品の寄贈者(2人)》

江俣欣倫(個人)、奥松島縄文村菜種保存会(団体)

《賛助会員・特別会員(1社)》

メモリアルホール菩提樹(特別会員)

以上、表彰状受賞(個人・団体)…66人 感謝状受賞(個人・団体)…3人

### ⑲防災・地域交流推進のためのテント配分事業

- ・誰もが地域社会の一員として参加できる様々な福祉活動の展開を推進し、自治会が行う安心安全な福祉のまちづくりへの理解と参加を図るため、共同募金配分金を活用し、テントの現物支給を行った。

配分先 ①平岡自治会

### ⑳東日本大震災復興支援活動の経験の伝承

- ・十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

### ㉑ヤングケアラーの支援

- ・十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

### ㉒レクリエーション活動普及促進事業

- ・レクリエーション用具の使用法の研修会を実施した。矢本、鳴瀬地区で各2回、6種目を体験していただいた。延べ173人が参加した。

開催日	場所	参加人数	研修内容
6月28日	大曲地区体育館	62人	実技体験(オーバルボール、釣りっこゲーム等)
6月29日	奥松島運動公園体育館	30人	
9月20日	大曲地区体育館	52人	実技体験(室内グランドゴルフ、室内ペタンク)
9月28日	奥松島運動公園体育館	29人	

### ㉓福祉教育の推進

- ・社会福祉援助技術実習生の受入れや小学校での福祉に関する講話などを実施した。
- ・実習生の受入れ

受入れ期間	学校	人数	内容
7月3日～8月3日	東北福祉大学	2人	社会福祉援助技術実習(24日間)
11月13日～11月22日	東北福祉大学	1人	ソーシャルワーク実習I(8日間)

開催日	場所	学年	内容
7月11日	矢本東小	全学年	災害ボランティアについて（防災福祉教育）
11月22日	矢本西小	6年	災害ボランティア・ボランティアについて



#### ㊤総合的学習支援事業

・家庭や学校外での地域資源を活用した体験学習を通じ、自分たちの暮らしの中にある地域との結びつきを感じてもらおう活動に助成した(助成上限額1校40,000円)。

助成先	助成額	事業概要
矢本東小学校	40,000円	4年生 レッツゴーやもとうまいもの探検隊 5年生 みんなの町 東松島
大曲小学校	40,000円	3年生 東松島うまいもの探検隊 4年生 東松島名人になろう
大塩小学校	40,000円	3年生 大豆の達人 5年生 宇宙ーおいしい米づくり
矢本西小学校	40,000円	3年生 すてきいっぱい東松島市 4年生 みんなにやさしい東松島市
赤井小学校	40,000円	3年生 発見!私たちの町 4年生 つくろう!私たちの町
赤井南小学校	40,000円	4・5年生 南小伝統の太鼓を学ぼう 5年生 米作りをマスターしよう
鳴瀬桜華小学校	40,000円	4年生 シナイモツゴを育てよう 5年生 東松島の食 大発見!
宮野森小学校	40,000円	6年生 震災と復興の森について伝えよう 3・4年生 ふるさとの森や海に親しもう
矢本第一中学校	40,000円	2年生 職場体験学習
矢本第二中学校	33,170円	2年生 職場体験学習
鳴瀬未来中学校	40,000円	2年生 職場体験学習
合計	433,170円	

#### ㊤火災見舞金支給事業の実施

- ・住宅火災に見舞われた世帯に対し、本会規程による見舞金を支給した。  
火事見舞 全焼 1件
- ・当センター連携先の市内企業から生活家電の無償提供を頂いた。

## ㊸閉じこもりがちな高齢者との交流

- ・十分な作業時間の確保ができなかったため、未実施

### (3) 生活支援体制整備事業（東松島市からの受託）

#### ①生活支援体制整備事業

##### ■生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置

- ・地域支え合い体制の構築のため、第1層に1人、第2層に3人（内、1人は第1層と兼務）の生活支援コーディネーターを配置し、地域資源の把握やお茶会等集いの場の立上げ、地域での見守り活動等の支援を行った。

##### ■生活支援コーディネーターの活動状況

#### ア 市全域での活動件数

活動内容	件数
総合調整・活動支援（多機関との調整や第1層及び第2層間の調整、団体等への活動支援）	37
研修会の開催（フォーラムや支え合いに関する研修会）	14
ネットワークの構築（関係機関との情報交換会や他機関との連携を図ったもの）	62
広域的な業務（他市町村との連携や情報交換会）	44
定例会議（市役所との生活支援体制整備事業定例会議）	2
会議等への出席（地域ケア会議や他の地域包括ケアに関連する会議への出席）	73
協議体の運営（第1層協議体（地域支え合い推進委員会）運営及び運営に係る調整）	18
アセスメント・分析（市内の地域資源に関する収集した情報のアセスメント及び分析）	3
その他（研修会への参加等）	5
計	263

#### イ 地域活動圏域の活動件数

（単位 件）

地域活動圏域 活動種別	赤井	大曲	矢本東	矢本西	大塩	小野	野蒜	宮戸	合計
地域資源の把握	59	47	75	36	48	24	31	10	330
生活支援ニーズの把握	55	40	66	46	43	21	26	8	305
支援対象者の把握	59	41	63	45	43	20	27	8	306
ネットワーク構築	66	54	56	25	51	20	29	8	309
マッチング	1	1	16	16	2	16	4	0	56
サービス創出	1	1	1	3	3	4	6	7	25
関係機関調整	12	5	41	26	6	6	18	0	114
連携・連動	38	23	55	29	15	18	26	7	198
会議出席	5	15	13	3	7	5	4	0	52
協議体運営	12	4	6	5	10	11	16	2	66
アセスメント・分析	2	2	7	2	2	2	6	7	29

相談対応	10	5	34	30	4	4	6	2	95
その他(研修会への参加等)	27	14	2	2	12	3	1	1	62
計	346	252	435	268	246	149	192	60	1,948

■生活支援体制整備事業に係る市担当課との連携(定例会議の開催)

回数	開催日	内容
第1回	4月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度までの体制整備事業の実施状況について</li> <li>令和5年度の生活支援体制整備事業計画について</li> <li>今年度の生活支援体制整備事業の進め方について</li> </ul>
第2回	10月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>上半期の生活支援体制整備事業について(地域ごとの活動状況の確認)</li> <li>下半期の生活支援体制整備事業の取り組みについて</li> </ul>

- ・その他、部会の開催時及び協議体開催時など随時市の担当職員と連絡調整を行った。

■第1層協議体の運営及び連携

- ・東松島市生活支援体制整備事業実施要綱に基づき、東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の運営。今年度介護予防ボランティアポイント検討部会と生活支援・介護予防サービス検討部会の2部会の運営を実施した。

ア 東松島市地域支え合い推進委員会(第1層協議体)の開催

- ・地域支え合い推進委員会(第1層)

開催日	内容	出席者
3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度東松島市支え合い活動の状況について</li> <li>令和5年度生活支援体制整備事業取り組み状況について</li> <li>令和6年度生活支援体制整備事業の方向性について</li> </ul>	委員12人 事務局7人

- ・介護予防ボランティアポイント検討部会

開催日	内容	出席者
5月16日	第3回 介護予防ボランティアポイント検討部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>視察研修の研修内容について</li> <li>視察場所の選定について</li> <li>今後のスケジュールについて</li> </ul>	部会員5人 事務局5人
8月9日 ～10日	第4回 介護予防ボランティアポイント検討部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>先進地視察研修(埼玉県東松山市、東京都稲城市)</li> </ul>	部会員5人 事務局2人
9月19日	第5回 介護予防ボランティアポイント検討部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>先進地視察の振り返り</li> <li>「社会参加」の定義及び今後の論点について</li> </ul>	部会員5人 事務局4人
10月19日	第6回 介護予防ボランティアポイント検討部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>「社会参加」と第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート分析結果について</li> <li>「社会参加」の定義の振り返り</li> </ul>	部会員5人 事務局4人

11月9日	第7回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・「社会参加」の必要性と目的について ・ボランティアポイントの事業対象者について	部会員5人 事務局5人
1月25日	第8回 介護予防ボランティアポイント検討部会 ・「社会参加」の必要性と目的について ・ボランティアポイントの事業対象者について	部会員4人 事務局5人

・生活支援-介護予防サービス検討部会

開催日	内容	出席者
6月19日	第3回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・配食・移動に関するサービス状況の共有 ・今後の生活支援開発に向けた協議	部会員5人 事務局5人
8月28日	第4回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・配食・見守り、移動支援に関する市内の状況について ・今後の部会の進め方について	部会員6人 事務局4人
10月23日	第5回 生活支援・介護予防サービス検討部会 ・生活支援・介護予防サービスの取組状況について ・他市での訪問型サービス事業実施に向けた提案内容 ・移動支援実施に向けた今後について	部会員5人 事務局5人
1月9日	第6回 生活支援・介護予防サービス検討部会 オンライン研修 テーマ 住民主体の移動支援の基礎知識 講師 全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎 民子 氏	部会員8人 事務局7人 県社協1人

イ 啓発事業の実施

- ・市内で生活支援体制整備事業を進めるにあたり、自治会圏域での地域支え合い会議(第3層)の開催を推進するため、地域支え合い会議に関するチラシを作成し、社協支部長会議や第2層協議体などで啓発した。

ウ その他

- ・社協だより「ふれあいねっと」にて地域のサロン紹介や、協議体の活動紹介を行い体制整備事業の啓発に努めた。

■第2層協議体の運営・連携

- ・市内地域活動圏域(8自治協エリア)において、協議体運営に向けた支援に取り組んだ。

【赤井地域】

- ・赤井地域第2層協議体(協議体名称:おせっかい)会議を年4回開催し、赤井地域における地域課題について情報交換をおこなった。

【大曲地域】

- ・アットホーム大曲安心づくり事業部(大曲地域第2層協議体)事業部会議を年12回開催した。
- ・令和4年度大曲地域で実施した高齢者の生活支援に向けたアンケート分析を実施。
- ・毎月の開催で、自治会ごとの地域活動の状況について情報交換を行なった。

#### 【野蒜地域】

- ・野蒜地域協議体を年1回開催した。野蒜地域は全地区で地域支え合い会議を実施しており、見守りについて協議体構成メンバー等を対象につながりワーカー養成研修を実施した。

#### 【大塩地域】

- ・大塩地域第2層協議体を2回開催した。大塩地域における地域支え合い会議の推進や移動の課題について協議した。
- ・民生委員の情報交換会を3回実施し、地域の気になる高齢者の状況について把握した。
- ・協議体メンバー等を対象につながりワーカー養成研修を実施した。

#### 【矢本東地域】

- ・矢本東地域協議体を2回開催した。
- ・矢本東地域での高齢化率の推移や自治会ごとの特徴・状況について情報交換を実施。また矢本東地区における地域支え合い会議の開催状況などについて情報交換をおこなった。
- ・協議体メンバー等を対象につながりワーカー養成研修を実施した。

#### 【矢本西地域】

- ・矢本西地域第2層協議体を2回開催した。
- ・矢本西地域における自治会ごと高齢化率や現在の見守り状況について情報共有を行い、また他地域の地域支え合い会議の状況について説明した。
- ・11月には自治会長対象に地域支え合いに関する研修会を実施、2月には支部長、民生委員、協議体メンバー等を対象につながりワーカー養成研修を実施した。

#### 【小野地域】

- ・小野地域協議体を1回開催した。第3層（自治会圏域）での活動を推進し、協議体メンバーや地域支え合い会議の構成メンバーを対象につながりワーカー養成研修を実施した。

#### 【宮戸地域】

- ・宮戸地区第2層協議体を3回開催した。宮戸地域の高齢者の状況や浜ごとの活動についての情報交換や、地域課題について協議した。

#### 【全地域共通】

- ・サロン活動への訪問を通じて、地域支え合い活動の把握とキーパーソンとの関係づくりを実施した。
- ・地域生活課題の把握のため、自治会圏域(第3層)における地域支え合い会議を推進し、今年度は新規で11地域で会議を開催、49地域において地域支え合い会議を開催した。

#### ■生活支援体制整備事業推進協力金の交付(6地域 合計1,460,000円)

地域	交付額
赤井地域	300,000円
大曲地域	240,000円
矢本東地域	300,000円
大塩地域	210,000円
野蒜地域	210,000円
宮戸地域	200,000円
合計	1,460,000円

#### (4) 地域介護予防事業（東松島市からの受託）

##### ①介護予防把握事業

###### ■いきいき百歳体操実施サークルの登録状況及び活動状況

- ・登録団体 69 団体(道地、五味倉、小野 3 か所新規に立ち上げ)
- ・感染予防の啓発チラシの作成・配布や他の好事例を紹介するなど、住民同士の「つながり」を絶やさないよう支援を継続した。
- ・コロナ禍を経験した団体の代表者からは、「活動を休むのは簡単だが、高齢者の行き場がなくなり体力が落ちる」「ここに来るのが楽しみ」「みんなの顔を見ると安心する」等の声が聞かれた。
- ・活動の幅を広げてもらうために、レクリエーション用具の使用法の研修会を実施した。矢本、鳴瀬地区で各 2 回、6 種目を体験してもらった。延べ 173 人が参加した。
- ・宮城県より高齢者の健康づくり生きがいに資するデジタル機器の活用の協力依頼があり、高齢者デジタルデバインド解消支援事業に 1 団体がモデル地区として参加した。

取組 1 「旅する通いの場」×蔵王町 12 月 11 日 参加者 40 人

①遠隔地の人々との交流を深める事による生きがいきづくり

②デジタルの恩恵を肌で感じていただく

取組 2 健康セミナー12 月 14 日 参加者 63 人

のぼそう健康寿命～今からでも遅くないアクティブシニアになる秘訣～

東北大学名誉教授 辻 一郎氏

###### ■いきいき百歳体操登録団体一覧

	地区名	サークル名	開催日	開催場所
1	下 町	下町べっぴん百歳体操	火・金	下町地区センター
2	川 下	川下地区百歳体操	木	川下地区センター
3	南新町	ニコニコサロン	木	南区新町地区センター
4	小野下	新道町内会自治会	火	小野下地区センター
5	あおい 2	あおい元気サークル	火	あおい二丁目地区センター
6	下小松	下小松地区健康体操	火	下小松地区センター
7	南三区	なごみ会	木	川前集会所
8	浅 井	浅井百歳体操会	火	浅井地区センター
9	大 溜	あいサロン	水	大溜地区センター
10	小野上	遊楽楽会	木	小野上地区センター
11	上 納	ヘルシーカフェあがらいん茶屋	金	上納地区センター
12	里 浜	里浜げんきクラブ	月	里浜地区センター
13	柳 区	なないろの会	木	柳の目西住宅集会所
14	平 岡	はつらつシニア	火	平岡地区センター
15	往還下	しゃんしゃんとクラブ	火	小野駅前東集会所
16	亀 岡	チーム楽・楽・楽	木	亀岡地区センター
17	小松南	爺・婆まけん隊	月	小松南住宅集会所
18	貝 田	よつばの会	火	大曲地区センター
19	作田浦	作田浦自治会	月	矢本東市民センター
20	南 五	105 ピンピン体操の会	木	南区西地区センター

21	中 下	いきいきちよっくら会	木	中下地区センター
22	赤井駅前	川前サルビア会	金	川前集会所
23	三角公園	いきいき三燦会	水	上町西地区センター
24	柳 西	柳西区はまなす会	月	川前集会所
25	室 浜	チーム室浜	火	室浜地区センター
26	関の内	はばたけ百歳体操	金	関の内地区センター
27	二反走	にっこり百歳体操	金	二反走地区センター
28	南 区	南区和幸会百歳体操の会	月	南区西地区センター
29	野蒜ヶ丘3	スマイル元気会	水	野蒜ヶ丘西部集会所
30	前 里	前里百歳体操	月	前里地区センター
31	東 名	東名地区あざみの会	木	東名地区ふれあいセンター
32	大浜台	ほっこり常楽会	金	大浜地区センター
33	大 塚	かたくり会	火	大塚地区センター
34	鹿 妻	鹿妻若葉の会	金	鹿妻地区センター
35	小松台	なんだ坂こんな坂サークル	木	小松台地区センター
36	野蒜ヶ丘2	いきいき会	月	野蒜ヶ丘中央集会所
37	四反走	悠悠クラブ	火	四反走地区センター
38	西福田	西福田地区こまち	金	西福田下地区センター
39	あおい3	なごみ百歳体操	金	あおい三丁目地区センター
40	上町東	カトレア会	金	上町東地区センター
41	裏 沢	裏沢いきいきほっとサロン	水	裏沢地区センター
42	中 区	さくらんぼ会	金	中区地区センター
43	塩 入	あったかサロン・シオイリ	水	塩入地区センター
44	野蒜ヶ丘1	シャンシャン会	月	野蒜市民センター
45	上河戸若葉	上若百の会	月	上河戸地区センター
46	上河戸一	ひよこクラブ	火	河戸地区センター
47	大塩中	大塩スマイル	火	大塩市民センター
48	下町一	下町一ふあふあ会	金	南浦地区センター
49	大 島	大島地区健康体操	火	大島地区センター
50	南新町②	いきいきクラブ	水・金	南区新町地区センター
51	谷地	お茶サロン谷地	水	谷地地区センター
52	月 浜	ピンコロ体操	火	月浜地区センター
53	柳 北	生き活きライフクラブ	水	柳北区地区センター
54	横 沼	横沼櫻木の会	月	横沼地区センター
55	下 区	すみれ会	金	下区地区センター
56	表	表百歳体操	月	表地区センター
57	東大溜	なのはなクラブ	火	大溜地区センター
58	上町東②	ひまわり会	火	上町東地区センター
59	沢 田	沢田いきいき 101 歳	火	沢田地区センター
60	立 沼	立華会	火	立沼地区センター
61	上下堤	みんなでいきいき楽しむ会	金	上下堤地区センター
62	上小松	上小松いきいき会	金	上小松地区センター
63	根 古	根古ふれあいサロン	木	根古地区センター

64	往還上	往還上ゆったりクラブ	水	小野駅前南集会所
65	往 還	上寿会	水	往還地区センター
66	高 松	高松いきいき体操	月	高松地区センター
67	道 地	フレッシュ百歳体操	水	道地地区センター
68	五味倉	楽笑会	月	五味倉地区センター
69	小 野	J Aいしのまき小野支部	木	小野地区センター

## ②介護予防普及啓発事業

### ■第6回 東松島市「いきいき百歳体操」交流大会実施

- ・開催日：11月30日(木)13:30～
- 場 所：東松島市コミュニティセンター
- 参加者：300人
- ・88歳以上のご長寿参加者に「奨励賞」の授与 受賞者69人
- ・記念講演
  - 講師：東北大学大学院医学系研究科 香取幸夫教授
  - 演題：「きこえ」を良くして楽しい生活を

## ③地域介護予防活動支援事業

### ■いきいき百歳体操代表者会議の開催

#### (1) 第1回いきいき百歳体操代表者会議

- ・7月5日(水)に開催し、98人が参加し、下記事項について報告・協議を行った。

##### <報告事項>

- ・ふれあいサロン活動助成金申請団体の状況について
- ・百歳体操活動中における公民館総合補償制度について
- ・基本チェックリストから見る介護予防事業効果と現状

##### <協議事項>

- ・「東松島市いきいき百歳体操交流大会」の開催について

##### <その他>

- ・熱中症予防、コロナウイルス感染症について
- ・体力測定について（血圧測定）
- ・イーナ・イーナの健康 my ポイントについて
- ・「こころと体に得するお話」について
- ・宮城県「デジタルデバイド解消支援事業」について

#### (2) 第2回いきいき百歳体操代表者会議

- ・令和6年2月7日(水)に開催し、116人が参加し、下記事項について協議を行った。

##### <報告事項>

- ・マイナンバーカード申請書及び申込後の経過について
- ・冬の感染症予防について

##### <協議事項>

- ・「ふれあいサロン活動」助成金の実績報告書について
- ・「ふれあいサロン活動」助成金の交付申請書の提出について
- ・「こころと体に得するお話」講師派遣について

- ・ 公民館総合補償制度について
- ・ 物品貸与のチェックについて
- ・ レクリエーション活動職員派遣、用具の貸し出しについて
- ・ 事務所移転について

■ 地域交流サロン運営支援

- ・ サロンスタッフやレクリエーション協会スタッフの派遣(レクリエーション等活動支援)を73団体へ265回行った。
- ・ 地域交流サロンの運営支援(内訳)

時期	回数	参加者数	時期	回数	参加者数
4月	16回	235人	10月	22回	316人
5月	20回	269人	11月	22回	287人
6月	26回	355人	12月	19回	280人
7月	23回	292人	1月	21回	264人
8月	17回	195人	2月	26回	343人
9月	31回	393人	3月	22回	279人
合計			265回		3,481人

■ ふれあいサロン活動助成金の交付(再掲)

- ・ 地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあいサロン」活動団体の把握と活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の活性化を図った。
- ・ 登録団体：111団体
- ・ 東松島市財源分「通いの場事業費」助成金の交付：56団体 4,502,000円
- ・ 社協財源分「小地域福祉活動事業費」助成金の交付：12団体 239,500円

(5) 共同募金事業(共同募金配分金による事業)

① 東松島市共同募金委員会の運営

- ・ 委員会の事務局を担うとともに、共同募金運動の啓発と地域の福祉活動を推進するための民間資金の確保に努めた。

■ 赤い羽根共同募金実績…総額 4,323,226円(前年総額 4,361,403円・前年比 99.1%)

戸別募金	法人募金	学校募金	職域募金	個人募金	その他の募金
4,264,160円	0円	52,426円	0円	1,000円	5,640円

② 共同募金一般配分事業の実施

- ・ 共同募金の配分金を活用し、募金運動の啓発と地域において福祉活動を展開している民間福祉団体等への財政支援を行った。

■市町村募金按分処理に係る配分事業

障害児・者福祉活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動支援団体への助成金配分 30,000円×2団体(身体障害者福祉協会、視覚障害者福祉協会)</li> <li>30,000円×6団体(共生園、ぎんの星、てあわせ表現東松島、放課後デイサービス・やまびこ村、アドベンチャークラブ、こどもの広場)</li> </ul>
児童・青少年福祉活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小中学校児童への啓発運動 赤い羽根ポスターコンクール 児童生徒 27人応募</li> <li>・支援団体に対する助成金の配分 30,000円×1団体(大塩みんなの家)</li> </ul>
福祉育成・援助活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的学習支援助成事業 11校(小学校8校、中学校3校)</li> <li>・自治会へのテント配分 1張・214,500円相当 平岡自治会</li> </ul>
ボランティア活動育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録団体助成事業 28団体</li> </ul>
災害ボランティア支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター備品等整備</li> <li>・いわき市への災害ボランティア募集チラシ制作等</li> </ul>

③災害義援金の募金活動

■募金実績

募金の目的	募金の送付先	送金額
令和5年秋田県大雨災害義援金	中央共同募金会	20,000円
令和5年6月7月大雨災害義援金	中央共同美近海	46,337円
令和6年1月能登半島地震義援金 ※街頭募金実施	中央共同募金会・ 宮城県共同募金会	1,749,857円

④歳末たすけあい配分事業の実施

- ・関係機関や関係団体の協力のもと募金活動を展開し、新たな年を迎える時期に支援を必要とする対象者(団体)に対し、見舞金として支給した。

■歳末たすけあい募金実績…総額 425,000円

個別募金	法人募金	学校募金	職域募金	イベント募金	個人募金	募金箱
46,694円	0円	20,990円	60,791円	134,603円	140,000円	21,922円

※街頭募金活動はせず、募金箱や会議等での呼びかけを行った。

■歳末たすけあい募金配分委員会の開催

- ・開催日時 12月20日(水)、老人福祉センター集会室
- ・出席者 配分委員会委員4人
- ・配分先の決定 下記のとおり決定した。

配分先	配分額	
生活に課題のある世帯	31 世帯 66 人	独居 10,000 円 2 人以上 15,000 円の歳末見舞金
特別支援学級支援団体	3 団体	あかしや会他 各 10,000 円

## (6) ボランティアセンター事業

### ①地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくり

#### ■ ボランティア講座の開催

- ・災害ボランティアセンターの役割や被災地での災害ボランティア活動の心構えと基本的な知識を学ぶための入門講座を開催した。参加者 19 名のうち 4 名がボランティア登録をした。

時期	場所	内容	講師	参加者
2 月 10 日	老人福祉センター	災害ボランティア入門講座	一般社団法人「BIGUP 石巻」 阿部由紀代表理事	19 人

### ②ボランティア登録団体助成事業

- ・ボランティア登録団体の活性化と活動しやすい環境づくりを推進するため、共同募金配分金を活用し、ボランティア活動に要する事業費を 28 団体に合計 550,000 円を助成した(助成上限額 1 団体 20,000 円)。
- ・高齢者支援団体 6 団体
- ・芸能ボランティア団体 9 団体
- ・学習団体 6 団体
- ・子ども支援及び障害者支援団体 6 団体
- ・その他 1 団体

### ③ボランティア・市民活動センター機能の充実

#### ■ キャップハンディ体験教室の開催

- ・市内の小学校及び地域を対象に、車いす体験や視覚障がい体験などの福祉体験を行い、福祉に対する興味関心を育てた。

時期	場所	学年	児童数	内容
10 月 2 日	矢本東小	3 年	87	福祉の基礎知識と心構え、車椅子・白杖体験
10 月 24 日	矢本東小	3 年	87	聴覚障がい当事者の講話、手話体験
11 月 1 日	矢本東小	3 年	87	視覚障がい当事者の講話、点字体験
2 月 5 日	赤井南小	3 年	55	視覚障がい当事者の講話、点字体験
2 月 5 日	赤井小	4 年	23	福祉の基礎知識と心構え、車椅子・白杖体験
2 月 20 日	鳴瀬桜華小	3 年	46	福祉の基礎知識と心構え、車椅子・白杖体験

#### ■ ボランティアセンター登録状況

- ア 個人ボランティア 34 人(前年度比 7 人増)
- イ ボランティア団体

団体の種類	団体数	所属人数	前年度比較	
高齢者支援団体	9	122	+1 団体	+3 人
高齢者支援(芸能団体)	17	141	-1 団体	-21 人
学習支援団体	7	55	+1 団体	+10 人
子ども・障害者支援団体	5	62		
スポーツ支援団体	1	13		
その他	9	56	-1 団体	-1 人
合計	48	449 人		-9 人

#### 登録団体一覧

	団体名(会員数)	ボランティア活動内容	助成実績
1	やよい会(16)	地区の高齢者と花見、紅葉りんご狩り、調理・サロン	20,000 円
2	赤十字奉仕団東松島市さくら会(41)	施設ボラ・サロン・メンタルヘルスケア・高齢者とお花見、温泉旅行、矢本西小へ花壇の手入れ、機能訓練OB会、黄色いレシート	20,000 円
3	ジョークボランティア(11)	高齢者とお茶のみ会・敬老会・お達者クラブ	20,000 円
4	下区ボランティアコスモス会(12)	高齢者との花見、菊見会、脳活性化教室・敬老会	20,000 円
5	さくらんぼ会(15)	脳活性化教室・野菜まつり、赤井朝市等に参加	
6	ボランティア「優遊」(12)	施設訪問(うた、おはなし、手遊び)	20,000 円
7	笑母クラブ(5)	地域の高齢者支援・サロン調理ボラ	20,000 円
8	みんなんちクラブ(7)	地域(主に牛網地区)でのサロン活動や健康講座・体操の開催	
9	楽楽会(6) 【新規】	地域内でのサロン活動、高齢者宅の訪問、見守り活動	
10	月観会(9)	戸外事業(遠足)・社会行事(クリスマス)・会食・芸能・ゲーム・給食・交流レク	20,000 円
11	フラダンス愛好会 アワプヒ(休止)	フラダンス・施設訪問	
12	矢本民謡桃香会(13)	サロン民謡、三味線、尺八、太鼓、鉦、おはやし・舞台・祭り・施設訪問・敬老会	20,000 円
13	宮城いきいき こでまり会(6)	サロン舞踊・施設訪問・いきいき学園卒業生	20,000 円
14	矢本鼓和の会(8)	サロン和太鼓・施設訪問	
15	ホットシンガーズ(休止)	童謡(デイサービス・保育所など)	
16	萩乃若扇壽会(休止)	サロン舞踊・ボランティアチャリティーショー	

17	スペインの風(2)	アコースティックギター、カホーンの伴奏で歌	20,000円
18	フラサークル リコレファ(9)	フラダンス	
19	すずめの会(8)	歌謡・舞踊・股旅ショー	
20	桂会(7)	高齢者支援・芸能ボランティア	
21	民謡はまなす会(16)	生の地方伴奏に合わせ民謡を披露	20,000円
22	ひなの会(11)	フラダンスによるアトラクション活動	20,000円
23	石巻アマチュアマジック協会(15)	マジック演技の披露(福祉施設、幼稚園、保育所、小学校、地域サロン等)	
24	プチ・シャンテ(6)	シャンソンを披露することを通じた地域交流及び生きがいつくり	20,000円
25	三味線将大会(10)	三味線を伴奏とした民謡の披露 高齢者施設の慰問や、地域イベント等での出演	20,000円
26	アロハフラサークル(13)	市内の老人介護施設に出向きフラダンスによるアトラクション活動	20,000円
27	G・うさぎ(12)	声の広報「市報ひがしまつしま」CD作成・配布・読み聞かせ・朗読会・出前朗読・朗読グループ交流会	20,000円
28	点訳サークル(6)	点訳・市報の点訳・学校総合学習協力	20,000円
29	ドリーム(2)	絵本の読み聞かせ・大塩図書館(クンペル)	
30	手話サークル(4)	手話学習・小学校総合学習協力・地域支援・聴覚障害者の行事支援	10,000円
31	東松島民話の会「おさるのかごや」(6)	昔ばなしなどの民話のかたり	20,000円
32	友遊倶楽部(15)	健康維持・増進を目的とした講習会や地域でのコミュニケーションの場づくり	20,000円
33	子ども支援さくら(12) 【新規】	鳴瀬桜華小学校1～3年生を対象に放課後子ども教室を開催するもの	20,000円
34	ミッフィークラブ(21)	保育ボランティア(乳幼児健診・子育て支援センター・蔵しっくパーク)	20,000円
35	保育ボランティア サンサンサン(4)	保育ボランティア、人形劇、おはなし会	20,000円
36	東松島市福寿草福祉会(5)	精神の病気や障がいを持つ方とその家族の福祉の向上を図る	20,000円
37	東松島高校 ボランティア部(休止)	高校生による市内でのボランティア活動	
38	東松島青年有志会インパルス(休止)	若者の地域活動参加のきっかけづくり、地域イベントのお手伝い	

39	東松島市レクリエーション協会 (13)	レクリエーション支援活動	
40	てあわせ表現・東松島(17)	障害者支援てあわせ表現ワークショップ等を通じた、障害の有無に関わらない交流・自己表現の機会の創出居場所づくり	
41	こっこクラブ(15)	子育て支援、子育て親同士の親睦、地域貢献ボランティア	20,000 円
42	NPO法人 いろどり・みんなのみち(10)	高齢者施設での着物着付け、着物を用いた子どもたちへの和装教育、外国人への着物を用いた観光ツアー・体験等	
43	アクション・スクエア(7)	お茶会の開催等を通じた地域支援(小野地区中心)	
44	東松島国際チーム(休止)	市内及び近郊在住の外国人支援日本語教室や交流会の開催など	
45	大鷹会(15)	食堂運営による世代間交流、地域コミュニティ連携促進、孤食の解決、食育などを図る	20,000 円
46	ライクミー(4)	1人で複数のケアを担っているダブルケアラーが社会から孤立しない為の場を提供	20,000 円
47	鹿妻さくら猫の会(7)	野良猫対策に取り組み地域住民の環境整備、精神衛生の向上に貢献する	20,000 円
48	株式会社 ダイナム矢本店	災害ボランティア	

#### ■ ボランティア登録団体長会議の開催

時期	場所	内容	参加数
今年 6 年 3 月 21 日	老人福祉センター	・ 保険と助成金に関する事務連絡 ・ 団体同士の情報交換会	22 団体

#### ■ ボランティア保険取扱状況

保険の種類	申込数	人数	事故数
ボランティア保険	76	649	5
ボランティア行事保険	52	3112	0
いきいきふれあいサロン保険	0	0	0

#### ■ ボランティア派遣の状況

種類	回数	概要
子育て関係	1	野蒜市民センターで開催された若手女性人材育成イベントの保育ボランティア
芸能・高齢者支援	4	施設訪問での夏祭り、敬老会などで演舞

#### ④生活支援ボランティア活動の事業推進(ひがまつあんしんサポート事業)

- ・高齢者等の日常生活上のちょっとした困りごとに対応するため、支援を必要とする市民(利用会員)とその支援を行う市民(協力会員)による住民参加型在宅福祉サービスを実施した。

##### ■会員登録者数(3月末日現在)

会員種別	登録人数	性別		在住地区別人数							
		男	女	矢本東	矢本西	大塩	赤井	大曲	小野	野蒜	宮戸
利用会員	200人 (前年度比+27)	62	138	69	27	13	38	17	24	11	1
協力会員	47人 (前年度比+1)	24	23	9	4	2	15	7	6	2	1

##### ■活動実績の内容

サービス内容	活動数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
②衣類等の洗濯					1								1
③住居等の掃除 ・整理整頓	9	7	12	16	14	5	10	13	19	10	7	6	128
⑤庭の草取り	16	14	23	12		11	16	3	1				96
⑦買い物代行	4	4	8	5	5	4	5	7	5	6	5	4	62
⑧通院や外出時の付添						1							1
⑩ゴミの分別 ・ゴミ出し	41	47	48	43	38	41	46	39	44	40	37	44	508
⑫コメの精米	2		1		2		1	2	1		1	1	11
合計	72	72	92	76	60	62	78	64	70	56	50	55	807

※利用(活動)時間 750時間36分 / 利用(活動)金額 465,000円

※利用がなかったサービス内容:

- ①食事の支度 ④電球・電池交換 ⑥布団干し ⑨話し相手 ⑩灯油入れ  
⑬電化製品の簡単な操作

##### ■依頼の多かった主なサービス内容

サービス内容	数	主なサービス内容
③住居の掃除	128	お盆や年末の掃除依頼が多く、自分ではできない高所の窓掃除や換気扇、エアコンの掃除などの依頼があった。
⑤庭の草取り	96	春から秋にかけて依頼が多く、熱中症対策をしながら二人体制で活動した。 ※猛暑での作業を避けるため、7月中旬から8月の活動は中止とした。

⑦買い物代行	62	食料品や日用品の買い物。
⑩ゴミ出し	508	年間を通じての定期的な依頼で、月に 2～3 回の可燃ごみ出しが多く、資源ごみやプラごみも月 1～2 回程度の依頼が増えた。
⑫コメの精米	11	自身では運搬ができない方からの月に 1 回程度の依頼があった。

#### ■協力会員情報交換会の開催

時期	場所	内容	参加人数
6月13日	老人福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員登録状況や、これまでの利用・活動実績の説明</li> <li>・活動にあたっての注意点の確認</li> <li>・情報交換(活動時の状況等について)</li> </ul>	11

#### ■その他

夏場の「庭の草取り」について、協力会員の心身の安全（熱中症予防）を図るため、7月中旬より8月末まで作業を中止することをふれあいネットに掲載した。

#### ⑤高校生ボランティア創出事業

##### ■社会福祉基礎講座の実施

開催日：令和6年1月29日・30日

場 所：老人福祉センター 集会室

参加者：東松島高校生徒 19人

内 容：高齢者や障がい者、生活困窮者等の理解（事例を通じた支援活動の紹介）

#### ⑥災害ボランティア登録制の実施

・2月10日に開催した災害ボランティア入門講座の際に参加者（19名）に登録を呼びかけ、4名がボランティア登録をした。

#### (7)老人福祉センター運営事業

##### ①東松島市老人福祉センターの指定管理

・コロナ禍において、周辺の状況に応じ利用の制限を行い、安心安全に使用できる環境を整備し、貸出を行った。

##### ■部屋別利用状況

区分	利用者 延べ人数	主な利用団体等
集会室	2,054	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉団体役員会、会議等</li> <li>・ボランティア団体会議等</li> <li>・老人一般事業各種教室開催</li> <li>・各種研修会等</li> <li>・機能回復訓練(第2・4火曜日)</li> <li>・健康体操</li> </ul>
生活相談室	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康相談</li> <li>・生活安定資金、生活福祉資金貸付相談等</li> <li>・ハローワーク巡回相談</li> </ul>

和室	678	・囲碁将棋のつどい(毎木曜日) ・ボランティア団体会議 ・健康相談 ・介護家族の交流会ほか
	1,318	・くらし安心相談来所者
	201	・包括相談来所者
利用者計	4,351	

### ■機能回復訓練事業

・登録参加者数7人・登録介助ボランティア4人・毎月第2・4火曜日開催

時期	内容(第2週)	人数	内容(第4週)	人数
4月	花見(滝山公園・鷹来の森運動公園)	5	ストレッチ・脳トレクイズ 折り紙	6
5月	脳トレクイズ・下肢ストレッチ・寄せ植え	6	脳トレクイズ・手指体操・歌唱・折り紙	6
6月	脳トレクイズ・新聞棒体操・スクラッチアート	5	折り紙(七夕飾り)	4
7月	脳トレ・口腔体操・歌・折り紙	5	手指、下肢体操・ペットボトルで風鈴作り	5
8月	クラフトテープでかご制作	5	折り紙「くじら」制作	5
9月	折り紙で作る「コスモスリース」	5	社会見学(サンドアート、野蒜・宮戸方面)	5
10月	紙コップで作るハロウィン飾り	5	折り紙で作る傘	6
11月	肩甲骨、下肢運動・折り紙で柿作り	6	紙コップ・毛糸で作る小物入れ	6
12月	デコレーションボールで作るクリスマスツリー作り	4	休み	
1月	上肢、下肢体操・龍の折り紙作り	7	上肢、下肢体操・広告パズル・鬼の塗り絵	5
2月	手指ストレッチ・ガーランド作り	6	折り紙で作るお雛様	7
3月	手指ストレッチ・折り紙で作る梅の花	6	休み	
参加人数のべ				120

### ■高齢者のための健康相談及び健康体操の開催

【開催の状況】健康相談：毎週月曜日、健康体操：月1回開催

時期	回数	人数
4月	4	10
5月	5	15
6月	4	17
7月	4	18
8月	3	14
9月	3	16

時期	回数	人数
10月	4	20
11月	4	17
12月	4	16
令和6年1月	3	15
2月	3	15
3月	5	26

合計46回のべ199人

## ②老人福祉センター交流事業(ゆらり)

- ・昨年度同様、対象者を限定し感染対策を講じて住民の交流事業を実施した。  
日時 令和6年3月8日 午前10時～正午  
参加者 31人  
(老人クラブ会員(道地地区・二反走地区)、災害公営住宅住民(あおい地区等))  
内容 映画鑑賞・レクリエーション
- ・ボランティアとして、就労支援を受けている方から協力をもらった。

## ③老人福祉センター教室の開催(各種交流事業)

### ■老人一般活動事業

高齢者の教養を向上させるため、各種教室を開催

体に優しい ストレッチヨガ 教室	講師	ヨガインストラクター 熱海和美 氏
	日時	令和6年3月5日、19日 13時30分～
	参加人数	9人
フラワーワーク 講座 蓮の花作り	講師	つまみ細工 近藤好恵 氏
	日時	令和6年3月22日 13時30分～
	参加人数	10人

## ④囲碁将棋・麻雀のつどい

- ・囲碁将棋のつどい  
毎週木曜日開催
- ・麻雀のつどい  
次年度開催に向け、先行して実施している赤井市民センターの取組を見学した。

## 2. 総合相談事業拠点区分

### (1) 生活困窮者自立促進支援事業（東松島市からの受託）

#### ① 自立相談支援事業

##### ■ 総括

自立相談支援事業として、令和5年4月～令和6年3月末までの新規相談受付件数は186件であり前年度196件より10件減である。またプランに基づき支援を実施してきたケースは91件である。令和5年度関与した支援対象者は416件（令和3年度380件、令和4年度368件）となっておりプランに基づかない継続支援ケースが増えている。日々の相談対応（面談、電話、訪問）および関係機関との連絡調整（電話、会議、同行支援）など5647件になる。背景には社会的孤立から対話や人との関わりを求めているケース、家族や地域との関係、引きこもり等からの社会経験の不足があるなど複合的な課題を抱え制度の狭間にいるケース、プランの中断や終結後であっても伴走支援をしているケースが増えていることがあげられる。

多機関の協働による包括的支援体制構築事業とも連携し、次年度へ向けては適切な支援機関や地域へつなぐなど支援の振り分けも意識し支援していきたい。

住居に関する相談としては、住まいに関する相談が相談者本人のみならず、支援機関からくらし安心につないでよいのかという相談も増えた。不動産会社や家電・家具の関係で市内外の法人と連携し相談者につないだり、時には同行支援を行うなど自立に繋がる支援が図られた。また、離職等の理由で収入の減少があり就労意欲がある相談者に対して、5件（令和4年度1件）住居確保給付金の利用支援を実施した。利用途中で生活保護受給となったケースも含めると実際に給付に至ったケースは2件である。

社会的孤立に対する支援として保健師等との連携による自殺のおそれがある相談者に対する精神的なケア、地域包括支援センターや地域の介護事業者等と連携した高齢者及び養護者世帯の見守りや高齢者虐待の養護者支援の役割としての関わり、フードバンクの活用による食糧支援、イベントやボランティア活動への参加の促し、課題解決が困難な相談者に寄り添い、自立に向けて共に考えてゆく伴走支援の実施を行った。

■相談支援概況（件数）

		R3 年度	R4 年度	R5 年度
新規相談受付件数（本人未特定を含む）		203	196	186
新規相談受付数(本人同意なしを含む)		194	189	181
新規相談申込数(本人同意ありのみ)		175	152	144
支援決定・確認数(再プランを含む)		38	91	91
プラン期間中の一般就労を目標にしている		14	50	35
法に基づく 事業等利用	住居確保給付金	0	1	5
	一時生活支援事業	0	0	0
	家計改善支援事業	3	25	34
	就労準備事業	1	8	4
	認定就労訓練事業	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	8	42	36
その他	生活福祉資金・生活安定資金による貸付	23	40	22
	生活保護受給者等就労自立促進事業	1	36	26
評価実施数(再プランを含む)		42	48	93
評価 結果	終結	31	23	59
	再プランして継続	3	20	26
	中断	8	5	8
見られた 変化	変化あり	35	42	87
	変化なし	7	6	6
①評価実施件数中就労支援対象プラン作成者分		20	24	49
うち	一般就労開始	8	6	18
	就労収入が増加	6	6	10
②評価実施件数中、就労支援非対象プラン作成者分		22	24	44
うち	一般就労開始	2	1	1
	就労収入が増加	5	0	3
③プラン作成者以外				
うち	一般就労開始	3	2	2
	就労収入が増加	0	0	1

【新規相談受付に関する概況】

■相談経路 ※複数選択

①来談者

相談経路	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
本人	165	85%	153	81%	138	76%
家族・知人	19	10%	27	14%	16	9%
関係者	33	17%	29	15%	39	22%
合計（実人数）	194	100%	189	100%	181	100%

②面談の場所・方法

相談経路	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
直接来所	146	75%	123	65%	101	56%
電話・メール	25	13%	47	25%	57	31%
自宅	16	8%	17	9%	17	9%
関係先	11	6%	6	3%	9	5%
合計（実人数）	194	100%	189	100%	181	100%

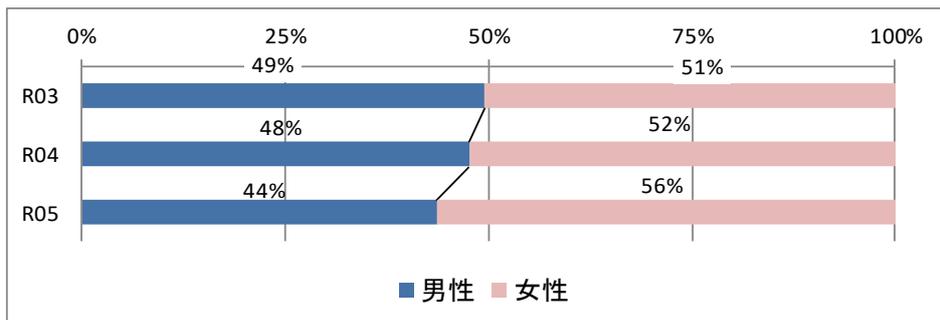
③相談のきっかけ

相談経路	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率
自立相談支援機関がアウトリーチ	0	0%	10	5%	8	4%
紹介	98	51%	74	39%	75	41%
国、自治体、自立相談支援機関等の周知	69	36%	66	35%	61	34%
その他	28	14%	42	22%	38	21%
合計（実人数）	194	100%	189	100%	181	100%

- ・支援機関からの紹介を受けて支援に至っているケースについては、訪問や電話などでアウトリーチをし新規相談受付となっているケースも多い。今後システムの入力方法についても所内で統一していきたい。
- ・相談した行政の各窓口でチラシなど渡されて自ら来所されたケースもある。
- ・その他としては以前相談歴があるケース。新たな主訴に基づく相談であったりご本人の状況に変化があった場合などが当てはまる。

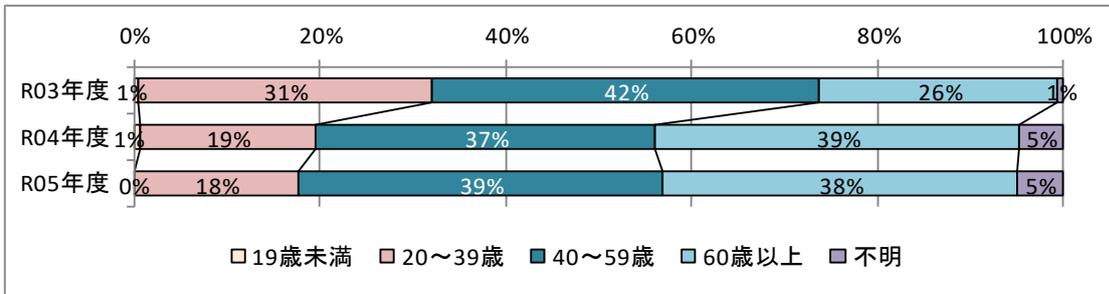
■性別

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
男性	96	49%	90	48%	79	44%
女性	98	51%	99	52%	102	56%
合計	194	100%	189	100%	181	100%

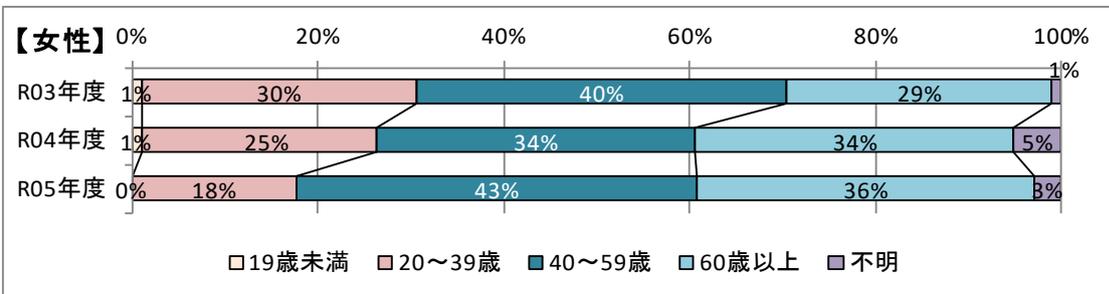
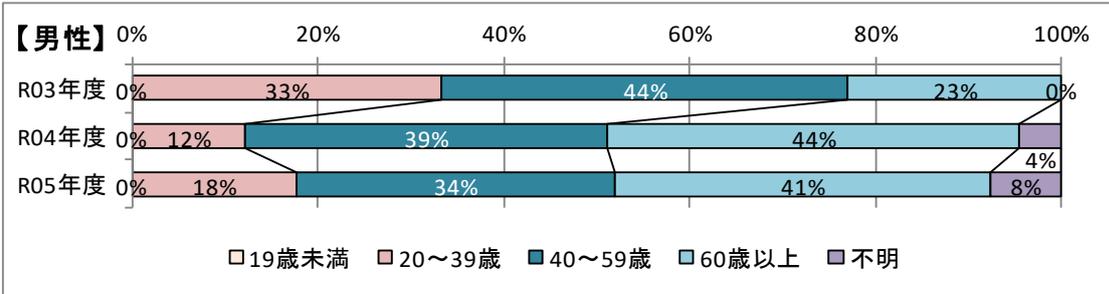


■ 年齢

年齢	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
19歳未満	1	1%	1	1%	0	0%
20～39歳	61	31%	36	19%	32	18%
40～59歳	81	42%	69	37%	71	39%
60歳以上	50	26%	74	39%	69	38%
不明	1	1%	9	5%	9	5%
合計	194	100%	189	100%	181	100%

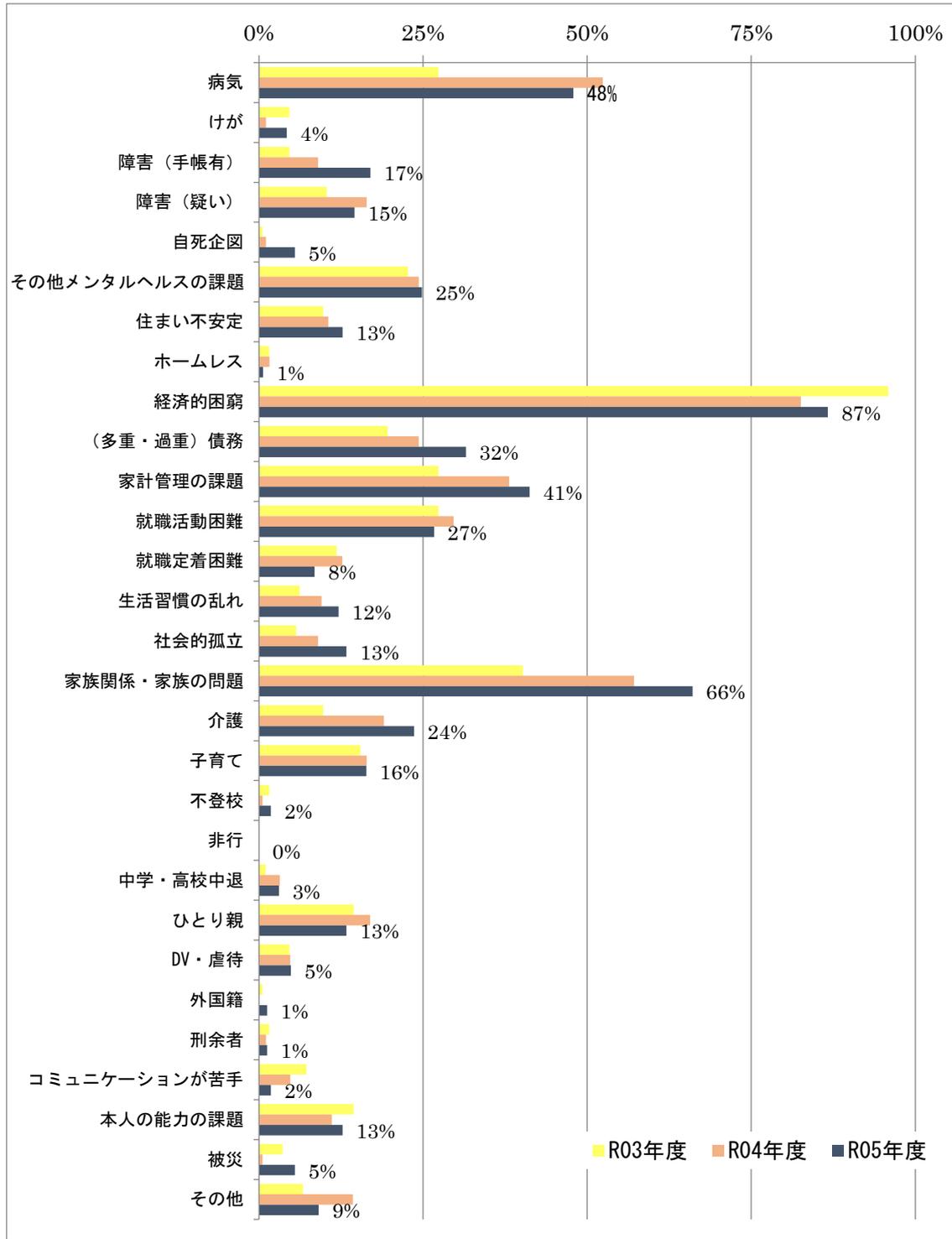


● 男女別内訳



- ・ 離職や離婚による生活費の不足に伴う相談やフードパントリー（生活応援企画）の浸透などから母子家庭の対応が増加している。また認知機能低下に伴う金銭管理の課題や食糧支援に関する高齢女性の相談も昨年度より増えている。
- ・ コロナ貸付に伴う償還がスタートした年でもあるため、償還免除や猶予の相談も発生し生計中心者である男性の相談が多かった。失業・減収での就労相談の割合も増えている。

■ 課題別 ※複数選択



- ・経済的困窮や債務、家計管理の課題があるケースの背景には、家族関係・家族の問題、介護など世帯を含む複合的な課題があることが改めて見えてきた。
- ・また支援の手立てがあっても本人の能力に課題があるため、就活困難、就職定着困難、社会的に孤立しているなど、経済的自立へ向けては伴走支援を要する長期的かかわりが必要なケースが増えている。

■プランの実施に係る関係機関・関係者

① 就労

関係機関・関係者	R03	R04	R05
ハローワーク	13	44	36
職業訓練所	0	0	1
就労準備支援機関	0	2	1
地域若者サポートステーション	2	3	6
就労支援法人・団体(就労訓練事業を含む)	0	0	2
一般企業	1	6	23
各種協同組合(生協等)	0	0	0
農業者・農業団体	0	0	1
合計	16	55	70

② 医療

関係機関・関係者	R03	R04	R05
医療機関	5	29	33
医療機関の内、無料低額診療実施機関	0	0	0
行政の保健担当部署	5	25	25
合計	10	54	58

③ 障害

関係機関・関係者	R03	R04	R05
行政の障害担当部署	0	1	3
基幹相談支援センター	2	7	16
精神保健福祉センター	0	0	0
障害者就業・生活支援センター	0	0	4
障害者就労支援事業所	0	0	1
その他障害者支援機関・施設	0	2	5
合計	2	10	29

④ 高齢

関係機関・関係者	R03	R04	R05
行政の高齢者担当部署	0	0	0
地域包括支援センター	6	23	27
居宅介護支援事業所・その他介護事業所	1	6	6
合計	7	29	33

⑤ 子ども

関係機関・関係者	R03	R04	R05
行政の子ども家庭担当部署	5	3	4
教育委員会	2	1	1
保育所・幼稚園・子ども園	0	0	1
小・中・高(特別支援含む)学校	4	5	4

大学等(高等専門学校、専修学校、各種学校含む)	0	0	0
その他教育機関	0	0	0
家庭児童相談室(福祉事務所)	0	1	1
児童相談所・児童家庭支援センター	1	0	1
児童福祉施設	0	0	0
地域子育て支援センター	0	0	0
その他子育て支援機関	0	1	1
合計	12	11	13

⑥ 人権・女性

関係機関・関係者	R03	R04	R05
行政の人権担当部署	0	0	0
男女共同参画センター	0	0	0
婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター	0	0	0
合計	0	0	0

⑦ 保護

関係機関・関係者	R03	R04	R05
福祉事務所(生活保護担当部署)	5	12	14
ホームレス支援機関	0	0	0
一時保護施設	0	0	0
警察	0	2	2
更生保護施設・自立準備ホーム	0	0	0
地域生活定着支援センター	0	0	0
合計	5	14	16

⑧ 生活・金銭・権利擁護

関係機関・関係者	R03	R04	R05
行政の税担当部署	3	8	18
行政の保険・年金担当部署(年金事務所含む)	1	0	2
社会保険労務士	0	0	1
自立・家計改善支援機関	1	4	6
食糧支援関係団体(フードバンク等)	1	30	24
小口貸付(生活福祉資金除く)	11	20	9
社会福祉協議会(生活福祉資金)	6	12	4
社会福祉協議会(日常生活自立支援事業)	1	4	1
成年後見人制度の支援機関	0	0	0
法テラス・弁護士・司法書士	2	12	21
消費生活センター・消費生活相談窓口・多重債務者等相談窓口	0	0	0
合計	26	90	86

⑨ 住居

関係機関・関係者	R03	R04	R05
行政の住宅施策担当部局(居住支援協議会)	2	3	8
居住支援法人	0	0	2
不動産・保証関係会社	4	7	12
合計	6	10	22

⑩ その他

関係機関・関係者	R03	R04	R05
他地域の生活困窮者自立相談支援機関	0	0	1
民生委員・児童委員	7	20	20
外国人支援団体・相談窓口	0	0	0
ひきこもり支援機関	1	0	3
NPO・ボランティア団体	1	3	3
商店街・商工会等経済団体	0	0	0
町内会・自治会、福祉委員、近隣住民	1	0	4
ライフライン民間事業者(電気・ガス・水道)	0	2	1
保健所(動物・ペットの多頭飼育等)	0	0	0
社会福祉協議会(資金、日常生活自立支援以外)	3	5	10
その他行政の担当部署	1	0	3
家族・親族・その他キーパーソン	8	8	11
その他	3	6	14
合計	25	44	70

総計 (①～⑩)	109	317	397
----------	-----	-----	-----

- ・プラン対象になっているケースに関してプラン実施に係る関係機関や関係者が上記に記載されている。
- ・経済的自立へ向けてプラン作成をしていることが多いため就労にまつわる支援機関は70件と多い。
- ・障がい者年金の受給や障がい者手帳取得へのアプローチも欠かせないため、医療機関や障害支援事業所への関与も増えている実態がある。
- ・母子家庭に限らず、世帯の中に子供がおり世帯課題があれば関係機関として子供にまつわる支援機関との連携をはかっていくこととなる。件数としては昨年度より少し増加している。
- ・多額の未納税や税金分納相談の支援では税務課、債務整理や破産、相続にまつわる相談として弁護士との連携を要するケースが多かった。
- ・プラン実施にあたっては民生委員による見守り支援を依頼するケースもある。
- ・車がないことで就職活動や就労に支障がでているケースは、その他の機関としてカーシェアリング協会と連携し1年後に自分の車を持てるように計画をたて支援した。

## ②家計改善支援事業

家計の管理に課題がある相談者に対して家計の状況を「見える化」し家計管理の意欲を引き出す取り組みを行った。具体的には収支が把握できていない方、生活費が不足し生活安定資金を借りる必要があるものの保証人がたてられない方、債務が多く弁護士へつなぐ必要があり破産などの手続きにも支援が必要となるケースが目立った。本人の同意がありプランに基づく支援をしてきたケースは年間 34 件であるが、家計のプランにならず自立相談支援のプランにて債務、滞納や分納の支援、関係機関へのつなぎを行っているケースも複数あるため、次年度は家計にまつわる課題が明確なケースについてはプラン同意へ向けてアプローチをすることに努めたい。

## ③就労準備支援事業

就労準備支援事業利用者は 4 名。内、就労が決定した者は 1 名であった。新しい事業である「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」と連携し取り組み、地域の中の居場所（池内ベース等）で色々な経験や様々な人と関わることを重ねる中で、日常生活に関する支援や社会自立に関する支援を行った。面談やセミナーという場面ではなく、日常生活に近い場面で自ら気づいたり、コミュニケーションに慣れたり、他者の話を聞いて自分振り返る機会を設けることができたことは、利用者にとってプラスとなる部分が大きく、支援者も日常に近い場面で利用者の強みを発見したりアセスメントを深める機会となった。

20 代 3 人から、定期的に集まり活動する場があると良いとの申し出があり、「ふらっと」の活動名で月 2 回老人福祉センターで活動を開始。計 15 回活動を行った。

### 【具体的活動内容】

書類の軽作業や掲示物の作成、パソコンを使用してカレンダー制作等の活動  
カレンダー等の制作



自立相談支援事業による就労支援および生活保護受給者等就労自立促進事業としては、ハローワーク石巻との連携強化を図り、巡回相談(ハローワークの専門ナビゲーターが来所し就労相談実施するもの)を月に 4~5 回実施し、今期においては 20 名(実人数)の新規相談者を含む支援対象者が、のべ 152 回の面談を行った。自ら石巻のハローワークへ出向くことができるなどの理由で巡回相談の利用を希望しないプランケースは 10 件あった。

(就労支援 36 件、生活保護受給者等就労自立促進事業 26 件)。令和 5 年度中にプラン評価した 93 件のうち就労に課題があったケースは 49 件、うち 18 件(対評価実施数 36.7%)が一般就労開始となった。

就労自立に関する支援では、ハローワーク（専門援助部門）と連携し、市内の事業所と職場見学会を計 4 回実施した他、センター独自で職場体験会を 2 回、面接講座を 1 回開催した。見学会では事業所を訪問し、実際に働いている方の話を見聞きすることで、仕事の内容に理解を深めるだけでなく、仕事のやりがいや魅力を知る機会となり、就労を前向きに捉えるきっかけとなった者が多かった。事業所は即戦力を求める事業所が多いが、当事業について理解を示してくれる事業所もあり、体験の受け入れや、仕事の切り分けを検討して頂いた事業所もあった。今後も事業所の開拓・連携の充実を図っていきたい。又、個別支援の中ではハローワークと連携しながら履歴書の書き方や身だしなみ、面接のポイント等の支援も随時行った。

フードドライブ



フードパントリー準備



イベントのボランティア



面接講座



【職場見学会・体験会】

日時	内 容	参加人数
5 月 18 日	イグナルファーム（イチゴ栽培）体験会	3 名
8 月 10 日	オイタミート（食肉加工）見学会	4 名
10 月 20 日	フレスコキクチ（スーパー）見学会	2 名
11 月 8 日	イグナルファーム（イチゴ栽培）体験会	3 名
1 月 22 日	東松島ファーム（レタス栽培）体験会	3 名
3 月 6 日	特別養護老人ホームやもと赤井の里見学会	1 名
	合 計	16 名

イグナルファーム



オイタミート



フレスコキクチ



東松島ファーム



赤井の里



#### ④生活困窮者支援等のための地域づくり事業

令和5年度より新規事業として取り組んだ本事業は、東松島市くらし安心サポートセンター(以下、くらし安心サポートセンター)の自立相談支援事業等と連動して取り組んできたが、多重・複合化した課題を抱えた相談者が多く、各種相談窓口の専門機関や多機関相談支援事業等と連携し本人の課題解決や自立の支援に努めてきた。顕在化する課題については、それぞれの機関で適切な支援につながるケースが多い中、世帯全体に課題がある、長期未就労者、ひきこもり状態にある方、地縁・社会的つながりのない方、など、本人の生きづらさや孤独・孤立など、制度やサービスに直接つながりにくい課題については解決の糸口を探すことそのものが困難で、性別・年齢・障害の有無などの属性を問わない伴走的な支援が必要となっている。そこで東松島市第3期地域福祉推進計画により、東松島市社会福祉協議会では令和5年度事業計画として下記により事業推進に取り組んできた。

##### (1) 事業の目的

孤独・孤立の問題を抱える生活困窮者等や家族のニーズを把握し、気軽に相談し合える、多様な居場所づくりを推進する。また、地域の多様な活動を把握し、福祉関係機関をはじめ、多様な主体、多分野が参画する連携・協働の場づくりを推進し、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしい地域コミュニティが醸成されることで地域共生社会を目指す。

##### (2) 事業の概要

- ・課題を抱える者を早期発見するための地域住民のニーズ・生活課題の把握
- ・地域資源を活用した地域住民の活動支援・情報発信
- ・課題を複雑化させないための「居場所づくり」
- ・行政や地域住民、多分野協働により、地域づくりの担い手が繋がるプラットフォームの構築
- ・生活困窮者等への支援の展開（フードドライブ等）

##### (3) 成果

###### ①地域住民のニーズや生活課題の把握等

これまでくらし安心サポートセンターや包括支援センター等に寄せられた相談から、ニーズ・課題が顕在化してきたものもあるが、令和5年度は生活支援体制整備事業による第2層協議体及び地域支え合い会議(第3層)に出席するなどして、住民の声を直接聴く場面として捉えて出席し、相談窓口へつながっていない(つながる以前の)ニーズ、狭間の課題を把握することに勤めた。特に地域支え合い会議は高齢者を中心とする生活課題(介護、医療、買い物困難、移動困難、等)が主な話題となり、公助に期待する声が多かった。一方、稼働世代である同居家族のひきこもりや無業により世帯収入が少ないため生活が成り立たず、高齢者の医療受診控えやそのことにより重症化しつつある例や、家族や親族との関係希薄、地域とのつながりがなくにより、課題が複合化していることも少なくないことが話し合いの中からうかがえた。

地域支え合い会議は生活支援体制整備事業で3名のCSWが中心となり協議体を運営しているが、その場では生活困窮や孤独・孤立の課題は気かけつつも話題に上りづらい様子であった。機会を捉えくらし安心サポートセンターの相談支援の経過事例について情報提供することで地域の理解や見守りから課題が軽減され、解決の糸口が見つかった例を話したり、会議の性質や個人情報の取り扱い等を丁寧に伝えることで個人名をあげて現状を

共有する場面も見られはじめ、会議終了後に個別の相談と地域支援につながることもあった。

若年層や稼働世代のニーズは、令和3年度に健康推進課が実施したひきこもりアンケートの結果などから潜在化していることが推察されるが、実際に相談に繋がることが多くはない。ひきこもり状態にある方のうち約74.1%が家族と同居でありながら解決できないと思う(22.6%)、相談を希望しない(42.4%)という結果からも、長期にひきこもり未就労のため困窮に至ることがわかる。一方、民生委員対象としたゲートキーパーの研修会や専門職を含む地域の支援者に対し行ったひきこもりサポーター養成講座はまずは住民が課題ととらえることのきっかけとなり、今後の課題把握に繋がっていくものと感じた。

本事業担当職員は1名であり協議の場を持たないが、多機関、他職種と共に連携協働することのできることもある。次年度もより意識し課題を抱える方の早期発見や解決に向けた地域の取組を促進させたい。

【月別地域づくり担当 CSW 稼働実績】

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域支援	4	6	25	5	4	5	2	4	7	5	3	3	73
個別支援	2	1	3	5	17	12	7	3	9	12	8	9	88
研修	1	4	2	3	2	2	1	6				1	22
その他	12	6	3	6	4	3	7	3	4	1	5	3	57
合計	19	17	33	19	27	22	17	16	20	18	16	16	240

【支援区分・対応方法 クロス集計】

単位:件

	電話相談 連絡	訪問同行 支援	会議参加	面談	所内会議	他機関と の電話	他機関と の協議	その他	合計
地域支援	1	2	42	1	1		8	18	73
個別支援	9	41	5	9	4	5	3	12	88
研修			1					21	22
その他		2	3		15	1	7	29	57
合計	10	45	51	10	20	6	18	80	240

②地域資源を活用した地域住民の活動支援や情報発信

本事業初年度としては主に社協地域福祉課ボランティア担当や CSW らと共に活動する中で住民の活動状況の把握・関係構築を心掛けた。また、くらし安心サポートセンターへの個別の相談や制度サービスの狭間の課題については新たな社会資源の発掘や開発の実践、チラシや市報・社協だより等を活用し周知に努めた。

ア. 生活困窮者等への食の支援「フードドライブ・フードパントリー事業」

食の支援については、老人福祉センター及び被災者サポートセンターの2か所に収集ボックスを常設設置している。また、広報誌・チラシやホームページ等を活用し広く市民に啓発するとともに、SDG's 担当課と共にフードドライブとして市役所内に収集ボックスを設置し年3回実施した。市民はもとより企業・団体からの協力もあり年々協力者の広がりがあ

る。フードパントリー事業は、自立相談の中で必要とする方、また、広報による事業の周知から希望があった希望者に対し食品等を提供し生活の一助として提供。新規相談へつなぎ、

課題の早期発見・予防につながるようになってきた。

(一社)フードバンクいしのまき、JA いしのまき鳴瀬女性部、ふうどばんく東北 AGAIN 等との連携協働、パッケージ作業は就労準備支援事業や居場所参加者などの協力もある。住民のニーズや生活課題に対し、市民の他各種社会資源との連携により支え合いの意識醸成に努めた。

【フードパントリー実施状況】

開催日	7月14日(金)	9月15日(金)	12月15日(金)	計
提供件数	50件	25件	30件	105件

イ. 地域における「地域食堂」について

これまで市内5つの地域食堂が地域内で協力者を募り主体的に実施してきた。組織化した経緯やねらいは各団体に違いはあるが、孤食、貧困、子育て、高齢者の孤独・孤立等は共通して課題ととらえている。コロナ禍を経て今後の活動継続に関しては必要性を感じている。また、令和5年度には新たな団体も1つ増え現在は6団体となっている。開催は年数回から月1回程度の開催となっており、利用料は1食100円～300円。参加費収入や助成金等を活用している。また、必要に応じ社協フードバンクから白米や調味料、寄せられた野菜の提供をするなどし、連携するとともに、地域食堂ネットワーク会議を開催し、団体間の情報共有や課題の把握等に努めた。

【地域食堂実施状況】

事業名	代表者名	開催頻度	参加費
ありあけだんらんかぞく	昆野美津子	月1回(第3木)	300円
野蒜みんなの食堂	奥田登美子	月1回(第3火)	100円～300円 年齢による
大鷹会	黒須壽幸	年3回	200円 子供無料
ハッピースマイル	及川里美	月1回(第3木)	300円 高齢者無料
ひだまり食堂	奥田知子	月1回(第4日)	300円 中学生以下無料
牛網みんなの食堂	吉田 豊	年2回	300円

③世代や属性を超えた「居場所づくり」について

居場所づくりについて初年度は試行的に実施した。居場所活動の拠点は活動の基盤となるもので本来であれば住民主体の取組として推進していくことを想定していたが、実際にはくらし安心サポートセンターへの食品提供希望者として新たなつながりを得た市民のとの意見交換から生まれ「池の内ベース」として事業化したものである。

ア. 池の内ベース開催の経緯

地域住民よりタマネギ 1000 個寄付の申し出があったため、CSW と訪問し挨拶。後日就労準備支援事業利用者らに声がけし収穫作業を行った。タマネギは市内地域食堂や自立支援相談者に提供した。

作業後、その方にくらし安心サポートセンターの事業説明、事業へのご理解と今後の協力について依頼したところ、敷地内プレハブ事務所の定期利用を提案された。

池の内ベースの活動拠点としては年21回、延べ人数106人が利用した。

## イ. 池の内ベース参加者の概要

ここでいう居場所は世代や属性を超えて住民が様々な人との交流や安心して過ごすことのできる場として捉えてはいるものの、実際には場のキャパシティや対応スタッフの調整等の問題から、実際の参加者は就労準備支援事業の相談者、ひきこもり状態にある方、また、制度やサービスに繋がらない(つながりにくい)方等である。CSW や包括支援センターや相談支援事業所などへの情報提供によりつながってきた方もいる。コミュニケーションが苦手な方や今後各種サービスへつながることを目指しているが、その一手手前の日常生活自立を目指した場にとりもとらえており、生活リズムを整えたり挨拶などの基本的な生活習慣を見直す場にもなっている。活動内容は随時参加者で決め、無理のない活動内容や緩やかなつながりの場となるよう心掛けて運営してきた。

自立相談支援事業では、経済的困窮といった相談内容が大半を占めているが、支援経過の中では多くの相談者が家族や親族、地域など社会的なつながりがなく、孤独を感じている方も多く見受けられる。令和5年度試行的に行ってきた池の内ベースの活動を通し、自治会などの地縁をベースとしたつながりだけでなく、多様なコミュニティを必要としていることがニーズとして顕在化した。

## ウ. その他 子育て世代の親子を対象とした集いの場を開催した。

### ①ひがまつおやこの居場所事業について

子育てサークルこっこクラブと協働で6月24日(土)に老人福祉センターを会場に親子を対象とした事業を開催した。協力者を含め参加者70名。

### ②ぽかぽかふえの開催について

子育てサークルこっこクラブ、ミッフィークラブとの協働で12月15日(金)矢本西コミュニティセンターを会場に親子を対象とした事業を開催した。

参加者協力者を含め15名。

## まとめ

初年度の事業推進を通し、自立相談のみならず地域づくりの視点により生活困窮者の早期把握や見守り、相互に支え合える関係づくりが必要であると改めて感じた。市民、関係機関、社会全体への啓発により地域ネットワークを構築し、包括的な支援策を検討していくとともに、働く場や参加する場を広げていくなど、既存の社会資源を活用し、必要な場合には地域住民と共に開発・創造していくことにも努めていかなければならない。また、生活困窮者や望まない孤独・孤立を感じている人が社会とのつながりを何らかの形で実感しなければ主体的な参加に向かうことは難しいこともわかった。池の内ベースでの活動は、自身の存在を受容され、肯定される場であり、一方では誰かの役に立つという体験もできた。「支える、支えられる」という一方的な関係ではなく、「相互に支え合う」小さなコミュニティを構築する場面にもなった。

次年度はより一層 CSW らと共に地域の中の潜在的ニーズを持つ人への早期発見や対応に努めて個別の相談支援につながるようにするとともに、そこから見える課題については地域住民らとの話し合いの場を活用し、課題の共有化普遍化を図り、共感者を見つけ支え合いの地域づくりを一体的にとりもとらえて地域共生社会の実現に向けて活動に当たりたい。

令和5年度生活困窮者等のための地域づくり事業  
—社会資源を活用した世代や属性を超えた「居場所づくり」

●池の内ベースでの活動



(6月12日玉ねぎの収穫)



ボランティアとの交流

〈居場所のめざすもの〉

- ・自分が受容され安心して過ごすことができ、他者とのかかわりの中から自分を確認できる社会的居場所となるよう活動を通して支援する。
- ・地域住民、民生児童委員、福祉関係機関等と連携し、課題の早期対応を行うことで課題の複合化・複雑化の予防をめざし、個別支援と地域支援を一体的にとらえた地域づくりの場となるよう取り組む。

(7月18日カレーライスづくり)



(7月25日ボードゲーム)



(10月24日芋煮会)



民生委員他大勢のゲストを迎えて実施

(12月26日焼き鳥の会)



ホットサンドメーカーで調理



男性参加者は主に焼き鳥担当



メスティンでの炊飯



女性参加者はアウトドアクッキングに挑戦



感謝を込めて大掃除

### ⑤自転車シェア支援の実施

不要となった自転車の提供を受け、経済的に困窮し、自家用車や自家用自転車の保有が難しい生活困窮者に自転車の貸出を行うことにより、就労等の社会参加のための移動手段を提供し、自立を支援するために実施した。

利用者6件のうち、2件が就労し定着。6件すべてにおいて社会参加が見受けられた。

年度内に自転車を返却したケースはない。自転車を購入する資金を貯めるなど計画的な家計管理を促す支援も必須である。

### ⑥生活困窮者に対する食糧支援の実施

事業名	実施日・開催場所				周知方法
フードドライブ	7月6日 市役所	9月6日 市役所	11月12日 SDGs産学官 連携環境 イベント	12月6日 市役所	市役所内ポスター 掲示 市報、社協だより チラシ配布 地域活動講話
	常設 平日9時～16時 老人福祉センター、被災者サポートセンター				市報、社協だより チラシ配布 地域活動講話
フードパントリー 年間105件 (うち新規26件)	7月14日 老福セン ター	9月15日 老福セン ター	12月15日 老福センタ ー		市報、社協だより チラシ配布 地域活動講話

- ・SDGs産学官連携環境イベントにブース出展したことをきっかけとし年度末に東北電力がフードドライブとして食品寄付をいただいた。
- ・市役所福祉事務所前にて実施したフードドライブ事業では、フードパントリー事業に活用させていただくことを目的として合計2889.5kgの食品を市民の皆様から寄付をいただいた。
- ・老人福祉センター及び被災者サポートセンターにボックス常設し、個人103件(延べ)、団体30件(延べ)から計2010.3kgの食品を寄付いただいた。
- ・定期的に寄付をしてくださる市民の方も増え、フードドライブ事業の浸透が見えてきた年である。
- ・相談時の状況に応じて随時フードバンクから食品等の提供を行った。また、母子家庭については、フードバンクいしのまきで実施している母子応援セットを活用できるよう支援した。

### ⑦「参加支援」推進のための連携・協働する場の整備事業

- ・本人、世帯の状態に合わせ、地域資源を活かしながら、就労支援、居住支援などを提供することで社会とのつながりを回復する支援のひとつとして、就労支援事業利用者およびそれ以外の相談者、民生員と共に計11回の活動を行うことができた。市役所やイベントで行ったフードドライブ活動では利用者が受付を行い、周知活動や市民からの質問に答えるなど回数を重ね、積極的に活動することが出来た。今後も様々な事業との連携を通して、参加支援を図

りたい。

- ・課題としては居住支援関連の活動の着手に至らなかったことである。多機関の協働による包括的支援体制構築事業と一体的に次年度も実施していきたい。

#### ⑧金銭教育プログラムの実施

- ・SBI 新生銀行と認定特定非営利活動法人「育て上げネット」が協働で実施。「働くこととお金について」「モノの価値とお金について」を考える機会とし、1月26日東松島高校にて二部形式で開催し、約60名が受講した。
- ・ウエルネス高校と打合わせは行ったが、学校都合にて実施に至らなかった。
- ・金銭教育に関する相談員のスキル向上にはいたらなかった。

#### ⑨生活用品等支援事業(緊急を要する援護者への物品給付)の実施

- ・緊急を要する状況と判断した相談者に対してフードバンクの食品およびフードバンクいしのみきに依頼し受領する食糧BOX、トイレトペーパーや生理用品、その他生活物資、ガソリンの現物給付など実施した。
- ・個別ケースの支援経過には提供した旨を記載しているが、情報を取りまとめていなかったため、次年度は提供件数や対象となったケースについても報告ができるようにしたい。

#### ⑩その他

- ・制度理解の促進と関係機関との連携促進のための取り組み等

時期	内容	関係機関
4月13日	当センターの事業説明	東松島市校長会
5月15日	柴田町社会福祉協議会視察	柴田町社協
6月9日	当センターの事業説明	民生委員・児童委員
6月18日	ダブルケアマルシェにて相談ブース・事業啓発	野蒜市民センター、ライクミー
6月22日	当センターの事業説明とフードドライブ活動について	JA女性部鳴瀬支部
6月22日	山形市社会福祉協議会視察研修	山形市社協
8月5日	当センターの事業説明とフードドライブ活動について	ひだまり食堂
9月19日	当センターの事業説明とフードドライブ活動について	JA女性部矢本地区
9月21日	世界アルツハイマーデー イベント 相談ブース・事業啓発	野蒜市民センター、福祉課、地域包括支援センター、ひがまつサポートステーション
9月28日	当センターの事業説明	前里地区オアシス会
1月29日・30日	福祉教育	東松島高校
11月21日	SDGsについて勉強会	ウエルネス高校。SDGs・脱酸素社会推進課

・その他(主なもの)

時期	研修内容等	受講者
12月18日	災害ケースマネジメント研修	及川
11月11日・12日	第10回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	加来
10月16日	令和5年度東松島市ひきこもりサポーター養成講座	櫻田
9月6日・7日	令和5年度コミュニティソーシャルワーク実践研修	櫻田
9月26日	令和5年度宮城県オンライン居場所支援モデル事業説明会	櫻田
8月31日	石巻圏域自死対策研修会	加来・櫻田

(2)多機関協働事業（東松島市からの受託）

①多機関協働事業

ア 多機関協働事業相談支援等の概要

(ア) 相談支援件数状況

	年間
新規相談件数	50
うち多機関協働相談件数	21
継続支援件数	392
うち多機関協働支援件数	251

(イ) 対応内訳状況

内訳		年間
初回相談	電話	25
	来所	23
	訪問	2
継続支援	電話	230
	来所	50
	訪問	50
	会議	23
	その他	39

(ウ) 新規相談者状況

相談者内訳	件数
行政の保健担当部署	1
障害者相談支援事業所	6
障害者支援施設等	2

地域包括支援センター	5
居宅介護支援事業所・介護事業所等	5
行政の子ども家庭担当部署	2
行政の生活保護担当部署	1
くらし安心サポートセンター	2
社会福祉協議会（日常生活自立支援事業）	1
民生委員・児童委員	2
社会福祉協議会	7
その他行政の担当部署	1
家族・親族等	6
その他	3
本人	6
合計	50

(エ) 主な相談領域（新規分）

領域	件数
子供	7
障害者	17
高齢者	18
母子・父子	2
生活困窮	13
その他	12
合計	69

(オ) 初回相談内容（複数選択）

相談内容	新規
病気や健康、障害のこと	21
住まいについて	6
収入・生活費のこと	10
家賃やローンの支払いのこと	2
税金や公共料金等の支払いについて	2
債務について	1
仕事探し、就職について	5
仕事上の不安やトラブル	1
地域との関係について	3
家族との関係について	4
子育てのこと	2
介護のこと	8
ひきこもり・不登校	4
DV・虐待	1
その他	24
合計	94

(カ) 継続支援での多機関連絡調整内訳

内訳	件数
医療機関	2
行政の保健担当部署	6
行政の障害担当部署	4
障害者相談支援事業所	27
障害者支援施設等	12
行政の高齢担当部署	3
地域包括支援センター	56
居宅介護支援事業所・介護事業所等	44
行政の子ども家庭担当部署	17
行政の生活保護担当部署	14
くらし安心サポートセンター	41
社会福祉協議会（日常生活自立支援事業）	1
法テラス・弁護士・司法書士	6
行政の住宅施策担当部局	1
民生委員・児童委員	3
NPO・ボランティア団体	1
自治会・福祉委員・近隣住民	7
社会福祉協議会	26
その他行政の担当部署	37
家族・親族等	29
その他	6
本人	49
合計	392

イ 地域における相談支援機関等との連携体制の構築

(ア) 個別ケース会議の開催・参加状況

状況	回数
個別ケース会議	25回
うち重層的支援会議	4回

※多機関協働事業支援プラン件数：2件

(イ) 相談支援機関等との連携会議等の開催・参加状況

・相談支援機関等との連携会議等の状況

会議名・概要等	回数
日常生活自立支援事業（まもりーぶ）利用判定会議	6回
多職種ネットワークおいおいの会（研修会）	5回
多職種ネットワークおいおいの会 （コアメンバー会議）	3回
東松島市民生委員児童委員協議会定例会	3回
生活困窮者自立支援事業における支援調整会議	8回

公営住宅サポート担当者会議	2回
やもとケアマネネットワーク研修会 (ヤングケアラー支援について)	1回
合計	28回

・相談支援機関等との情報交換会

会議名・概要等	回数
有明応援食堂代表者との情報交換 (活動内容の聞き取りと個別ケースの相談)	1回
石巻市との情報交換会 (まるごと相談等についての情報交換)	1回
矢本東小学校と東地区民生委員等との懇談会 (学校活動と地域との連携について)	1回
東松島ママサロンとの情報交換会 (活動状況の共有と今後の連携について)	1回
放課後デイサービス星樹会施設見学及び情報交換	1回
フードバンクいしのまきとの情報交換会 (活動状況の共有と今後の連携について)	1回
石巻地域不登校・ひきこもり支援者のつどい	1回
かしよのゆめとの情報交換会 (活動状況の共有と今後の連携について)	1回
やもとケアマネネットワークとの情報交換 (活動状況の共有と今後の連携について)	1回
合計	9回

※様々な支援機関との情報交換や会議等に参加したことで、関係者と顔合せができ、相談がつながったり、連携できることにつながった。

ウ 地域における相談支援包括化ネットワークの構築を図るために必要となる事業

(ア) 地域支え合い会議等への参加状況

NO	会議名・概要等
1	野蒜ヶ丘1丁目地域支え合い会議
2	往還地区地域支え合い会議
3	小野上地区地域支え合い会議
4	東名地区地域支え合い会議
5	大塚地区地域支え合い会議
6	亀岡地区地域支え合い会議
7	宮戸地域における生活支援について情報交換会 (地域支え合い会議の開催に向けた情報交換)
8	里浜地区地域支え合い会議
9	平岡地区地域支え合い会議
10	根古地区地域支え合い会議
11	五味倉地区支え合い検討委員会 (地域支え合い会議)
12	赤井下区地域支え合い会議

13	大曲地区（貝田・貝殻塚一）地域支え合い会議
14	月浜・大浜地区地域支え合い会議
15	赤井第2層協議体「おせっ会」
16	大塩第2層協議体
17	よりそいの会
18	横沼地区民生委員との情報交換会

※地域支え合い会議等の地域での会議に年間18ヶ所、24回参加した。地域状況の把握や課題を発見することができた。地域住民と顔合せの場にもなり、福祉なんでも相談の周知も図れ、地域から相談を寄せてもらうことにつながった。また、地域では専門職とつながることで何かあったら相談してもいいことが分かり安心感をもってもらった。

地域課題については、高齢や障がい、子ども等の各分野との共有や今後の展開について協議し、課題解決に向けた取組みにつなげていくことが課題である。

(イ) 関係機関への多機関協働事業の説明

事業説明先	参加者
認知症総合支援コーディネーター	吉田コーディネーター、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
仙石病院地域連携室	末永社会福祉士、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
地域活動支援センター カノン	相澤所長、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
西部地域包括支援センター	木村社会福祉士、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
居宅介護支援事業所みのり	杉浦ケアマネジャー、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
真壁病院地域連携室	江崎相談員、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
小規模多機能型居宅介護支援施設 ぱんぷきん	末永管理者、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
地域活動支援センター カノン	赤間相談支援専門員、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員
共生園	工藤園長、東部包括木村在宅医療介護連携推進員、社協木村包括化推進員

※その他、地域での会議や他機関との会議など、あらゆる機会において「福祉なんでも相談窓口」のチラシを配布し、事業についても周知した。

(ウ) 研修会等

・多機関協働事業等における視察研修

開催日	視察先及び内容	視察参加者
4月21日	南三陸町社会福祉協議会 「多機関連携及び地域とのつながりづくりの	東松島市福祉課長・課長補佐・福祉総務係

	<p>実施状況について」          対応者：南三陸町社協 3 名</p>   	<p>東松島市社協相談支援包括化推進員・くらし安心CSW</p>
<p>5 月 15 日</p>	<p>柴田町ケアマネジャー情報交換会          内容：「公開事例検討会」          講師：愛知県半田市社会福祉協議会          事務局次長 前山憲一 氏          事例提供者：居宅介護支援事業所ピース          介護支援専門員 速見孝平 氏</p>	<p>(東松島市)          保健福祉部福祉課長、市福祉課生活保護係          (東松島市社協)          くらし安心サポートセンター、相談支援包括化推進員</p>
<p>8 月 22 日</p>	<p>野木町総合福祉センターひまわり館          「重層的支援体制整備事業及び総合福祉センターの視察」</p>	<p>(野木町)          町民生活部健康福祉課係長、保健師、社会福祉士          (野木町社協)          総務係兼地域福祉係長、地域福祉係主査          (東松島市)          保健福祉部福祉課長、保健福祉部福祉課長補佐、福祉課福祉総務係主任、福祉課生活保護係主任</p>

	    	<p>(東松島市社協)  事務局長兼総務課長、事務局長兼地域福祉課長、相談支援包括化推進員</p>
8月23日	鳩山町総合福祉センター	(鳩山町)

「重層的支援体制整備事業及び福祉プラザの視察」



長寿福祉課  
(鳩山町社協)  
福祉総合相談窓口相談支援包括化推進員  
(東松島市)  
保健福祉部福祉課長、保健福祉部福祉課長補佐、福祉課福祉総務係主任、福祉課生活保護係主任  
(東松島市社協)  
事務局次長兼総務課長、事務局次長兼地域福祉課長、相談支援包括化推進員



※令和5年度は、視察研修で重層的支援体制整備事業を先進されている他市町村の状況を学ぶことができた。視察先に出向いて、直接話を聞くことができたので、多機関協働事業や地域づくり事業のイメージを持つことができた。また、視察先でできたつながりを活かし、日常業務の相談や研修講師を依頼するなど連携することにもつながった。

令和6年度は、視察研修での学びを東松島市社協の事業として具体的に取り組んでいけるように体制整備を図ることを目指していく。

・視察研修受け入れ

日時	内容	参加者
8月1日	南三陸町と南三陸町社協からの視察研修 「重層的支援体制整備事業について」 対応者：東松島市福祉課、東松島市社協	(南三陸町) 保健福祉課長、保健福祉課技術参事(保健師)、保健福祉課課長補佐兼社会福祉係長、地域包括支援センター所長 (南三陸町社協) 事務局長兼総務課長、地域福祉係長 (東松島市) 保健福祉部福祉課長、保健福祉部福祉課長補佐、保健福祉部福祉課主任 (東松島市社協) 事務局長、事務局次長、相談支援包括化推進員



・研修会への参加

開催日	内容
7月30日	豊中市社会福祉協議会 CSW 実践研修会(1日目) 豊中市におけるコミュニティソーシャルワーカーの概要 コロナ禍での新たなCSW実践の取り組み CSWの基本 地域アセスメント CSWの基本 ワークショップ CSWの基本 社会資源開発のポイント

	講師：豊中市社会福祉協議会 事務局長 勝部 麗子氏
7月31日	豊中市社会福祉協議会 CSW 実践研修会（2日目） （地域フィールドワーク）8つの活動から一つ選択 校区福祉委員会による相談&福祉便利屋事業 （総合事業／訪問型住民主体サービス） 各フィールドワークの報告会
9月8日	令和5年度 スーパービジョン研修 講師：東北福祉大学社会福祉学科長 田中尚氏
9月27日	「チームでまちをデザインする ～包括的な支援体制・重層的支援体制整備事業セミナー～」 講師：藤井博志氏（関西学院大学教授） 高原伸幸氏（竹原市市民福祉部社会福祉課地域共生社会推進アドバイザー） 井岡仁志（ローカリズム・ラボ代表）
9月29日	令和5年度 第2回東松島市重層的支援体制整備事業庁内検討委員会部会 ・地域づくり事業の在り方（案）について ・包括的相談支援事業（多機関協働事業）におけるケース支援のあり方（案）について ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業のあり方（案）について
10月6日	東松島市ひきこもりサポーター養成講座 講義 「ひきこもりの理解と支援」 講師 宮城県精神保健福祉センター 技術主任主査 及川 裕 氏 報告 「ひきこもり実態調査アンケートからみえてきたこと」 東松島市役所健康推進課 精神保健福祉士 阿部 奈緒美 氏
R6年2月29日	令和5年度東海村における多様なアウトリーチのかたち ～誰ひとり取りこぼさない地域を目指して～ 完成報告会 内容：「なぜ今、アウトリーチが求められているのか」 全国社会福祉協議会中央福祉学院 主任教授 山下興一郎氏 「アウトリーチ等を通じた継続的支援 大津市社協の実践と展望」 龍谷大学社会学部 現代福祉学科 特任教授 山口浩次氏 事例報告①「ほっとけないシート」からつながった支援 東海村社会福祉協議会 神長孝行氏 事例報告②生活福祉資金特例貸付フォローアップを通じてつながり続けるアプローチ 東海村社会福祉協議会 阿久津俊氏 主催：東海村社会福祉協議会 会場：東海村総合福祉センター「絆」
R6年3月2日	2023年度 地域包括ケア全国実践研究集会 内容：基調講演 「包括的支援体制の構築における重層的支援体制整備事業の役割について」 講師 東京都立大学人文社会学部人間社会学科 室田 真一氏 シンポジウム

	<p>「わがまちにおける重層事業を活用した地域づくりについて」          コーディネーター 室田 真一氏          シンポジスト 宮本 益仁氏（三重県鳥羽市）          新美 敦基氏（愛知県東浦町）          猪俣 健一氏（大阪府阪南市社会福祉協議会）          主催：公益社団法人 日本社会福祉士会</p>
--	--

(エ) その他

・出前講座

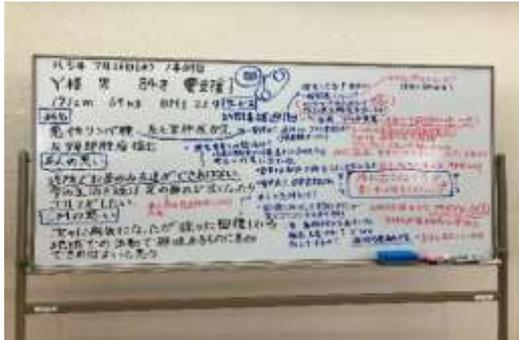
開催日	内容	参加者
5月19日	<p>社会福祉協議会についての出前講話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社協事業について</li> <li>・相談窓口（福祉なんでも相談・東部包括・くらし安心）について</li> <li>・ひがまつ安心サポート事業について</li> </ul> <p>※障がい者相談支援事業所ともより、お茶会で講話をしてほしいと依頼あり実施。          会場：障害者相談支援事業所とも</p> 	<p>なごみ会（老人クラブ）          会員9名、東部包括、社協包括化推進員</p>
R6年1月12日	<p>やもとケアマネネットワーク研修会          「複合的な課題を抱える世帯の支援」          講師：東松島市社会福祉協議会          相談支援包括化推進員 木村佳美          会場：矢本西市民センター</p>	<p>ケアマネネットワーク          会員 約40名参加</p>

②包括的な支援体制づくりのための連携・協働する場の整備

ア 多機関ネットワーク会議

複雑化・多様化した課題を制度の狭間に落とさず、多機関が連携して支援するために、分野を超えた連携を図り、目指す方向性や情報を共有し、役割分担等を調整することで関係者の「顔の見える」ネットワークと協働のプラットフォームの構築を実施するもの。

開催日	内容	参加者
5月29日	<p>第1回 情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議について</li> <li>・包括的・継続的ケアマネジメント支援</li> </ul>	<p>塩釜市南部東部包括所長・実習生          東部包括支援センター、医療介</p>

	<p>について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、社協や包括業務について</li> </ul> <p>開催方法：オンライン</p>	<p>護連携推進員、中部包括支援センター、西部包括支援センター、相談支援包括化推進員</p>
7月26日	<p>第2回 柴田町地域ケア個別会議(視察)</p> <p>主催：柴田町</p> <p>会場：柴田町役場</p> <p>運営：柴田町地域包括支援センター 槻木地域包括支援センター</p>  	<p>柴田町内ケアマネジャー、柴田町内の地域包括支援センター、東松島市社協包括化推進員、東北福祉大学実習生、東部地域包括支援センター、西部地域包括支援センター</p>
12月14日	<p>第3回 サポートセンター訪問状況について情報交換会(中部地域)</p> <p>会場：サポートセンター</p>	<p>中部包括支援センター、サポートセンターLSA、くらし安心サポートセンター、社協包括化推進員</p>
12月21日	<p>第4回 サポートセンター訪問状況について情報交換会(西部地域)</p> <p>会場：老人福祉センター</p>	<p>西部包括支援センター、サポートセンターLSA、くらし安心サポートセンター、社協包括化推進員</p>
令和6年 3月26日	<p>第5回 「弁護士」と「福祉専門職」との座談会～お互いに支え合える関係づくり～</p> <p>会場：老人福祉センター</p>	<p>弁護士、東部包括支援センター、中部包括支援センター、西部包括支援センター、障害者相談支援事業所、くらし安心サポートセンター、社協 SC 兼 CSW、社協包括化推進員</p>

※令和5年度は、他市町村の地域包括支援センターとの情報交換や視察研修を実施したことで、専門分野の取組み状況における情報交換や今後の事業展開の参考となる機会になった。また、サポートセンターとの情報交換も行い、専門機関との連携が

図れた。年度末には、司法の専門家である弁護士と福祉専門職の情報交換を実施。日常業務における相談について専門家からアドバイスをもらえる場や気軽に相談できる機会になった。

### ③福祉なんでも相談窓口事業

#### ア 東松島市社会福祉法人連絡会

##### (ア) 東松島市社会福祉法人連絡会幹事会及び総会の開催

開催日	実施内容	参加者
5月12日	幹事会 協議事項 役員候補者の推薦について 令和4年度事業報告について 令和5年度事業計画について	やすらぎ会常務理事、施設長 愛育会事務局長 慶和会業務執行理事、施設長 東松島福祉会施設長、総務主任 ことぶき会理事長 東松島社協局長、次長、事務局 市福祉課長、市高齢障害支援課長
5月31日	総会 幹事会における協議事項について 議案審議 ※総会終了後、各法人の方々との情報交換会も開催した。	やすらぎ会常務理事、施設長 愛育会理事長、事務局長 慶和会業務執行理事、施設長 東松島福祉会施設長 ことぶき会理事長、施設長 東松島社協会長、局長、次長、事務局 市長、市福祉課長



##### (イ) 福祉なんでも相談窓口ヒアリング

市内社会福祉法人と連携して実施している「福祉なんでも相談窓口」事業の状況と課題等について各窓口を訪問し、ヒアリングを実施した。

開催日	ヒアリング先事業所	参加者
6月20日	共生園	園長、社協CSW、社協包括化推進員
6月20日	地域活動支援センターカノン	所長、在宅医療介護連携推進員、社協包括化推進員
6月21日	特別養護老人ホームやもと赤井の	相談員、在宅医療介護連携推進員、

	里	社協包括化推進員
6月23日	特別養護老人ホーム不老園	施設長、副施設長、相談員、社協CSW、 くらし安心CSW、社協包括化推進員
6月26日	ぎんの星	施設長、管理者、社協包括化推進員
6月26日	特別養護老人ホーム矢本華の園	相談員、社協包括化推進員
6月28日	ケアハウス花いちもんめ	相談員、社協包括化推進員、在宅医 療介護連携推進員
6月28日	ケアハウスはまなすの里	施設長、社協包括化推進員、在宅医 療介護連携推進員

※その他、地域での会議や他機関との会議など、あらゆる機会において「福祉なんでも相談窓口」のチラシを配布し、事業についても周知した。(再掲)

(ウ) 第1回福祉なんでも相談ネットワーク会議

開催日	内容	参加者
6月29日	<p>①令和4年度福祉なんでも相談窓口状況について</p> <p>②東松島市社会福祉法人連絡会による地域における公益的な取組みに向けた、移動支援ニーズ調査アンケート結果について</p> <p>意見交換</p>	<p>共生園、華の園、赤井の里、花いちもんめ、不老園、はまなすの里、カノン、ぎんの星、東部包括、中部包括、西部包括、くらし安心、社協CSW、認知症総合支援コーディネーター</p> <p>21名参加</p>
		

(エ) 福祉なんでも相談のための研修会

開催日	内容	参加者
7月20日	<p>第1回福祉なんでも相談のための研修会 「重層的支援体制整備事業を通じた山形市社会福祉協議会の取組みについて～具体的な実践を通して連携の在り方を学ぶ～」</p> <p>講師：山形市社会福祉協議会 相談支援課 江部 直美 氏</p>	<p>東松島市社会福祉法人連絡会、東部・中部・西部地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、くらし安心サポートセンター、社協、東松島市、宮城県等</p> <p>48名参加</p>

		
<p>9月22日</p>	<p>第2回福祉なんでも相談のための研修会  「ひきこもり支援について～ひきこもりの理解と関わり方を学ぶ～」  講師：社会福祉法人 わたげ福祉会  理事長 秋田敦子氏</p> 	<p>東松島市社会福祉法人連絡会、東部・中部・西部地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、くらし安心サポートセンター、社協等 21名参加</p>

(オ) 宮城県小規模法人のネットワーク化による協働推進事業における県域会議への出席

日 時	内 容
<p>9月28日</p>	<p>第1回県域会議  1 令和5年度指定地域の紹介と取組み予定の事業説明  社会福祉法人 涌谷町社会福祉協議会  2 事業の概要説明  「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業について」  宮城県保健福祉部社会福祉課団体指導班  3 事業の趣旨説明  「宮城県経営協が考える小規模法人のネットワーク化協働推進事業について」  宮城県社会福祉法人経営者協議会  4 実践事例報告（過年度指定地域の取組み紹介）  社会福祉法人東北福祉会（仙台青葉区北仙台地区ふわっと）  5 質疑応答・情報交換</p>

R6年3月12日	第2回県域会議 令和5年度指定地域の事業取組み状況 社会福祉法人涌谷町社会福祉協議会 令和5年度フォローアップ事業の取組み状況 仙台市青葉区北仙台地区「ふわっと」 社会福祉法人ぼっけコミュニティネットワーク
----------	--

イ 新型コロナウイルスワクチン接種手続き等困難者支援事業

令和5年度 支援結果

【相談件数】 20名

【支援件数】 20名

※令和5年度は、市が対象の住民に送付する予診票に社協での支援内容を記載した文章を入れてもらい、対象者に配布した。地域住民からは、「コールセンターにつながらない」「つながらない番号をのせるな！」などの苦情も多かったため、まずは話を聞き、インターネットを活用して予約の支援を丁寧に実施した。

④部門間横断の相談支援体制づくり

ア 東松島市社会福祉協議会による地域支え合い活動の推進（モデル事業）

地域住民と日常的に関わりを持っている社協支部の支部長、その他見守り活動に協力できる地域住民の協力を得て、高齢者等の見守りを行い、地域での孤立防止や異変を早期発見し、必要な支援を行うことにより、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活ができる地域住民相互の支え合いによる見守り活動を推進していくもの。

(ア) モデル地区ヒアリング調査

モデル地区名	調査日	実施者
1 五味倉（東部）	4月24日	本田CSW、土屋CSW、渥美統括、木村包括化推進員
2 赤井駅前（東部）	4月25日	本田CSW、土屋CSW、千葉次長
3 作田浦（中部）	4月28日	眞籠CSW、渥美統括、浅野CSW
4 下小松（中部）	4月26日	眞籠CSW、渥美統括、浅野CSW、木村包括化推進員
5 新道（西部）	4月25日	渡辺CSW、千葉次長
6 川下（西部）	4月21日	渡辺CSW、渥美統括

(イ) 地域包括支援センターへの周知

開催日	内容	参加者
10月3日	地域支え合い活動モデル事業説明 と意見交換 会場：中部包括支援センター	東部包括支援センター所長、中部包括支援センター所長、西部包括支援センター所長、社協包括化推進員

(ウ) 令和5年度 地域支え合い活動モデル地区情報交換会

開催日	内容	参加者
令和6年	1 地域支え合い活動報告	川下地区（自治会長、保健

3月18日	2 意見交換 3 事業実績報告の提出について 会場：老人福祉センター	推進員、民生委員）、赤井駅前地区（自治会長）、五味倉地区（自治会長）、平岡地区（自治会長）、下小松地区（自治会長）、社協事務局次長、社協SC兼CSW、社協包括化推進員
-------	--	---

※令和4年度より、社協内まると連携会議で支部支援のあり方について協議を重ね、令和5年度は、モデル地区（6地区）を選定、各地区を訪問し自治会長等からヒアリングによる調査を実施。その後、具体的な活動の手引きや要綱等を整備し、モデル事業実施に取り組んだ。また、モデル事業実施後の各地区の活動状況について情報交換会を開催し、活動における課題等について意見交換を行った。令和6年度は、モデル地区を増やし、住民主体の支え合い活動を推進していくこととしている。

#### イ 支え合いの地域づくりを目的とした多機関連携事業

介護や障害等の福祉事業所が、地域で困っている個人や地域課題等に対して、制度の狭間などの解決困難な課題をどう支援していくか、社協と福祉事業所等が連携・協働して、地域住民と共に身近な地域での課題解決や住みよい地域づくりを協働して実現するためのネットワークと連携体制の構築を図るもの。

- ①小野・野蒜地区を対象としてモデル的に実施。
- ②小野・野蒜地区の事業所を訪問しヒアリング実施。
- ③ヒアリングを実施した事業所との情報交換開催。
- ④個別の課題や地域課題を共有しながら事業所間の連携・協働による支援の検討や新たな資源の開発につなげるもの。

##### (ア) ヒアリング実施状況

実施日	ヒアリング先事業所	参加者
6月5日	株式会社 美徳	代表取締役、社協SC兼CSW、社協包括化推進員
6月12日	社会福祉法人ことぶき会 はまなすの里	理事長、社協SC兼CSW、くらし安心CSW、社協包括化推進員
6月20日	共生園	園長、社協SC兼CSW、社協包括化推進員
6月23日	特別養護老人ホーム 不老園	施設長、副施設長、相談員、社協SC兼CSW、くらし安心CSW、社協包括化推進員

※令和5年度については、上記目的にて体制づくりの活動を実施したが、ヒアリング後の情報交換会や連携・協働のプラットフォームづくりには着手できなかったことが課題として残った。令和6年度再検討していく。

#### ウ 困難ケースに関する定期的な状況のフォロー

##### (ア) 東部包括虐待ケース進捗確認会議

概要等	回数	参加者
進捗状況の確認と評価や計画等の確認	10回	社協事務局長、東部包括所長、看護師、社会福祉士、相談支援包括化推進員

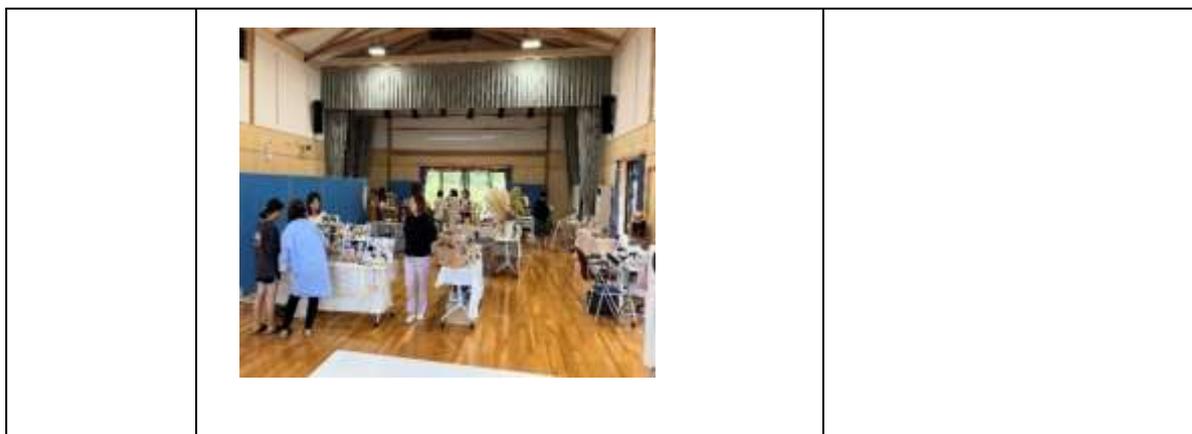
(イ) 暮らし安心サポートセンター会議

概要等	回数	参加者
ケースの支援状況やプランの確認、支援方針等についての検討	7回	暮らし安心サポートセンター全相談員、社協事務局長、相談支援包括化推進員

エ ダブルケア支援団体ライクミーとの連携協働事業

開催日	内 容	参加者
5月29日	<p>ダブルケアマルシェ最終打ち合わせ (6月18日、野蒜市民センターにて開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の流れの確認</li> <li>・役割分担の確認</li> <li>・会場レイアウトの確認 等</li> </ul> <p>※当日は、出張「福祉なんでも相談会」を開催します 会場：野蒜市民センター</p>	<p>ライクミー代表・副代表 野蒜市民センター 社協 SC 兼 CSW 社協包括化推進員</p>
6月18日	<p>ダブルケアマルシェ開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルケアパネル展</li> <li>・ヨガ</li> <li>・ハンドメイド雑貨ブース</li> <li>・リラクゼーション・ネイルブース</li> <li>・フード・ドリンクブース</li> <li>・福祉なんでも相談ブース</li> </ul> <p>会場：野蒜市民センター 主催：ダブルケアラー支援団体 協力：野蒜市民センター 東松島市社会福祉協議会</p>	<p>住民等 約80名参加</p>





#### オ 居場所づくり支援事業

子育て世代の親子が交流できて、つながれる場、出会える場として気軽に参加できる居場所づくりを支援していくもの。

令和5年度は、子育てサークルや関係者と協議を重ねて事業の取組みを実施した。

##### (ア) ひがまつおやこの居場所事業

開催日	内 容	参加者
4月28日	<p>ひがまつおやこの居場所会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に実施した居場所の振り返り</li> </ul> <p>会場：老人福祉センター</p> 	<p>子育てサークルこっこクラブ</p> <p>親子4組、市健康推進課保健師・助産師、主任児童委員、地域おこし協力隊、社協CSW、くらし安心CSW、相談支援包括化推進員</p>
5月30日	<p>ひがまつおやこの居場所打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年3月開催時の改善点について</li> <li>・次回(6/24)の居場所の内容等について</li> <li>・今年度の計画等について</li> </ul> <p>会場：老人福祉センター</p>	<p>子育てサークルこっこクラブ</p> <p>親子5組、市健康推進課保健師、社協CSW、くらし安心CSW、地域住民、相談支援包括化推進員</p>
6月24日	<p>ひがまつおやこの居場所開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児と保護者が安心して過ごせる場所</li> <li>・お茶を飲みながら交流できるスペース</li> <li>・子どもの遊び場</li> <li>・おさがりコーナー</li> </ul> <p>主催：子育てサークルこっこくらぶ 東松島市社会福祉協議会</p> <p>対象：未就学児、保護者等</p>	<p>子育て親子等 約70名参加</p>

	<p>会場：老人福祉センター  協力：市健康推進課、市子育て支援課、  子育て支援センター、ミッフィークラブ、  サンサンサン、主任児童委員、地域おこし協力隊等</p>	
9月29日	<p>ひがまつおやこの居場所打ち合わせ  ・ひがまつおやこの居場所の今後について  会場：老人福祉センター</p>	<p>子育てサークルこっこクラブ4名、社協SC兼CSW、くらし安心サポートセンターCSW、社協包括化推進員</p>
12月15日	<p>ぽかぽかふえ（ひがまつおやこの居場所）  ・正しい姿勢の豆知識  講師：大船渡市保健福祉部子ども課  子ども家庭支援員（社会福祉士）  近藤 和子氏  ・おしゃべりカフェ  ・子どもが安心して遊べるプレイコーナー  対象：市在住の未就学児とその保護者  会場：矢本西市民センター  協力：こっこクラブ、ミッフィークラブ、  東松島ママサロン、地域おこし協力隊等</p>	<p>親子3世帯、議員、関係者等 15名参加</p>



※事業を通じて子育て世代が抱える課題を把握することができた。今後は、イベントとして実施するのではなく、住民が主体的に活動できることを支援していくことが課題である。

(イ) 野蒜ヶ丘2丁目地区主催 子育て交流会の視察

開催日	内 容
R6年2月18日	<p>子育て交流会                      主催：野蒜ヶ丘2丁目自治会                      参加者：親子5～6世帯                      協力：いろどりの丘、地域住民、地域おこし協力隊等</p> 

※自治会主催として開催した子育て交流会を視察させてもらった。自治会長からは、自治会として子育て世代を対象として開催するのは初めての試みであり、地域の活動として子どもや子育て世代が参加できるイベントを継続して開催していきたい、今後も社協等に協力いただきたいと意向が聞かれた。

⑤行政との「パートナーシップ」の醸成

ア 東松島市設置の各種会議への参画

(ア) 東松島市障害者計画等策定委員会への出席

日 時	内 容
1月26日	<p>第1回 東松島市障害者計画等策定委員会                      1 委員長及び副委員長の選任                      2 協議事項                      (1) アンケート調査票(案)について                      (2) 計画策定スケジュール(案)について                      3 その他</p>
8月3日	<p>第2回 東松島市障害者計画等策定委員会                      東松島市第4期障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画に関する検討協議</p>
R6年2月14日	<p>第4回東松島市障害者計画等策定委員会                      パブリックコメントの結果報告                      計画書最終案について(協議)</p>

(イ) 東松島市多職種連携 ICT システム運用部会への出席

日 時	内 容
10月3日	<p>第2回東松島市多職種連携 ICT システム運用部会                      1 協議事項                      (1) 運用フローについて</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2) 利用規約について</li> <li>(3) 同意取得方針について</li> <li>(4) テスト運用方針等について</li> </ul>
11月13日	<p>第3回東松島市多職種連携 ICT システム運用部会</p> <p>1 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ネットワーク名称選定について</li> <li>(2) テスト運用②の活用シーン、参加事業所について</li> <li>(3) 個別支援の運用方針について</li> </ul> <p>①患者・利用者登録のフロー 同意方針取得方針</p> <p>③患者・利用者ヘッダーの項目</p>
R6年2月16日	<p>第4回東松島市多職種連携 ICT システム運用部会</p> <p>1 報告</p> <p>ひがまつ BLUE ネット利用状況について</p> <p>2 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ひがまつ BLUE ネット運用上の意見・改善点について</li> <li>(2) ひがまつ BLUE ネット利用規約について</li> <li>(3) 評価項目について</li> <li>(4) ひがまつ BLUE ネットリーフレットについて</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>今後の予定について</p>

(ウ) 東松島市空き家等対策協議会への出席

日時	内容
12月25日	<p>第1回 東松島市空き家等対策協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 東松島市空き家等対策協議会について</li> <li>2 東松島市の空き家等対策の現状について（報告）</li> <li>3 令和5年度の事業計画について（報告）</li> <li>4 令和6年度の事業方針について（協議）</li> <li>5 意見交換</li> </ul>
R6年3月18日	<p>第2回 東松島市空き家等対策協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年度空き家等対策事業実績について（報告）</li> <li>2 令和6年度事業計画について（協議）</li> </ul>

### (3) 生活福祉資金貸付事業（宮城県社会福祉協議会からの受託）

#### ①生活福祉資金貸付事業の実施

- ・低所得者、障害者または高齢者に対する生活福祉資金の貸付と相談支援並びに県社協からの依頼により償還に向けた支援を行った。
- ・申請に至ったものは、義足作成のための福祉用具購入費である。

取扱状況	相談受付数	償還へ向けた支援	本年度県社協への申請数
	20	56	1

生活福祉資金貸付 相談受付内訳					
緊急小口資金	教育資金	冠婚葬祭費	福祉資金		
			自動車購入費	不動産担保型	住宅修繕費
4	5	2	4	2	3

#### ②生活復興支援資金貸付事業の実施

##### ■職員配置状況

生活福祉資金貸付相談員 常勤 1 人(生活福祉資金貸付事業と一体的に実施)

##### ■特例緊急小口資金償還状況(東日本大震災関連)

- ・貸付総数：1,698 ・貸付総額：262,880,000 円
- ・償還実績：1,257 ・完済率：72.11%(宮城県全体 68.28%)
- ・令和 5 年度中の完済者：4 人

#### ③コロナ特例貸付借受人へのフォローアップ支援

##### ●貸付実施後の免除・猶予・相談支援（令和 5 年度）

	免除決定理由				猶予
	非課税	自己破産	生活保護	自然災害	
緊急小口資金	15	3	2	1	13
総合支援資金(初回)	7	2	1	1	4
総合支援資金(延長)	1				

緊急小口資金	総合支援資金	猶予	自己破産	生保	自然災害
28 件	22 件	15 件	9 件	3 件	1 件
相談(12 件)	相談(5 件)	相談(6 件)	相談(3 件)	相談(2 件)	相談(0 件)

支援内容

- ・猶予申請の為の意見調査書作成支援
- ・家計改善支援(家計の見える化、破産手続きなど弁護士へのつなぎ、支払いの優先順位の検討など)
- ・生活支援(関係機関への情報提供及びフードバンクの提供等)

#### (4)生活安定資金貸付事業

##### ①生活安定資金貸付事業の実施

・低所得世帯に対する必要な生活資金の貸付を行い、自立更生と生活の安定に寄与することを目的に実施。家計相談や就労支援等の支援も行い、生活の立て直しおよび生活の安定を図った。

- ・生活安定資金の債権管理
- ・長期滞納者に対する督促状の送付

令和5年11月1日 11件

- ・督促状送付及び死亡・所在認の調査結果を精査。一部、返済再開の債務者あり。

・生活福祉資金・生活安定資金による貸付では、ライフラインの未払い、入退院の支払いのため生活費が不足するなど急を要する状況への支援として実施し、22名がプランとなっている。計画的な償還に至らず、返済が終了するまでの期間再プランとなって伴走支援を要するケースもある。

##### ②一時援護資金貸付事業の実施

・生活保護申請中の世帯に対し、小口の資金の貸付と必要な相談支援を行い、保護決定までのつなぎ資金の貸し付けを行った。

	本年度貸付金額	本年度回収金額	本年度末貸付残高
生活安定資金	465,000円 (13件)	744,000円	2,746,000円
一時援護資金	635,000円 (23件)	485,000円	150,000円

#### (5) 日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）（宮城県社会福祉協議会からの受託）

##### ①日常生活自立支援事業(まもり一ぶ)の実施

###### ■相談受付状況

(人)

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
新規受付数(社協扱い)	2	0	0	0	2
利用者総数	12	5	3	0	20

###### 【契約に基づく利用者への具体的な援助や支援】

主な支援内容：福祉サービスに関する相談と助言・郵便物等の確認・日常的な金銭の管理・諸費用の支払い・年金や手当の受取・書類等の預かり

利用者からの預託物品：通帳 21通 印鑑 14本

支援員数：4人(委嘱)

まもり一ぶ利用判定会議出席：6回

### 3. 在宅介護事業拠点区分

#### (1) 訪問介護事業

##### ①訪問介護事業(介護保険サービス)の実施

##### ②訪問介護事業(障害福祉サービス)の実施

##### ③訪問介護事業(産前産後ヘルパー事業)の実施

			延べ利用者数		月平均利用者数		
			人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異 (B-A)
介護保険	介護 給付	要介護 5	25	2.7%	1.1	2.1	1.0
		要介護 4	58	6.2%	5.2	4.8	△ 0.3
		要介護 3	4	0.4%	0.9	0.3	△ 0.6
		要介護 2	82	8.8%	6.5	6.8	0.3
		要介護 1	120	12.9%	13.8	10.0	△ 3.8
	小計		289	31.1%	27.5	24.1	△ 3.4
	予防 給付	要支援 2	142	15.3%	13.2	11.8	△ 1.3
		要支援 1	178	19.1%	17.3	14.8	△ 2.5
		事業対象	12	1.3%	2.0	1.0	△ 1.0
	小計		332	35.7%	32.5	27.7	△ 4.8
計			621	66.8%	60.0	51.8	△ 8.3
障害福祉	身体障害	40	4.3%	4.2	3.3	△ 0.8	
	精神障害	70	7.5%	7.5	5.8	△ 1.7	
	地域生活支援	31	3.3%	3.7	2.6	△ 1.1	
計		141	15.2%	15.3	11.8	△ 3.6	
産前産後ヘルパー			11	1.2%	0.9	0.9	0.0
ほっとサービス			157	16.9%	11.1	13.1	2.0
合計			930	100.0%	87.3	77.5	△ 9.8
サービス提供時間			9160:25		746	763	17.0
ヘルパー常勤換算数					6.7	6.3	△ 0.5
ヘルパー 1人当たり	利用者数				13.0	12.4	△ 0.6
	提供時間				111	122	11.0

## (2) 居宅介護支援事業

### ① 居宅介護支援事業の実施

		延べ利用者数		月平均利用者数		
		人数	構成比	前年度 (A)	今年度 (B)	差異 (B-A)
介護給付	要介護 5	182	10.3%	9.9	15.2	5.3
	要介護 4	234	13.3%	16.8	19.5	2.7
	要介護 3	106	6.0%	15.1	8.8	△ 6.3
	要介護 2	351	19.9%	30.3	29.3	△ 1.0
	要介護 1	387	22.0%	38.2	32.3	△ 5.9
小計		1,260	71.6%	110.3	105.0	△ 5.3
予防給付	要支援 2	281	16.0%	30.7	23.4	△ 7.3
	要支援 1	217	12.3%	20.8	18.1	△ 2.7
	事業対象	2	0.1%	0.2	0.2	0.0
	小計	500	28.4%	51.6	41.7	△ 9.9
合計		1,760	100.0%	161.8	146.7	△ 15.2
ケアマネ常勤換算数				4.0	3.8	△ 0.2
ケアマネ1人当たり利用者数				34.0	32.8	△ 1.2

※1人当たり利用者数の算定：予防給付の利用者数は2分の1でカウントしている。

## (3) ポストコロナ時代に対応した新型コロナウイルス感染対策の推進(在宅介護事業共通)

### ① ポストコロナ時代に対応した新型コロナウイルス感染対策の推進

- 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後のガイドラインとして「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の感染防止対策について」を定め、引き続きマスク着用や手指消毒等の対策を職員に徹底した。また、職員本人または同居家族が感染した場合の特別休暇対応を継続し、感染拡大防止に努めた。
- マスク、消毒液、ガウン等については、不足が生じないように計画的に備蓄を進めた。

#### 4. 被災者支援事業拠点区分

##### (1) 被災者サポートセンター運営事業（東松島市からの受託）

##### ① 寄り添い型被災者生活支援の実施

- ・災害公営住宅を対象とした戸別訪問を継続的に実施することで、生活課題を早期に発見し、関係機関につなぎ、連携して対応した。

■ 令和5年度災害公営住宅訪問世帯数(306)…令和6年3月31日現在

赤井…柳の目西(11)

矢本東…あおい1丁目(41)、2丁目(47)、3丁目(36)、町浦(9)

矢本西…小松南(63)、矢本西(21)

野蒜…野蒜ヶ丘1丁目(2)、2丁目(41)、3丁目(35)

##### ■ 災害公営住宅訪問数

時期	矢本東地区 (赤井・矢本東)			矢本西地区 (矢本西)			鳴瀬地区 (野蒜)			訪問 合計	面会 合計	不在 合計
	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数	訪問数	面会数	不在数			
4月	201	145	56	120	85	35	177	143	34	498	373	125
5月	216	149	67	127	84	43	183	129	54	526	362	164
6月	215	159	56	126	91	35	179	135	44	520	385	135
7月	197	145	52	129	78	51	170	136	34	496	359	137
8月	194	151	43	113	80	33	169	142	27	476	373	103
9月	196	143	53	109	82	27	178	142	36	483	367	116
10月	213	167	46	121	82	39	170	126	44	504	375	129
11月	199	143	56	109	81	28	174	132	42	482	356	126
12月	200	150	50	117	75	42	173	126	47	490	351	139
1月	203	146	57	117	84	33	166	129	37	486	359	127
2月	197	142	55	108	76	32	173	129	44	478	347	131
3月	204	144	60	125	89	36	182	126	56	511	359	152
合計	2,435	1,784	651	1,421	987	434	2,094	1,595	499	5,950	4,366	1,584

■要望・相談数

時期	サポートセンター				地域 包括	くらし 安心	弁護士 相談	合計
	健康 生活支援	住環境	その他	小計				
4月	1	0	0	1	1	0	0	2
5月	1	1	2	4	2	0	0	6
6月	5	1	0	6	4	0	0	10
7月	3	0	0	3	5	0	0	8
8月	1	0	0	1	0	0	0	1
9月	2	0	1	3	2	0	0	5
10月	2	0	0	2	2	0	0	4
11月	0	0	1	1	2	0	0	3
12月	2	0	0	2	1	0	0	3
1月	1	1	1	3	3	0	0	6
2月	2	0	0	2	5	0	0	7
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20	3	5	28	27	0	0	55

■生活支援相談員が関係機関につないだ数

つなぎ先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康推進課	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福祉課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建築住宅課	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
包括支援センター	1	1	3	2	0	2	2	0	1	1	2	0	15
くらし安心SC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい者支援事業所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
住宅管理センター	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	5
まもりーぶ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	4	4	3	1	3	2	1	2	3	2	0	26

■関係機関との連絡調整会議

会議等名	開催回数	検討ケース数	従事者数
公営住宅サポート担当者会議	4	28	64
あおい地区見守り部会会議	5	146	80
LSA会議	12	88	67
その他連絡調整会議	2	2	15
合計	23	264	226

- ・年間を通してLSA会議を開催し、市福祉課と情報共有することができた。
- ・定期的に自主開催しているあおい地区見守り部会の会議に生活支援相談員が出席し、地区内の活動状況や生活課題等の情報共有に努めた。

## ②復興支援ボランティアの受け入れ調整と派遣（再掲）

被災者の孤立感の解消や地域内でのつながりづくり、生きがいをづくりを目的に実施した。

### ■音無美紀子の歌声喫茶

- ・10月11日に開催した本会主催の地域福祉推進大会第2部で「音無美紀子の歌声喫茶」を開催した。音無美紀子さんほか芸能関係者12人が参加した。
- ・10月12日に矢本西市民センターを会場に歌声喫茶を開催した（コロナ禍の影響により4年ぶりの開催）。音無美紀子さんほか芸能関係者10人、市民160人が参加した。

### ■金子美枝のフラワーアレンジメント教室

講師：フラワー装飾技能士1級 華創師 金子 美枝 氏（横浜市在住）

時期		開催場所	参加者数
7月	8日	赤井市民センター 多目的ホール	16
	8日	東松島市民センター多目的ホール	12
	9日	野蒜市民センター 会議室2・3	20
11月	18日	大塩市民センター 多目的ホール	13
	18日	老人福祉センター 集会室	14
	19日	小野市民センター 講堂	15
令和6年 2月	17日	大曲市民センター 多目的ホール	17
	17日	老人福祉センター 集会室	19
	18日	野蒜市民センター 講堂	20
合計			146

### ■安田智彦グループ「ハッピージャズコンサート」

- ・2月23日に小野市民センターを会場にジャズコンサートを開催し、市民133人が参加した。

## 5. 地域包括支援センター事業拠点区分

- ・高齢者の総合相談窓口として、介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援事業、虐待対応等の権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、認知症総合支援事業、一般介護予防事業、指定介護予防支援事業等に取り組んだ。
- ・世帯の課題(経済的な困窮、8050 問題など)を抱えているケースが増加している印象。対応にあたり、社協相談支援包括化推進員、くらし安心サポートセンター、生活支援コーディネーター等の社協関係部署と協働して対応にあたった。
- ・令和5年1月から受託した「在宅医療・介護連携推進事業」において、ICTシステムの選定～テスト運用、本格運用までに取り組んだ。市内の医療・福祉関係事業所のほか、東松島市民が利用する市外の医療機関・福祉事業所にも加入いただき、医療・介護連携の手段を構築した。
- ・令和3年度から3包括の所長・職種ごとの交流機会を継続している。地域の課題や対応方法などについて情報交換し、関係構築を図った。

### (1) 地域包括支援センター事業 (東松島市からの受託)

〈職員配置数・体制〉

職種	勤務体制・配置数
看護師(保健師に準ずる者)	常勤1人
社会福祉士	常勤3人(在宅医療・介護連携推進事業の1人含む)
主任介護支援専門員	常勤1人

### ①包括的支援事業

#### ■介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント業務(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
事業対象者	62	2	45	1	14
訪問型サービスC	0	0	0	0	0
要支援1	485	5	162	9	309
要支援2	252	1	78	8	165
合計	799	8	285	18	488

#### ■総合相談支援業務

〈相談数〉

		相談延べ数	平日		夜間・休日	
			新規	継続	新規	継続
相談方法	訪問	857	14	826	2	15
	来所(面接)	183	35	146	0	2
	電話	3,018	138	2,974	2	84
	その他(メール等)	221	3	213	0	5
合計		4,279	190	3,979	4	106

〈総合相談継続関与ケース総数〉

総合相談ケース数	総数	新規	継続	終結
	810	182	464	164

〈相談経路〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
本人	1,255	21	1,234
家族	548	53	495
親戚	223	7	216
介護支援専門員	474	16	458
介護サービス事業所	289	3	286
障害者相談支援事業所	31	3	28
生活支援コーディネーター	28	3	25
くらし安心サポートセンター	127	4	123
被災者サポートセンター	18	0	18
相談支援包括化推進員(福祉総合相談担当)	15	4	11
市役所	467	32	435
医療機関	237	19	218
民生委員	189	11	178
自治会関係者	48	3	45
近隣者	33	6	27
その他	297	9	288
合計	4,279	194	4,085

〈相談内訳(重複あり)〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
介護に関すること(介護方法等)	355	27	328
介護保険に関すること	826	76	750
介護予防・生活支援に関すること	703	28	675
保健・健康相談	267	12	255
医療に関すること	297	14	283
認知症に関すること(若年性以外)	76	12	64
若年性認知症に関すること(65歳以下)	0	0	0
生活に関すること	1,876	52	1,824
施設入所に関すること	183	6	177
虐待に関すること	162	4	158
権利擁護に関すること	29	1	28
介護者の離職防止に関すること	0	0	0
その他	32	1	31
合計	4,806	233	4,573

■権利擁護業務

(ア) 権利擁護関係相談

〈相談概要〉

内訳	相談延べ数	新規	継続
高齢者虐待	384	42	342
セルフネグレクト	12	8	4
判断能力を欠く状況にある人への支援	451	11	440
成年後見制度利用促進	98	3	954
消費者被害	2	1	1
困難事例	144	26	118
その他	1	0	1
合計	1,092	91	1,001

(イ) ケース会議、研修会等の開催、参加

虐待個別ケース会議開催……8回 / 他機関主催研修会参加回数…15回

■包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ア) 日常的相談支援

相談経路	相談受付延べ数
ケアマネからの相談数	409
サービス事業者からの相談数	270

(イ) 研修会等の開催 実施回数…4 / 参加人数…143

〔主な実施事項〕

時期	内容等
7月21日	(事業名)障害と包括との勉強会(健康推進課と共催) (内容)居宅介護支援事業所と障害相談支援事業所との交流会 (場所)東松島市役所 202 会議室 32人参加
8月3日	(事業名)障害と包括との勉強会(健康推進課と共催) (内容)支援者のメンタルヘルスと自死リスクアセスメントについて (場所)東松島市役所 202 会議室 31人参加
10月19日	(事業名)介護支援専門員連絡会 (内容)介護予防サービス支援計画書について (場所)矢本西市民センター 多目的ホール 45人参加
11月8日	(事業名)障害と包括との勉強会(健康推進課と共催) (内容)事例検討会 (場所)大曲市民センター 35人参加

■認知症総合支援事業

(ア) 認知症初期集中支援推進事業に関する業務

実態把握訪問数…新規 17 / 延べ数 74

チーム員としての訪問数…新規 0 / 延べ数 0

(イ) 各種認知症事業の開催

令和4年度からは認知症総合支援コーディネーターが各会の企画に参画した。

※認知症カフェはR4年度で市からの委託が終了

(ウ) 認知症介護家族の情報交換会 5回参加

- ・認知症介護家族の孤立防止や介護負担の軽減が目的。令和5年度から吉田認知症コーディネーターが主催

〔開催場所〕 矢本西市民センターほか

時期	参加者(人)	
	介護家族	認知症当事者
4月24日	5	2
5月29日	3	2
6月26日	3	2
8月28日	1	0
12月13日	11	2

(エ) その他(研修会・会議参加等)

- ・認知症サポーター養成関連講座は5回開催。
- ・認知症地域支援推進員として出前講座等は3回開催(令和5年度は株式会社花王より講師を招へい)。
- ・認知症関連研修には7回参加。
- ・ほかに、東松島市産業祭にて認知症普及啓発活動、チームオレンジ部会、認知症関連事業打ち合わせ等合計28回参加。

■地域ケア会議の推進

- ・個別地域ケア会議 2回
- ・地域課題検討を目的とする地域ケア会議 11回(第三層の再掲)

②多機関協働による総合的な相談対応の推進

■関係機関との情報共有、意見交換の実施

- ・くらし安心サポートセンターとの定例会
- ・市との定例会(毎月)
- ・公営住宅サポート会議(3か月に1回)
- ・支援検討会議
- ・各地域密着型運営推進会議

■民生委員・地域住民との情報共有の実施

- ・民児協定例会への参加や社協生活支援コーディネーター(CSW)と地域支え合い会議への参加を通じて、地域関係者等との情報共有を図った。

民児協定例会への参加 3回

地域支え合い会議への参加 11回

## (2) 介護予防支援事業

### ① 介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアマネジメント業務(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)(再掲)

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
事業対象者	62	2	45	1	14
訪問型サービスC	0	0	0	0	0
要支援1	485	5	162	9	309
要支援2	252	1	78	8	165
合計	799	8	285	18	488

### ② 指定介護予防支援

	給付管理数	新規(直営)	継続(直営)	新規(委託)	継続(委託)
要支援1	677	3	282	8	384
要支援2	730	3	273	19	435
合計	1,407	6	555	27	819

## (3) 在宅医療・介護連携推進事業(東松島市からの受託)

### ① 在宅医療・介護連携推進事業

#### [1] 総括

東松島市多職種連携 ICT システムについては、昨年度に引き続き、東松島市地域包括ケア ICT システム選定委員会を開催。プロポーザル方式でシステムを選定した。システム選定後、システムの効率的な運用やシステムを活用した多職種間の連携推進を図るため、令和5年8月31日に東松島市多職種連携 ICT システム運用部会を設置し、本運用に向け利用規約や運用方針の検討を重ね、様式の整備等を行った。10月よりテスト運用を実施し、55事業所172名に協力をいただき使用状況を検証。3月25日より本運用を開始した。介護認定審査会の開催日をひがまつ BLUE ネットで共有することで、電話での問い合わせが減り業務の効率化が図れ、居宅介護支援事業所の利用促進にも繋がっている。一方、テスト運用では月間PV数が200PV未満のライト層がボリュームゾーンとなっており、今後ライト層とミドル層の引き上げが今後の課題となる。活用シーンについては、事務連絡や事業調整のシーンでは概ね活用できているが、個別支援の医療職が関わるシーンが少なく働きかけが必要となっている状況である。2月下旬に使用状況のアンケート調査を実施したところ、情報共有の手段が増えたことで業務の効率化が図れた、気軽に連絡できることで多職種間のつながりが強くなったという意見が多く聞かれている。3月の本運用開始に伴い、テスト運用未参加の事業所117ヶ所へリーフレットを送付し、利用の促進を図っている。

現状分析については、「医療・介護連携基本情報等地域医療情報集及び地域連携室情報集」更新のため、東松島市内と一部石巻市の医療機関へ照会を行うと共に、在宅医療・介護連携相談窓口の周知も図った。「東松島市つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会」ではコアメンバーに加入し、医療・介護等多職種との連携を図っている。また、各事業所へ事業説明の訪問や研修会への参加で、事業の普及啓発に取り組んでいる。

来年度は、地域包括支援センターや生活支援コーディネーター、認知症施策コーディネーター等と連携し、地域課題の抽出や資源の把握、地域特性に応じた対応策の検討を行っていききたい。また、住民や医療・介護関係者への、看取りや認知症に関する普及啓発にも努めたい。

## [2]現状分析・課題抽出・施策立案

医療機関の基本情報を把握し、介護側との情報共有によって必要な方へ円滑にサービス提供することを目的として、東松島市内の「医療・介護連携基本情報等地域医療情報集及び地域連携室情報集」の更新作業を行い、関係者へ情報提供を行った。

### ●登録状況

#### 【地域医療情報】

・内科系	18件
・外科系	4件
・眼科系	1件
・歯科系	14件
・市外	12件
合計	49件

### ●基本情報の活用

- ・登録事業者へ更新情報を提供
- ・「桃生郡医師会」、「やもとケアマネネットワーク会員」に対し、更新情報を提供
- ・希望する医療機関あてに「やもとケアマネネットワーク会員名簿」を提供

## [3]対応策の実施

### ■医療・介護関係者からの相談対応

医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に応じ、情報提供や必要な支援を行った。

### ■地域住民や医療・介護関係者への普及啓発

地区のサロンや社協だよりにて、住民へ向け事業の普及啓発を行った。



### ■研修会の開催

医療・介護関係者との協働・連携を深めるため、研修会開催を支援した。

#### 【東松島市つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会】

No.	日時	場所	内容	参加者
1	4月11日	コミュニティセンター	(1) コロナ関連連携事例報告 (2) 地域でのコロナ関連事例共有	67名
2	5月16日	矢本東市民セ	コロナ5類移行後の高齢者施設対応について	68名

		ンター		
3	6月13日	矢本東市民センター	(1) 口腔ケアの定義・目的とその効果について (2) 摂食嚥下の基本の「き」	49名
4	7月11日	矢本東市民センター	(1) 摂食嚥下と口腔ケア (2) 誤嚥性肺炎の予防と対策	70名
5	8月8日	矢本東市民センター	(1) 東松島市新 ICT アプリシステム概要 (2) 新 ICT システムの活用法	64名
6	9月12日	矢本東市民センター	(1) どうつながる？おいおいの会！ (2) 東松島市の今後の地域連携	50名
7	10月10日	コミュニティセンター	(1) どうする？排泄 オムツを学ぶ (2) オムツに関するあれこれ 明日から実践！！	68名
8	11月14日	矢本東市民センター	本人主体の支援とは～その人の権利から考える～	52名
9	12月12日	矢本東市民センター	本人主体の支援とは～事例から考える～	43名
10	1月16日	矢本東市民センター	介護分野における外国人労働者受け入れ	30名
11	2月13日	矢本東市民センター	VR を活用した認知症本人の視空間体験等	54名
12	3月12日	矢本東市民センター	在宅リハって何？	37名



【東松島市つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会コアメンバー会議】

7月から1月 計5回 場所：太陽の家

【東松島つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会 SNS 管理】

SNS を活用し、東松島市つながる・つなげる・多職種ネットワークおいおいの会の研修案内や研修報告を発信。

No.	日時	内容
1	7月11日、7月27日	7月研修報告・8月研修案内
2	8月10日	8月研修報告
3	9月4日、9月13日	9月研修案内・9月研修報告

4	10月4日、10月13日、10月24日	10月研修案内、10月研修報告、11月研修案内
5	11月15日、11月29日	11月研修報告、12月研修案内
6	12月14日	12月研修報告
7	1月4回、1月19日、1月24日	1月研修案内、1月研修報告、2月研修案内
8	2月21日、2月27日	2月研修報告、3月研修案内
9	3月14日、3月24日	3月研修報告、4月研修案内

[4]東松島市地域包括ケア ICT システム管理等

東松島市地域包括ケア ICT システム選定委員会を開催し、令和5年5月19日にプロポーザル方式でシステムを選定した。システム選定後、システムの効率的な運用やシステムを活用した多職種間の連携推進を図るため、令和5年8月31日に東松島市多職種連携 ICT システム運用部会を設置し、本運用に向け利用規約や運用方針の検討を重ね、様式の整備等を行った。10月よりテスト運用を実施、3月25日より本運用を開始している。

■東松島市地域包括ケア ICT システム選定委員会

東松島市地域包括ケア ICT システム選定のため、令和5年5月19日プレゼンテーション審査を実施し、株式会社ワイズマンが受注候補者として選定された。

No.	日時	場所	内容
第1回	4月17日	老人福祉センター	①参加資格審査結果について ②システム概要の事前説明について
第2回	5月19日	老人福祉センター	①プレゼンテーション審査 ②審査結果集計

■東松島市多職種連携 ICT システム運用部会

令和5年8月31日に「東松島市多職種連携 ICT システム運用部会」を設置。ICT システム本運用に向け、テスト運用活用シーンや同意取得方針、運用方針などの検討を行った。

No.	日時	場所	内容
第1回	8月31日	東松島市役所 101 会議室	①今後の進め方について ②テスト運用活用シーンについて
第2回	10月3日	老人福祉センター 集会室	①運用フローについて ②利用規約について ③同意取得方針について ④テスト運用方針等について
第3回	11月13日	老人福祉センター 集会室	①ネットワーク名称選定について ②テスト運用活用シーン、参加事業所について ③個別支援の運用方針について
第4回	2月16日	老人福祉センター 集会室	①ひがまつ BLUE ネット運用上の意見・改善点について ②ひがまつ BLUE ネット利用規約について ③評価項目について ④ひがまつ BLUE ネットリーフレットについて



### ■ ICT システム運用検討会

株式会社ワイズマンと MeLL+community 運用に向けた検討会を開催。運用ガイドラインや運用規約について検討。

6月から3月 計30回実施

### ■ テスト運用実績

【ひがまつ BLUE ネット登録者数】（令和6年3月現在）

		事業所数	スタッフ数
市内	介護事業所	26	68
	障害事業所	5	19
	医療機関	4	8
	薬局	1	1
	行政	7	28
	その他	4	12
市外	介護事業所	7	21
	障害事業所	1	4
	医療機関	2	4
	合計	57	165

【ユーザー層の想定】

		ヘビー層	ミドル層	ライト層 (使用なし含む)
1 事業所あたりの PV 数		500PV 以上	200PV 以上	200PV 未満
層の割合	目標	30%	50%	20%
	テスト運用の実績	16%	27%	57%
サービス種別 (テスト運用の実績)		包括、市役所、居宅	居宅、施設、GH、就労支援、診療所、歯科、病院	居宅、福祉用具、訪問介護、デイ、診療所、訪問看護、有料

### ■ 運用ガイドライン等の作成

東松島市多職種連携 ICT システム運用部会にて、ひがまつ BLUE ネット利用規約、入会申請書等各種様式の内容の検討を行い、ひがまつ BLUE ネット運用にあたり統一すべき事

項を整理し作成した。

■ひがまつ BLUE ネット運用方針・操作説明会

テスト運用参加事業所を対象に、ひがまつ BLUE ネット運用方針・操作説明会を開催。

No.	日時	場所	参加者
1	10月12日	老人福祉センター	15名
2	10月12日	老人福祉センター	14名
3	10月12日	老人福祉センター	3名
4	10月13日	老人福祉センター	19名
5	12月20日	東松島市コミュニティセンター	16名
6	12月20日	東松島市コミュニティセンター	14名
7	12月20日	東松島市コミュニティセンター	10名
8	1月11日	老人福祉センター	13名
9	1月11日	老人福祉センター	8名
10	1月12日	老人福祉センター	13名
11	1月12日	老人福祉センター	11名

■関係者への普及啓発

関係機関へひがまつ BLUE ネットの概要説明を行い、普及啓発を行った。また、リーフレットを作成し、本運用に向け未参加事業所へ送付し利用推進のための周知活動を行った。

【概要説明】

No.	日時	対象
1	5月12日	やもとケアマネネット会員
2	6月16日	東松島市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所、訪問介護支援事業所
3	6月20日	東まつしま地域生活支援センターカノン
4	6月21日	特別養護老人ホームやもと赤井の里
5	6月28日	ケアハウス花いちもんめ
6	6月29日	社会福祉法人連絡会福祉なんでも相談窓口担当者
7	6月28日	ケアハウスはまなすの里
8	7月13日	障害相談支援事業所
9	8月29日	東松島かどわき歯科クリニック
10	11月27日	フロンティア薬局矢本店
11	11月28日	マルイチ福祉用品機器センター
12	11月28日	有料老人ホームいずみの郷
13	11月29日	就労支援カレッジびゅあ・さぼーと
14	11月29日	仁明会訪問看護ステーション青葉
15	11月30日	いしのまき訪問歯科クリニック
16	11月30日	デイサービスセンター矢本菜の花
17	11月30日	診療所 在宅医療
18	12月1日	博愛介護用品レンタルサービス
19	12月6日	社会福祉法人連絡会幹事会
20	1月22日	やもとケアマネネット 千葉会長

21	1月22日	居宅介護支援事業所ふかや
22	1月24日	ケアプランセンターさつき
23	2月2日	四季の里居宅介護支援事業所
24	2月5日	ヘルスケアショップぱんぷきん倶楽部
25	2月22日	石巻ロイヤル病院訪問リハビリ
26	3月6日	こだまホスピタル
27	3月7日	介護レンタルショップパンジー

#### ■アンケート調査の実施

ひがまつ BLUE ネットテスト運用参加者へ、2月下旬に使用状況のアンケート調査を実施。  
 (対象者 165 名・回答者 85 名：回答率 52%) 事業所の空き情報を発信し利用に繋がったケースや、タイムリーな情報共有が可能になった、ひがまつ BLUE ネットを通じて気軽に連絡が取れることで、多職種間でのつながりや業務の効率化が図られているという意見があった。

#### ■入退会や ID 管理、操作指導、問い合わせ対応

ひがまつ BLUE ネット入退会管理、新規参加事業所向けの操作説明や問い合わせ対応を行った。

##### 【新規参加事業所向け操作説明】

	日時	対象
1	10月24日	東松島市社会福祉協議会
2	11月2日	デイサービスアートステージ
3	12月18日	ひがまつステーション
4	12月19日	ケアハウス花いちもんめ
5	12月22日	特別養護老人ホーム不老園
6	1月25日	ぱんぷきん介護センター東松島ステーション
7	1月30日	訪問看護ステーションあおい
8	1月31日	ぱんぷきん介護センター石巻東部ステーション
9	1月31日	ケアプランセンターさつき
10	2月1日	居宅介護支援事業所ふかや
11	2月1日	鳴瀬中央医院
12	2月2日	東松島市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所
13	2月2日	東松島市社会福祉協議会指定訪問介護事業所
14	2月7日	四季の里居宅支援事業所
15	2月22日	ぱんぷきん介護センター本社事業部
16	2月29日	指定居宅介護支援事業所花いちもんめ
17	3月11日	居宅介護支援事業所日和
18	3月11日	介護サポートしずく
19	3月12日	ヘルスケアショップぱんぷきん倶楽部
20	3月18日	介護レンタルショップパンジー

【問い合わせ対応】

	内容	件数
1	会議室操作方法	5件
2	患者・利用者登録、閲覧権限設定	5件
3	ログインからの基本操作	3件
4	セキュリティ ID	3件
5	コメント投稿、過去の投稿閲覧、下書き保存	3件
6	ビデオ会議	2件
7	添付ファイル	2件
8	ダッシュボード設定	2件
9	ID・パスワードを忘れた	1件

[5]関係機関との連携

■在宅医療・介護連携推進体制の構築

日常的に地域包括支援センターや生活支援コーディネーター、認知症総合支援コーディネーター、認知症地域支援コーディネーター等と、情報共有を図り連携している。

■会議及び研修への参加

【会議】

	日時	場所	内容
1	6月29日	老人福祉センター	令和5年度 第1回福祉なんでも相談ネットワーク会議 (東松島市社会福祉法人連絡会)
2	9月28日	東松島市役所	令和5年度 第1回東松島市認知症初期集中支援チーム 員会議
3	2月20日	東松島市役所	第8回地域包括支援センター定例会議
4	3月26日	老人福祉センター	令和5年度 第5回多機関ネットワーク会議

【研修】

	日時	場所	内容
1	4月18日	東松島市役所	令和5年度 第1回東松島市地域包括ケア担当者研修会 (令和5年度 第1回地域包括支援センター定例会議)
2	5月29日	オンライン	令和5年度 第1回多機関ネットワーク会議 塩釜市南部東部包括支援センターとの情報交換
3	7月20日	老人福祉センター	令和5年度 第1回福祉なんでも相談のための研修会 「重層的支援体制整備を通じた山形市社会福祉協議会 の 取り組みについて」
4	7月21日	東松島市役所	令和5年度 東松島市総合支援協議会相談支援部会 事例検討会
5	7月28日	老人福祉センター	令和5年度 第1回社協職員研修会 「地域共生社会の実現に向けた琴平町社会福祉協議会

			の 取り組みについて」
6	8月3日	東松島市役所	令和5年度 東松島市総合支援協議会相談支援部会 支援者のメンタルヘルスと自死リスクアセスメントに ついて
7	9月22日	老人福祉セン ター	令和5年度 第2回社協職員研修会 重層的支援体制整備事業について
8	10月19日	オンライン	令和5年度 都道府県・市町村担当者等研修会議 「在宅医療・介護の更なる可能性を目指して」
9	2月3日	オンライン	第64回 宮城県医療ソーシャルワーク大会 「在宅・施設のACPや看取りの取り組みについて」
10	2月14日	石巻合同庁舎	令和5年度 東部保健福祉事務所管内地域課題研修 「ファシリテーション基礎研修」
11	3月5日	オンワード樫 山仙台ビル	令和5年度 宮城県在宅医療・介護連携推進研修会

#### 【視察】

	日時	場所	内容
1	4月26日	岩沼市役所	①ICTシステムの運用状況について ②在宅医療・介護連携推進事業の取り組みについて

#### ■在宅医療・介護連携協議会の運営補助等

	日時	場所	内容
1	6月30日	東松島市役所	令和5年度 在宅医療・介護連携協議会 ICTシステム選定委員会活動報告及び審査講評報告
2	7月21日	東松島市役所	令和5年度 東松島市地域包括ケア推進会議 ICTシステム選定委員会活動報告及び審査講評報告

#### (4)その他

##### ①中部・西部地域包括支援センターとの連携

#### ■3包括間の定期的な情報交換会

- ・所長打合せ（8回）

地域包括支援センター業務について定期的に意見交換することで、他包括の取組みを参考にしたり、困難ケースを相談する機会になっている。

- ・地域包括支援センター職種別意見交換会の実施

各地域包括支援センターとの緊密な連携を図る観点から、職種ごとの意見交換会を実施した。

（職種ごとの開催回数）

社会福祉士5回（権利擁護啓発のために実施する研修会等の事前協議や多職種連携について3包括の社会福祉士の意見交換をした）

主任介護支援専門員5回（ケアマネジャー向け研修会の事前打合せや、居宅介護支援事業所からの相談事例を共有した）

- ・3 包括間で対応に困った時の相談や、解決した対応事例の共有を図った。

## ②その他

### ■介護予防普及啓発事業

- ・地域のお茶会やサロン等に出向いて講話を行い、介護予防の普及啓発、介護保険制度の理解に努めた(いきいき楽習塾、こころと体に得するお話し)。

### ■地域介護予防活動支援業務

- ・百歳体操やサロン活動へ訪問し、基本チェックリストを用いた自己診断を実施。実情を把握し、希望があれば個別相談対応を行った。

# 令和5年度 事業報告書

令和6年5月 発行



社会福祉法人 東松島市社会福祉協議会

〒981-0504 宮城県東松島市小松字上浮足252-3

Tel 0225-83-2851 / Fax 0225-83-4561

E-mail [higasimatusima@dolphin.ocn.ne.jp](mailto:higasimatusima@dolphin.ocn.ne.jp)

URL <http://www.hmfukushi.jp>

---